

printeq 2010

1

はじめに

EditNet プリンテックです。…2

これだけは重要！
クイックご利用ガイド…4

2

ご利用方法のご案内

ご利用にあたって…6 /

ご入稿…7 / お支払方法…8

お受け取り…10 / EditNet Club…11

お手伝いの必要なお客様へ…12

3

原稿のつくりかた

孔版印刷とオフセット印刷…14

画材・原稿用紙…16

多色刷り…20 / パソコンで作る紙原稿…22

本の原稿・台割…24 / 本の面付け…28

表紙の原稿…30 / 表紙フルカラー原稿…32

ペーパーの原稿…34

4

データ入稿

基本的なこと…36

Photoshop での作成…38

Illustrator での作成…40

InDesign での作成…43

Word などでの作成…44 / 2 色刷り…48

作成したデータの検証…51

5

同人誌と環境

同人誌と環境…52

環境ラベルを使ってみる…54

(巻末) Q&A…56 / 印刷のことば ABC…58 /

印刷サービス提供約款(要旨)…60

EditNet プリンテックです。

EditNet プリンテックは、再生紙や非木材紙、大豆油インキの積極的な活用などで、「環境」に取り組んできました。

2003 年度からは、電力の 100% を風力発電などの自然エネルギー（再生可能エネルギー）で調達し、発電時に CO₂ の排出がない電力での印刷を実現しています。

「エコは割高」と思われがちですが、弊社では、できるだけ無駄を省いたサービスを心がけ、料金の面でもご利用いただきやすいサービスに努めています。

「オフセット印刷」「孔版印刷」「オンデマンド」を使いこなせる数少ない印刷所である EditNet プリンテックは、少ない部数からお客様の多彩な表現を実現することができます。どうぞご活用ください。



銚子屏風ヶ浦風力発電所（2002 年撮影）

※写真はイメージです。弊社では、グリーン電力証書の利用により、主に東北地方の風力発電所および東京都の水再生センターに併設されたバイオマス発電所の電力の割り当てを受けています。

- この印刷物は、表紙および扉のクラフト紙を除き、古紙パルプ配合率 70% 以上の再生紙を使用しています。
- この印刷物のインキは、黒インキは 100% 植物油タイプの大豆油インキ、色インキはアロマフリータイプの大豆油インキを使用しています。白インキは普通タイプ of 白インキ（不透明）です。
- 無線綴じ製本のボンドは、リサイクルの支障になりにくいタイプ（難細裂タイプ）を使用しています。

EditNet プリンテックの取り組み

ご利用いただきやすいサービスのために、さまざまな取り組みを進めています。

「安く」のために

- オフセット印刷に加え、少ない部数でも割安な孔版印刷や、オンデマンドが選べます。
- 華美な装丁などを減らし、2色刷りや色紙への単色刷りなどを中心にする事で、初めて同人誌を作られる方でも安く本を作ることができます。
- 料金の明細がきちんとわかる料金体系にすることで、必要なサービスだけを無駄なくご利用になれます。
- ご入稿手続などのweb化やコンピュータ化を進めるなど、コストの削減に努めています。

はじめに

EditNet
プリンテック
です。

クイック
ご利用ガイド

What's
New

「多彩」のために

- オフセット印刷だけでなく、小部数で割安な孔版印刷のサービスも充実させています。孔版印刷は、色替えや色インキが無料ででき、表現の幅が広がります。
- 表紙オフセット・本文孔版のプランもあります。

「エコ」のために

- 再生紙や非木材紙を活用したセットプランを充実させています。
- オフセットはほぼ全色、孔版も4色が大豆油インキです。
- 無線綴じ製本のボンドなどにも配慮するほか、風力発電の電力を工場や事業所で使用するなど、先進的な取り組みを進めています。

「安心」と「便利」のために

- 窓口は夜8時まで、土曜も営業しています。
- 郵送・窓口を問わず、クレジットカードでのお支払いができます。
- セブンイレブンでのお支払いも便利です。
- 見積～事前受付がwebで簡単にできるため、ご入稿の際のお手続きが簡単・迅速です。
- ご入稿の際にご依頼内容をすべてコンピュータに登録。窓口では、内容をお客様にご確認いただいてから原稿をお預かりします。
- 料金の計算、各種割引の適用なども、コンピュータで正確に行っています。

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

クイック ご利用ガイド

EditNet プリンテックのご利用について、
最小限のことをまとめました。
詳しくは、各本文のページもご参照ください。

弊社サービスの全般的なこと

- 弊社は、オフセット印刷と孔版印刷があり、印刷部数やご予算で選べます。
→料金表
- 納期や印刷方式に合わせて、さまざまなセットプランがあります。オプションの幅が広いため、特殊な装丁の製本や、本文の2色刷りなども、「セット+オプション」の料金で可能です。
→料金表
- 表紙の特殊紙、多色刷りなどのご依頼を多くいただいています。
- ▲フルカラーは、通常デジタルフルカラーでのご用意になります。（オフセットフルカラーもできますが、協力会社になります。）
- 他事業者で印刷した表紙を使うことなどについては、弊社の設備・人員でできる範囲ならOKです。

料金の計算

- セットプランの料金は料金表をご参照ください。特殊な装丁なども、セットを基本にオプションの追加でOK。
- 料金表は表紙込みのページ数で記載。本文は4ページごと（オフセット印刷のA5判は8ページごと）で、端数は切り上げです。
- 部数は1部単位で無駄なく計算できます。料金表にない部分はお客さまセンタまたはwebページでも計算できます。
- プランによっては、表紙の2色刷りや本文の色替えが無料になるものがあります。
- 本のセットプランの配送料はセット内になりました（イベント搬入は加算額があります）。ペーパーの送料は別料金です。

納期

- プランによって、2週間から2日間の間で選べます。
- 入稿日と発送日が決まっていますので、料金表でご確認ください。
- 大イベント前の納期は、webページやチラシでご確認ください。

入稿

- 予約不要。先着順です。

- 窓口（世田谷区駒沢・渋谷から東急田園都市線で6分）は、祝日を除く火曜～土曜の14:00～20:00に開いています。
- 郵送や宅配便で入稿する場合は、入稿期限までに届くようにお送りください。
- オンラインでデータ入稿する方法は、webページをご参照ください。

印刷依頼書

- 初めてご利用の方、ご住所が変更になった方などは、まず「利用申込書」にご記入ください。
- ご入稿の際は、弊社でお配りする「印刷依頼書」にご記入ください。
- webサイトでお見積～事前受付ができる「e窓」をご利用になると、「印刷依頼書」は不要です。

お支払い

- 料金はご入稿時にお支払いください。
- 窓口でご入稿の場合、現金、クレジットカード（VISA, Master, JCB, AMEX）、Jデビットが使えます。
- 郵送でご入稿の場合、クレジットカード（VISA, Master, JCB, AMEX）、セブンイレブン払込、銀行振込、ゆうちょ銀行払込、ゆうちょ銀行の為替証書が使えます。

納品

- 配送（宅配便）でのお届け、イベント搬入、窓口でのお渡しができます。
- イベント搬入は、東京の大きなイベント、一部のオンリーイベントには直接搬入します。その他のイベントは宅配便搬入ができます。
- 配送の場合、時間帯希望ができます。

オフセット印刷と^{こうはん}孔版印刷

- 弊社では、オフセット印刷と孔版印刷があります。
- 孔版はオフセットに比べて簡易な印刷機を使う分、特に少ない部数で料金が安くなっています。
- ▲孔版は印刷機が簡易な分、細かい表現の再現などでオフセットにはないません。料金との兼ね合いで上手に使い分けてください。
- 孔版では、インキ替えの料金が無料になっていたり、多色刷りの料金が安いなどのメリットがあります。
- 表紙だけオフセットにして、本文は孔版で印刷するプラン「EcoDuo」も好評です。

原稿の全般的なこと

- 読者の皆さんは原稿を見ることがありませんので、「本に仕上がったときにどう出るか」を念頭に置いて原稿を作る必要があります。本書ではそれを細かく解説していますのでよくお読みください。
- ベタが非常に多い場合、製本のときに汚れてしまったり、印刷の位置が合いにくくなる場合があります。（孔版印刷では顕著です。）

- 原稿のどの位置が仕上がりになるかなどに十分留意して原稿を作成してください。

原稿（紙原稿）の画材・描きかた

- 原稿は白黒をはっきり描くことが原則です。
- オフセット印刷の場合、ハーフトーン（鉛筆・薄墨など）の再現は非常に苦手です。濃淡がはっきりと出てしまいます。
- 孔版印刷では、ハーフトーンや写真の貼り込みなども比較的うまく再現することができます。
- あまり細かいスクリーントーンはきれいに再現できません。オフセットで 70-80 線、孔版で 60 線程度までにしてください。
- トーンの濃さは 10 ～ 40% 程度が目安です。

原稿（紙原稿）の原稿用紙

- 本文は「同人誌用原稿用紙」、表紙は「表紙用原稿用紙」を使うと、最も仕上がりがよいです。
- 「投稿用原稿用紙」が使えるのは、オフセット印刷の B5 判仕上がりのみです。孔版では使えません。
- 原稿用紙のトンボは黒くなぞっておいてください。
- 面付けをご自身でされると、割引があります。

原稿（データ）の基本的なこと

- 孔版・オフセットともデータ入稿ができます。
- 白黒またはグレースケールで作成するとよいです。
- データ原稿の面付けは弊社で行います。
- ファイル形式は EPS か PS をお勧めしていますが、Word などで作成した PDF でもかまいません。
- EPS は Photoshop や Illustrator で、PS は InDesign などで作れます。
- ページは原寸＋塗り足し（周囲 3 ～ 5mm）で作成してください。
- Illustrator の場合、原稿の配置位置、フォントのアウトライン化に注意が必要です。
- Photoshop の場合、解像度はグレースケールで 350 ～ 600dpi、モノクロ 2 階調で 600 ～ 1200dpi をお勧めしています。
- 小説本などの場合、市販の安い PDF 化ソフトを使うのも現実的な選択肢かもしれませんが、

2 色刷り（多色刷り）

- 多色刷りは色の数だけ原稿が必要です。
- オフセットでも 0.5 ～ 1mm 程度、孔版では 2 ～ 3mm 程度ずれることもありますので、原稿作成時にご留意ください。
- 紙原稿の場合、トンボ引きや位置合わせを丁寧に行ってください。
- データの場合、紙原稿に比べて位置は合いやすいですが、それでもずれることはあります。
- データで原稿を作成する場合、便宜的に C と M などの色版で作る方法、レイヤ分けして出力する方法があります。
- グレースケールをダブルトーンで 2 色に分配し、

深みのある表現をすることができます。

台割・紙替え・色替え（インキ替え）

- 紙替えとは本の途中のページから違う紙に替えること、色替えとは同じくインキを替えることです。
- 紙やインキを替えるときは、台割の単位で替えることになります。
- 紙替えや色替えを予定しているときは、原稿のページ割の段階からよく考えておく必要があります。
- 孔版印刷の場合は原則として料金がかかりません。オフセット印刷では料金がかかることがあります。

フルカラー

- 弊社の設備だけで作れるのはオンデマンドフルカラー（カラーレーザプリンタによる出力）です。
- オフセット印刷のフルカラーは協力会社を利用します。
- いずれの場合もデータ原稿をお勧めします。通常、表紙全体の大きさ＋背厚＋塗り足しで作成します。

このご利用ガイドについて

- 内容の性質上、1 つの（一連の）行為や作業が複数のトピックスに分かれて記載されることがあります。（例：2 色刷りの本のデータ原稿を作るには、「2 色刷り」と「データ」の知識が必要になるほか、本を作るためのページ割りなどの知識も必要になります。）
このため、まず一通り内容の概要をお読みの上、その後詳細が必要な部分を詳しくお読みになることをお勧めします。
- 本書では、弊社のサービスをご利用になる場合の料金や注意点を記述しています。原稿に関することや、技術的なことについては、他事業者と同じこともあります。弊社独自のこともあります。
- 本書記載の価格は、特に明示しない限り消費税（地方消費税を含む）を含む金額を表示しています。
- 本書の一部（コラム等）には、口語的な表現をしているところがあります。説明文が硬くなりがちなど、わかりやすさを優先する趣旨のもので、なにとぞご容赦ください。
- 弊社では、工業技術分野の慣習にならい、一部の例外を除き、外来語の末尾の音引きを省いて表現しています。（「センタ」（センター）、「エネルギー」（エネルギー）など。）また、句読点は「.,」を標準としています。

はじめに

EditNet
プリンテック
です。

クイック
ご利用ガイド

What's
New

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

ご利用にあたって

ご利用方法のご案内

予約

各プラン別の入稿期限までにご入稿の場合、予約は必要ありません。(先着順となります。)

ただし以下の場合には事前にお問い合わせください。

- 120 ページまたは 500 部を超える場合
- プランの制約を超える内容の場合
- 入稿期限に遅れる、または遅れそうな場合

お問い合わせ

サービスや料金などについてご不明の点は、遠慮なくお問い合わせください。

電話によるお問い合わせ

受付時間 火曜～土曜（祝日除く）14:00-20:00

電話番号 **03-5432-3913**

電子メールによるお問い合わせ

弊社 web ページをご覧ください。

→ <http://www.EditNet-p.jp/>

●聴覚やことばなどの障害により電話でのお問い合わせが困難な方は、上記の方法のほか FAX もご利用ください。

FAX **03-5432-3910** (EditNet プリンテック アクセシビリティ窓口宛てとお書きください。)

●上記に当てはまらない方は、電話か電子メールでお問い合わせください。円滑なご対応のためご協力をお願いいたします。

印刷依頼書

ご入稿の際は、所定の印刷依頼書を添付してください。印刷依頼書はご利用ガイドのセットに添付されているほか、web ページや窓口でお配りしています。

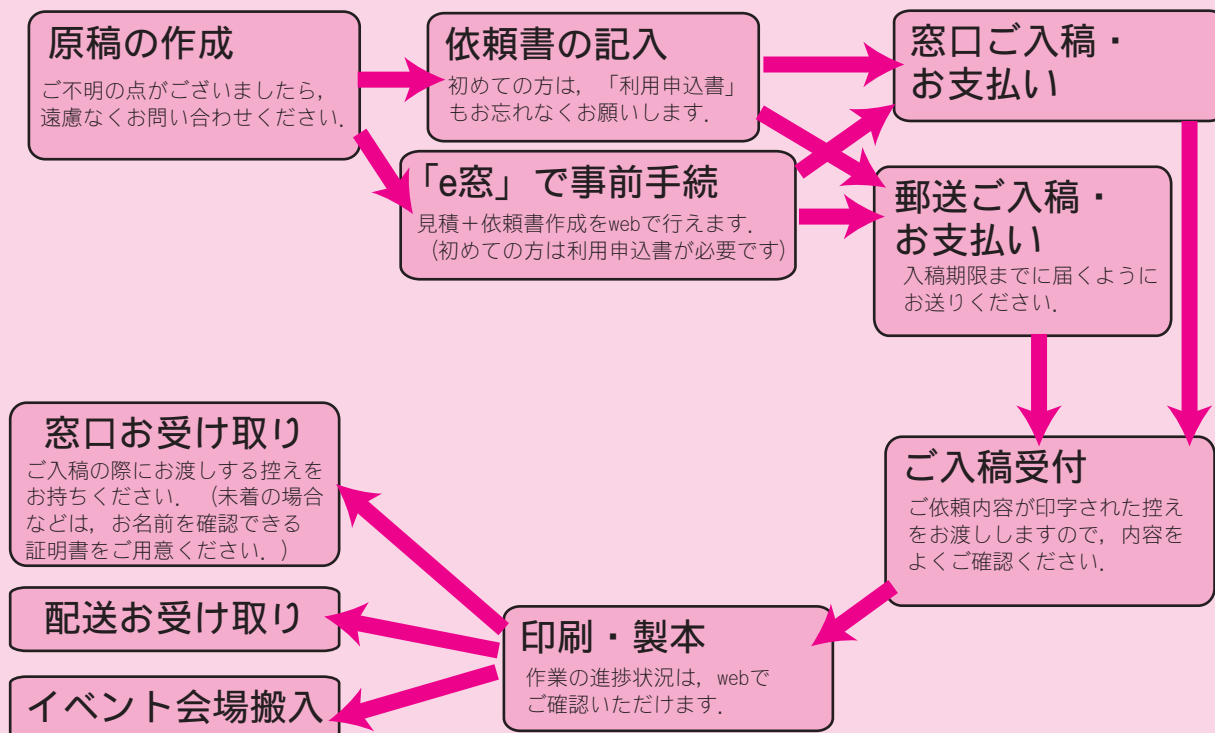
弊社では、「利用申込書」（お名前、ご住所など）と「印刷依頼書」（印刷内容）に分かれています。このためご住所などを毎回ご記入いただく必要はありません。

このため、次に該当する方は、「利用申込書」「印刷依頼書」の両方をご記入ください。

- 初めてご利用の方
- 前回のご利用から 2 年以上経過している方
- 前回のご利用時から、住所などが変わった方

web サイト「e窓」をご利用になると、見積もりから依頼書作成が簡単にできます。依頼書の記入が不要になり、大変便利です。
(現時点で、利用申込書の記入は省略できません。)

ご入稿からお受け取りまで



ご入稿

郵送等でのご入稿

原稿の送付

郵便、信書便、ゆうパック、宅配便など（以下、「郵送等」といいます。）でご入稿の際は、入稿期限までに届くようにお送りください。（時間指定ができる場合は、午後着（ただし入稿期限まで）でお送りください。）

延着、輸送中の紛失などについて弊社は責任を負いかねますので、ゆうパック、EXPACK500、宅配便などをおすすめします。

原稿の送り先：

〒154-0012
世田谷区駒沢3-2-1 伊藤ビル
EditNet プリントック お客様センタ
電話 03-5432-3913

料金のお支払い

料金はご入稿の際にお支払いください。（お支払いが確認できない場合は、受付が保留されます。）

お支払いは、クレジットカード、セブン・イレブン払込、銀行振込、ゆうちょ銀行口座へのご送金、ゆうちょ銀行の為替証書がご利用になります。

※お支払方法により、領収書の控えをお送りいただくことがあります。

ご依頼内容控え・領収書

依頼書等で「不要」とされた場合を除き、ご依頼内容を印字した控えをお送りします。内容をご確認のうえ、誤りがありましたら直ちにお申し付けください。

領収書については、収納機関が発行する領収書を保管してください。（弊社からは重ねて発行しません。）

窓口でのご入稿

窓口でのご入稿手続

お客様センタ窓口でご入稿の場合、受付時間をご確認の上お越しください。

複雑なご依頼、変形本などのご相談も承っております。また、印刷の見本も窓口にも多数ありますので、どうぞご参照ください。

窓口のご利用について

少ない人数で受付を行っていますので、混雑する日はお待たせすることがあります。次の点にご協力くださいますようお願いいたします。

- 大イベントの入稿期限直前は混雑しますので、複雑なご依頼、ご相談などは、期限の前にお早めにお済ませください。（入稿期限は毎週金曜日に集

中します。）

- 窓口が混雑した場合は、お手続きのみの方を優先させていただきますのでご了承ください。

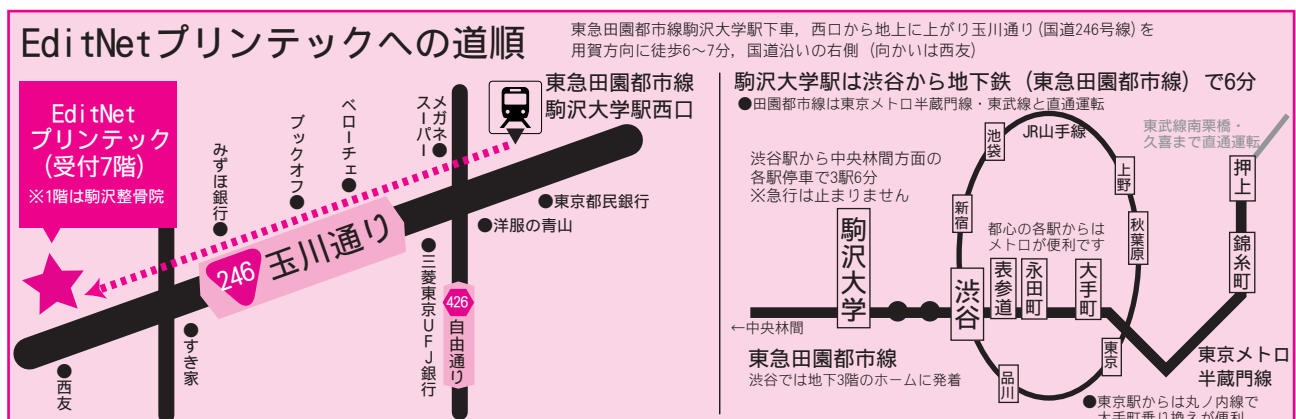
- ご利用ガイドなどに記載されている内容は、あらかじめ一通り読んでおいてください。

- 原稿は必ず仕上げてからお越しください。原稿の作業をするスペースは用意できないことがあります。

また、学校等のお客様で見積書や請求書が必要な場合は、その場での発行ができないことがありますので事前にご連絡ください。

料金のお支払い

料金はご入稿の際にお支払いください。現金、クレジットカード、デビットカードがご利用いただけます。



お支払い方法

現金 窓口

窓口でご入稿の場合は、現金でお支払いいただくことができます。

クレジットカード 窓口 郵送



上のいずれかのマークがついたカードでお支払いいただけます。手数料はかかりません。

一括払いのほか、窓口でご入稿の場合はリボ払いもできます。

（ご利用方法）

郵送でご入稿の場合は、印刷依頼書の所定の欄にご記入ください。（e窓をご利用の場合は、webページから送信してください。）

窓口でご入稿の場合は、窓口でカードをお渡しください。

Jデビット 窓口

窓口では、Jデビットがご利用いただけるキャッシュカードでもお支払いができます。預貯金口座からの即時引落で、残高の範囲でご利用になれます。（ご利用の可否は、お取引金融機関にお問い合わせください。）

セブン・イレブン 郵送

弊社webページから金額などを入力し、「払込票番号」を取得してください。最寄のセブン・イレブンでお支払いいただけます。（セブン独自のサービスのため、他社コンビニ店ではお取り扱いできません。）

【手数料】3万円まで105円、3万円超210円

（ご利用方法）

- 弊社webページ（<http://www.EditNet-p.jp/>）から「e窓」→「セブンイレブン支払受付」を選択
- 金額・お名前などを入力
- 払込票番号（13桁）が画面に表示
- プリントアウトするか、番号を控えてセブンイレブンでお支払い（レジで「インターネットショッピング」とお申し付けください）

EditNet Club

EditNet Clubに入ると、セブンイレブンでの払込手数料が無料になります。（ただし5000円以上ご送金の場合。）

Members Offer

銀行振込 郵送

以下の口座にお振込みください。（入稿期限までに弊社で入金を確認できない場合、受付が保留されます。弊社に原稿が届く日までに着金するようご送金ください。）

- ジャパンネット銀行 本店営業部 普通 3856245

→ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方は、入金確認が即時にでき、手数料も安くなっています。

- 東京都市銀行 世田谷支店 普通 4011774

名義はいずれも「エディットネット（力）」です。

※手数料はお客様負担となります。

ゆうちょ銀行（郵便局） 郵送

ゆうちょ銀行の店舗および郵便局（以下「郵便局等」といいます）で、以下の方法によりご送金ができます。いずれの場合も手数料はお客様負担となります。

（1）「通常払込み」（総合口座をお持ちでない方向け）

郵便局等に備え付けの払込用紙に記入の上、「**通常払込み**」にて以下の振替口座にご送金ください。ATMの場合も、払込用紙の記入が必要です。

「00100-0-687364 EditNet 株式会社」

※この方法では、入金確認に5日程度かかる場合がありますので、必ず受領書のコピーを依頼書に添付してください。

【手数料】80円～330円（金額・方法により異なる）

（2）「電信振替」（総合口座をお持ちの方向け）

ATM、ゆうちょダイレクト、郵便局等の窓口から、以下の総合口座にご送金ください。

「10140-42853621 EditNet 株式会社」

【手数料】110円～140円（方法により異なる）

→総合口座をお持ちの方は、民営化の際のキャンペーンにより、2008年9月まで、ATMでの電信振替が無料になっています。

（3）「為替証書」（ただし現在は手数料が割高）

郵便局等の窓口で「普通為替証書」または「定額小為替証書」を振り出してもらい、依頼書に添付してお送りください。左上の受取人欄には「EditNet 株式会社」とご記入ください。

【手数料】100円～630円（種類・金額により異なる）

銀行振込・ゆうちょ銀行振込の方へお願い

ジャパンネット銀行同士の送金を除き、入金確認に時間がかかることがあります。

原稿が届いた際に入金を確認できない場合、受領書をFAXでお送りいただくようお願いする場合がありますので、その際はご協力ください。

- 入金確認ができない場合、受付が保留されます。その分納品が遅れることがありますので、ご注意ください。

現金で10万円を超える送金をされる方へ

法令に基づき、現金で10万円を超える送金を行う場合、金融機関窓口で身分証明書の提示が必要です。詳しくは金融機関にお尋ねください。（キャッシュカードやインターネットバンキングでの送金は従来どおり可能です。）

郵政民営化で為替が値上げ

2007年10月の郵政民営化で、為替の料金が大幅に引き上げとなりました。「ゆうちょ銀行の口座へのご送金」も追加しました。

ゆうちょ銀行の口座には「総合口座」と「一般振替口座」があり、制度が複雑です。上記をご参照の上ご利用ください。

お受け取り

ご利用方法のご案内

(出荷の時点で料金・送達日数等の条件により決まります。)

お客さまセンタ窓口でのお受け取り

Offer!

本のセットプランを窓口でお受け取りの場合、1件 500 円の割引となります。(ペーパーなどは対象外です。)

お客さまセンタ窓口でお受け取りの場合、仕上がり予定日以降に入稿時の控えをご提示のうえお受け取りください。

ご入稿時に「不要」とされた場合、未着の場合などは、身分証明書(運転免許証、保険証、学生証など)をご持参ください。

仕上がり予定日前でも、web サイトの「仕上がり照会」で「受取可能」となっていればお受け取りになれます。

ご本人様確認にご協力ください

～確実にご本人様にお渡しするため、ご協力ください～
●お受け取りの際は、ご入稿の際の控えまたはお名前の確認できる証明書を拝見させていただきます。
●お受け取りを他の方に依頼される場合は、その方にご入稿の際の控えをあらかじめお渡しください。書面の未着等によりそれが困難な場合、あらかじめご本人様からお客さまセンタまでご相談ください。

宅配便でのお受け取り

●配達先

特に指定がなければ、「利用申込書」でお届けのご住所にお送りします。(住所変更があった場合は必ずお届けください。)

各プランの「発送」の日は弊社から荷物が出る日です。ご注意ください。たいていの地域には翌日届きますが、九州、北海道などは翌々日になることがあります。

ほとんどのプランは金曜発のため、遠隔地の方で日曜日のイベント参加に間に合わない場合などは、あらかじめご相談ください。(納期が短いプランではご希望に添えないこともあります。)

●発送日

発送予定日の前でも、仕上がりしだい(同時に複数のご依頼をいただいた場合は、そろう次第)速やかにお送りします。ご不在の場合は運送会社が連絡票を投函しますので、日時をご指定の上お受け取りください。

●配達時間帯の指定

配達時間帯を指定できますが、運送の都合上時間帯どおりにならないことがありますのでご了承ください。

また、大量のご注文の場合、時間帯指定ができない便でお送りすることがありますのでご了承ください。

●運送事業者

運送事業者の指定はできませんのでご了承ください。

イベント搬入でのお受け取り

●直接搬入

東京開催の大きなイベントは、ほとんど直接搬入ができます。その他のイベントにも直接搬入できます。搬入可能イベント、入稿期限については、弊社 web ページでご確認ください。

●宅配便搬入

直接搬入しないイベントでも、次の条件をすべて満たす場合、宅配便搬入が可能です。ご入稿の際に主催者が発行する搬入の案内文を同封してください。

- (1) 主催者が宅配便搬入を認めていること
- (2) 各プランの発送予定日(通常金曜日)の出荷で間に合うこと
- (3) 宅配便搬入の注意事項がチラシ、案内文などで確認できること
- (4) 運送事業者の指定がある場合、次のいずれかであること

佐川急便(佐川急便(株))、ペリカン便(日本通運(株))、宅急便(ヤマト運輸(株))、ゆうパック(郵便事業(株)) ※事業者名 50 音順

●出来上がり見本の送付について

搬入の印刷物が早く仕上がった場合は、お届けのご住所に出来上がり見本を1部お送りしています。

●イベント主催者の皆様へ

東京周辺のイベントで、直接搬入を認めていただけるなどのご協力をいただける場合、サークルの方の印刷物の無料搬入、イベントパンフの割引などの特典を用意しています。詳しくは弊社 web サイトにて「オンラインイベントサポートプログラム」をご参照ください。

配送手数料

●本のセットプランの場合

宅配便の場合・・・セット内

イベント搬入(直接搬入、宅配便搬入)・・・

1件 500 円(無料・割引のイベントもあります)

●その他(ペーパーなど)の場合

宅配便の場合・・・1回 1050 円

イベント搬入(直接搬入、宅配便搬入)・・・

1回 1580 円(無料・割引のイベントもあります)

※詳しくは料金表をご参照ください。

※イベント搬入の場合で原稿をご自宅あてに別送する場合など、加算額が適用されることがあります。

※配達先の分割はできません。

印刷見本の保管について

後日のお問い合わせに備え、弊社では仕上りの予備分のうち1部を2週間程度保管しています。期間経過後は印刷見本としてお客さまセンタに備えさせていただきます。なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。

※印刷サービス提供約款の規定によりお取り扱いしますが、不都合の場合はご入稿時にお申し出ください。

メンバ特典が充実！ 絶対おトク！

メンバ特典

ポイント還元でおトク！

ご利用金額 100 円ごとに 1 ポイント還元、100 ポイントで 500 円分の割引が利用できます。

※ご利用金額・割引額とも税込金額をベースに計算します。

本のセットプランが 500 円引き！

本のセットプランが、いつでも、何度でも 500 円引き！

セブン・イレブンの払込が無料！

セブン・イレブン払込の手数料（通常 105 円～ 210 円）が無料！

※1 回 5000 円以上ご送金の場合に限ります。5000 円未満の場合は、従来どおりの手数料を申し受けます。

色上質の遊び紙が無料！

色上質の遊び紙が無料サービス。用紙代も遊び紙製本料も無料で、計算の必要がありません。

孔版・オフセットの「ミニまる」を除くすべてのセットプランでご利用になれます。

※色上質（中厚口）の A 色（黒、赤などを除く 27 色）が対象になります。色のリストは p56 をご参照ください。

※前のみの場合、前後の場合のいずれも対象になります。

※遊び紙製本料は、このプログラムにより用紙代が無料になる場合に同時に無料になります。他の用紙の場合は通常どおりです。

入稿期限などをご案内

大イベントの入稿期限、新サービスなどのご案内をお送りします。ご利用ガイドの改訂版ができた場合も、無料でお送りします。

※このご案内を停止することはできません。（EditNet Club を期間の途中で退会することはできません。）

年会費・加入手続き

年会費

年会費は 600 円（税込み）です。

加入手続き

加入手続きは、印刷依頼書セットの「EditNet Club 加入申込書」で承ります。最初のご入稿と同時の加入もできます。

※加入申込書にて生年月日をお届けいただけない場合、ご加入の際にお届けが必要です。（本人確認のため使用します。）

有効期間

加入手続きの日から 365 日間有効です。

更新手続は期限の 90 日前から可能で、更新により期限が 365 日延長されます。

※期限経過等の事前案内はいたしませんのでご注意ください。（web でご確認いただけるほか、弊社からメンバ向け郵便物をお送りする際に表示します。）

※期限を過ぎるとポイントの還元・使用ともできなくなり、更新しないまま 90 日経過するとポイントが失効し、その後の加入は再加入（一度メンバでなくなった後再度加入すること）となります。

ご利用条件

ポイントの還元について

ポイントは印刷料、用紙代、配送料その他ほとんどのサービスで還元されますが、一部加算されないものもあります。（対象外のものとは別途明示します。）

ポイントがご利用いただけるには、お支払い確認後数日かかることがあります。

ご利用時点で EditNet Club のメンバでない場合、ポイントの還元・使用ともできません。

ポイントの有効期限について

ポイントは取得の日から起算して 2 回目を迎える 3

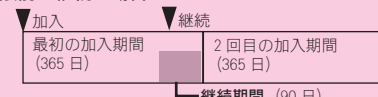
月 31 日に失効します。（このため最長 2 年間、最短で 1 年間有効です。）

ポイントの失効について

EditNet Club の期限が切れ、更新の手続をされなかった場合は、ポイントの有効期限が残っていてもポイントは失効します。（グレースピリオドの間に継続手続を行った場合を除きます。）

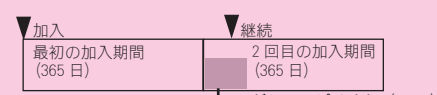
有効期限イメージ

期限前の継続の場合



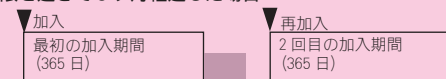
継続は期限の 90 日前からできます。この間はいつ継続しても、継続後の有効期限は当初期限の 365 日後となります。

期限を過ぎてしまった場合



期限を過ぎてしまうとポイントの還元・使用ともできません。ただし 90 日間のグレースピリオドが設定されており、この間に継続すればポイントを復活することができます。この場合も継続後の有効期限は当初期限の 365 日後です。

期限を過ぎて 3 ヶ月経過した場合



期限後 3 ヶ月を経過すると、ポイントの復活はできません。再加入となり、この場合は再加入の日から 365 日間となります。

※メンバ特典は本書発行時点で実施されているものです。今後改廃されることがありますのであらかじめご了承ください。

お手伝いの 必要なお客様へ

お手伝いが必要なお客様のご利用にもご不便が生じないように、できるだけ配慮させていただきます。建物、施設、人員配置等の許す範囲でのご対応となりますので、ここでは弊社の対応状況・自己点検の結果をお客様にご案内いたします。ご不明の点、ご要望がございましたら、遠慮なくお客さまセンタまでお申し付けください。

全般的なこと

単独で身の回りのことができない方は、付き添いの方をお願いいたします。

車椅子をお使いの方へ

弊社の事務所が入居している賃貸ビルは、特にバリアフリーに配慮して建てられたものではありませんが、最寄駅から弊社事務所までは概ねルートが確保されていると思われます。

詳しくは、弊社 web ページ等に最寄駅からのアクセス案内（自己点検の結果）を用意いたしますので、それを参考にアクセスの可否をご判断ください。

なお、弊社事務所内では、納品物等により一時的に通路が狭くなっている場合がありますので、前日までにご連絡ください。建物入口から事務所までは弊社従業員がご案内いたします。

（弊社内の施設について）

●弊社に設置されているトイレは、通常のトイレです。（最寄駅の駒沢大学駅、近隣の世田谷区の区民施設に、車椅子対応のトイレがあります。）

●見本誌コーナなど、一部に狭いところがあります。（できるだけお手伝いいたします。）

筆記が困難な方へ

●利用申込書等の筆記が困難な場合は、窓口では口頭により承ります。

●郵送等では電子メール等での同様の内容のご連絡により承ります（この場合、内容の確認等で時間を要することがありますのでお早めにご入稿ください）。

聴覚やことばが不自由な方へ

●お問い合わせは、電話・電子メールのほか、ファクスもご利用ください。

FAX: 03-5432-3910

（アクセシビリティ窓口あて）

e-mail: support@EditNet-p.jp

●弊社からの連絡は通常電話でさせていただいておりますので、依頼書等にその他のご連絡方法をご記入ください。

●窓口では、筆談・メッセージボード等によりご用件をお伺いいたします。

仕上がりにも不備があった場合などの取扱い

お納めした印刷物についてお気づきの点がございましたら、遠慮なくお客さまセンタまでお申し付けください。

仕上がりにも不備があった場合

お納めした印刷物に万が一不備があった場合は、お客さまセンタまで至急ご連絡ください。

提供約款に基づき、速やかにお取替えもしくは修補等をさせていただきます。

お電話いただく際は、納品書または受注確認書をお手元にご用意ください。

印刷物のご依頼内容と違った場合

弊社のミスによりご依頼内容と異なる印刷物をお納めした場合は、お取替えもしくは修補等をさせていただきます。（ご依頼内容との差異が軽微で、通常のご使用上支障が生じない場合は、お客様と協議の上異なる対応をさせていただきますことがあります。）

印刷物に品質上の不備があった場合

弊社のミスにより品質上の不備があり、印刷物の通常のご使用に支障が生じる場合は、お取替えもしくは修補等をさせていただきます。

印刷物の部数が不足した場合

印刷物は通常予備分を含めて多めに納品されますが、弊社のミスにより部数が不足した場合には、原則として不足分を後日速やかに納品させていただきます。ただし、不足部数が20%以内（50部未満のご依頼の場合は10部以内）である場合、またはお客様が希望される場合は、部数に対応する料金を返金させていただきます。

お取替えについて

印刷物をお取替えさせていただく場合

印刷物をお取替えさせていただく場合、お納めした印刷物をご返却いただきます。その際の送料は往復とも弊社が負担いたします。

ただし、お送りいただく前に必ずお客さまセンタまでご連絡いただき、弊社においてミスの内容等が確認で

きた場合に限りです。（このお手続きなく荷物を送付された場合、受領せず返送させていただくことがあります。）

原稿の不足等について

お返しする原稿等についても、ご確認ください。弊社でも十分注意しておりますが、万が一不足等がございましたら、速やかにご連絡ください。

輸送中の破損等について

万が一お受け取りの時点で外装（外箱）が明らかに破損している場合は、その場で配達員に破損がある旨を伝え、あわせて弊社までご連絡ください。

弊社と運送事業者で協議の上、対応させていただきます。

その他の場合も、輸送中の破損と思われる場合はお客さまセンタまでお申し付けください。

料金の適用・計算に誤りがあった場合

料金の適用・計算には注意しておりますが、万一誤りがあった場合は速やかに返金させていただきますのでお申し出ください。

その他ご不明の点がございましたら遠慮なくおたずねください。

●プランの中には、ご入稿の際にお申し出いただくことが条件になるものがありますのでご注意ください。

その他

印刷物の不備に関して、お取替え・修補等をさせていただくほか、それ以外にお客様に生じた損害についてはその責任を負いかねますのでご了承ください。

その他のご注意

先着順のお取り扱いについて

弊社では予約制を実施せず先着順でご入稿いただいております。入稿が集中する時期はそれを予測して入稿期限を設定するなどの対応を行っておりますが、なお多数の入稿が集中し弊社の作業容量を超えることとなった場合には、入稿期限前でも受付を締め切ることがありますのでご了承ください。

この取扱いについては、弊社 web ページをご参照ください。

イベント搬入の扱いについて

直接搬入の場合、弊社（納品代行業者を含みます。）が直接会場（通常はサークルスペース）に搬入します。

搬入後の紛失・盗難等については責任を負いかねますのでご了承ください。

宅配便搬入の場合、通常はサークルスペースまでは搬入されませんので、主催者の指示に従ってお受け取りください。（会場で受け取りの際に仕分け料などが発生するイベントもあり、その場合はお客様負担となります。）

はじめに

ご利用方法

ご利用にあたって

ご入稿

お支払い

お受け取り

EditNet Club

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

こうはん 孔版印刷と オフセット印刷

2種類の印刷機を使っています

孔版印刷とオフセット印刷

弊社では、印刷方式（原理）が違う2種類の印刷機を使っています。孔版印刷とオフセット印刷です。

（印刷方式については別冊もご参照ください）

この2つのうちどちらを利用されるかは、お客様にお選びいただくことになります。

このため、2つの方式の違い（仕上がり、コスト、納期など）を理解され、適切にお選びいただく必要があります。もちろん、選択にあたりご不明の点があればお気軽におたずねください。

EcoDuo（本文孔版、表紙オフセットのセット）をご利用の場合、原稿作成上の注意が本文（孔版）と表紙（オフセット）で異なりますので特にご注意ください。

孔版とオフセットの選び方

主にコストと仕上りの違い

大きな違いは、コスト（料金）と仕上りの違いです。

孔版印刷は、特に小部数で料金が安くできる特徴があります。例えば32ページで30部の料金を比較すると、孔版はオフセットの0.62倍^(*)です。この違いは大きな違いになります。また、色替えが原則無料であることも見逃せない違いです。

オフセット印刷は、細かい表現などのきれいさが孔版印刷に比べ大きく改善する一方、特に小部数のときは孔版よりも高くなってしまいます。

下の図版で違いを簡単に説明していますのでご参照ください。

(*)1 アーリーバードとエコエコワンの比較。

孔版とオフセットは原理が違う2つの印刷技術で、それぞれに特徴があり、その意義があります。その2つを

優劣で比べると、回転寿司と在来型寿司店を比べるようなものです。

食べたいネタの種類、予算、連れて行く相手などの要素も加えて選ぶわけですから、一概にどちらがいいとはいえません。

※さらに補足すると、回転寿司にも在来型寿司店にもそれぞれ安い店と高級な店がありますが、これも印刷所にそのままではまるかもしれません。（どんな産業でも同じです。）

賢く選ぼう！孔版印刷とオフセット印刷

料金

孔版

- 特に小部数のときに割安。
- 色替え（インキ替え）が無料。

オフセット

- 小部数のときはどうしても割高だが、部数が多くなると割安になる。
- 色替えは通常有料。

仕上がり

孔版

- 細かい部分などはオフセットにかわらないが、使用目的によっては遜色がない場合も
- 印刷位置が正確には合いにくい（多色のずれの原因など）

オフセット

- 細かいトーンや線については、孔版よりもだいがきれい
- データ入稿（CTP）の場合、差は歴然
- 印刷位置は合いやすい

自由度

孔版

- 色を替える作業が容易のため、色替えや多色が簡単
- 使える色はあらかじめ用意した色に限定される
- 小部数でも比較的自由な装丁などが可能（コスト面でも）

オフセット

- 色を替える作業には機械の洗浄などを伴うので、孔版に比べ融通はきかない
- 費用はかかるものの、特色をオダグすることも可能

画材・データ入稿

孔版

- 薄墨、写真の張り込みなどがそのままOK
- データ入稿もOK！（2007年10月開始）

オフセット

- コントラストの強い仕上がりになるため、薄墨などの濃淡を再現できない
- データ入稿もOK

環境負荷

孔版

- 作業時点で化学薬品を使わないため、おそらくオフセットよりも低負荷

オフセット

- 現像、機械の洗浄などでどうしても薬品を使うため、その排出等が避けられない（弊社はできるだけ低負荷のものを使用）

孔版で注意したいこと

孔版印刷，オフセット印刷，それぞれに特有の事項があります。全般的な注意が▶p16にもありますので，ご参照ください。

原稿用紙・寸法

- 投稿用原稿用紙を使うことはできません。
(→A3を超える大きさの原稿を読み取れないため，2ページ並べて印刷することができません。)
- A5の料金はB5と同じです。
(→上記の理由でA5を4ページ並べて印刷することができず，B5同様2ページ単位で印刷するため。)

画材・原稿の作り方

- 細かいトーン，細い線などはおすすめしません。
- 紙原稿でも，薄墨や写真の貼り込みなどを，そのまま表現することができます。
- 小説の文字などは，あまり細いフォントは避けたほうが無難です。

機器・原理の限界

- 印刷位置には多少の(2mm程度の)誤差が生じます。このため，シビアな多色刷りは不向きです。
- 特に表紙に大きなベタを使うと，こすったときに汚れる原因になることがあります。
(→インキの乾燥原理がオフセット印刷と違うことによります。)
- コストが安い分，原理的には簡易なものです。簡易印刷の性質上，仕上がりの細かい点について不備がないとはいえません。コストと品質などについてよく検討の上ご利用いただくことをお勧めします。

オフセットで注意したいこと

画材・原稿の作り方

- 孔版のように，紙原稿の濃淡をそのまま表現することはできません。白と黒に分けられる感じになるため，孔版よりもさらに白黒をはっきり描く必要があります。(データ入稿であれば，グレイスケールもきれいに再現されます。)
- トーンの重ね貼りなどで，きれいに表現できない場合があります。

機器・原理の限界

- 孔版に比べ大幅に位置の精度は合いますが，それでも0.5mm～1mm程度ずれることがあります。例えば細い文字を2色の掛け合わせで表現することなどは難しいのが現実です。
※どの程度ずれるかは，印刷の工程によって違います。データ入稿・多色機1回の場合，普通は0.1～0.5mm程度しかずれませんが，紙原稿の場合，製版の時点と印刷の時点でずれるため，0.5～1mm程度になります。
- ベタとベタの重ね刷りでは，インキが乗りにくかったり，裏うつりしやすいことがあります。
(→インキの上に乗ったインキは，紙の上に乗ったときよりも乾きにくいからです。)
- コスト(価格)低減のため，弊社では色や仕上がりについて厳密には調整していません。仕上がりに多少の不均質がある場合がありますが，ご了承ください。

孔版の裏技，ハーフトーンの再現

弊社の孔版印刷機には，紙原稿でも薄墨，写真の貼り込みなどの濃淡を擬似的に表現できる機能があります。もちろん，オフセットのように濃淡をはっきりと出す設定もあります。

特徴

- 原稿の濃淡を擬似的に表現しますので，薄墨や写真の貼り込みなどに網掛け処理をする必要がありません。

- 製版の設定のみのため，費用がかかりません。

利用方法

- 印刷の際に原稿を判断してふさわしい方法で製版しますので，お客様が指定する必要はありません。(ハーフトーンがある原稿は，それを再現する方法で製版します。)

注意

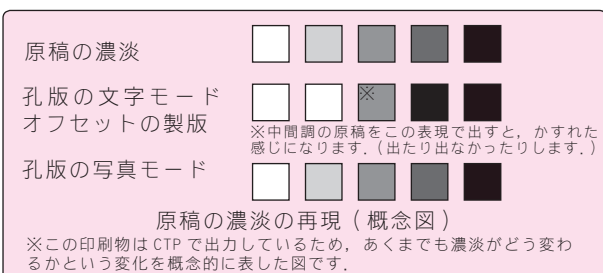
- ベタの塗りむらなども再現されることがありますので，ベタは黒く塗ってください。
- あまり薄いと再現されません。薄墨や鉛筆の場合は特にご注意ください。
- 写真の貼り込みは，暗い写真は再現が難しいことがあります。明るめの写真をおすすめします。

比較的きれいに表現できるもの

写真の貼り込み，薄墨，鉛筆(濃度に注意)
ベタ(均一に塗る)
はっきり表現された線画や文字

文字モードの
ほうが仕上がりを
期待できるもの

むらのあるベタ
細い線(ただし表現結果は好みの問題)



データ入稿で一気に解決

オフセット印刷では紙原稿から濃淡を直接再現するのが困難ですが，データ入稿をすれば一気に解決します。しかも，孔版の写真モードよりも格段に仕上がりが向上します。(このご利用ガイドは，データの2色刷りで作られています。)
※孔版印刷でもデータ入稿ができるようになりました！

画材の選び方と使い方

※ここからしばらくの間、紙原稿に関する記述が多く登場しますが、データ入稿の場合にも応用できる内容も多いですので、どなたもご一読ください。

自動車の設計図面と、完成した車を思い浮かべてください。いくら理想的な図面であっても、素材の特質、加工技術の限界などを考えていない設計図面では、設計者の意図する車はできあがりません。自動車の設計者に求められるのは、**きれいな図面**を描くことではなく、いい車（安く大量に）作ることです。

まず知っておきたいこと

多少の語弊はありますが、原稿が芸術作品であるのに対し、印刷物は工業製品であるといえます。

仕上がる印刷物は、原稿とは違うものです。

せっかく苦勞して描いた原稿でも、意図しない仕上がりになることもあります。

また、適度に手を抜いた原稿でも、印刷物ではわからない場合があります。

印刷・製本のことまで考えて原稿を描けば、仕上がりが大きく変わります。このことに注意して、原稿を作るようにしてください。

印刷の表現の基本的な特性

原稿と印刷物で大きく異なるのは、濃度の表現ではないかと思います。

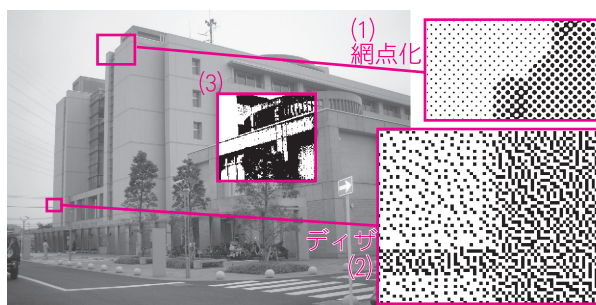
原稿に描く時点では、「濃淡」を表現できます。画材の濃さや筆圧の強さを変えることで、濃くも薄くも描けるからです。

一方、印刷機はインキの濃さそのものを自由に変わって濃淡を表現することができません。

その結果、「白い部分は白、黒い部分は黒」と2つに分けられることになります。

例えば、写真をそのまま原稿に貼り付けて製版すると、一般的には下の写真の中央付近(3)の部分のようになります。

実はこれがすべてを物語っていて、写真に限らず、一般的な画材でも同じなのです。白と黒がはっきりした画材を使わないと、かすれたりしてしまい、思うような仕上がりになりません。



濃淡の擬似的な表現

適した画材、適さない画材

原稿に適した画材とは、白黒がはっきりとした画材ということになります。逆に、白黒がはっきりしない画材は通常使うべきではありません。（濃淡を表現するために孔版の写真モードを使う場合など、例外があります。）

▶p22 パソコンで紙原稿を作る場合

例示すると、次のようになります。

適した画材	ミリペン、ロットリング、烏口、墨汁、サインペン、スクリーントーンなど
孔版の写真モードで、濃淡を表現したい場合に使える画材	薄墨、写真の貼り込み、コピック（グレイ）、鉛筆など ※濃度に注意してください
適さない画材	ボールペン、色鉛筆など黒以外の画材など

※「適した画材」でも、インキが薄かったり、使用方法が適切でない場合などは、望ましい仕上がりにない場合があります。一方、一般には原稿用の画材として使われない画材でも、表現効果を期待して使用されることもあります。

濃淡を印刷で表現する原理

印刷物には写真や薄墨などの濃淡も表現されています。左下の写真右側(1)のように網点にしたり、(2)のようにディザにしたりします。

これは、インキの濃さそのもので表せなくても、画像を点に分解して、点の大きさや疎密を変化させることで、擬似的に濃さを表すことを応用しています。

一般的な印刷所で、「(紙原稿の)写真や薄墨は網掛けをしなければいけません」という説明があるのは、このようなことによるものです。

漫画でよく使われるスクリーントーンは(1)の原理をそのまま使っています。

そして、一般的な「網掛け」は(1)、孔版の写真モードは(2)の原理です。

データ原稿の濃淡の表現

データ入稿の場合も考え方は同じですが、グレースケールの原稿も機械がきれいに再現するようになっています。

弊社では、左下の写真に当てはめると、(1)の原理を用います。（孔版印刷では、状況により(2)の方式を使うこともあります。）

ハーフトーンの表現はデータのほうが格段にきれいですので、ハーフトーンを表現されたい場合、データ入稿をおすすめします。

網掛けとディザの違いは、点の大きさを変えるか密度（疎密）を変えるかの差です。密度（間隔）を一定にして点の大きさを変えるのが網掛け、点の大きさが一定で密度（疎密）が変わるのがディザです。

AM スクリーニングとFMスクリーニングの違いはこれによるものです。もともとAMとFMは無線工学の用語で、ラジオ放送でも使われていますが、網掛けがAM（振幅変調；周波数が一定で電波の強さを変えて音声を送る）、ディザがFM（周波数変調；電波の強さは一定で波の疎密、すなわち周波数をずらして音声を送る）の原理に近いことから名づけられています。

注意が必要、ベタの表現

ベタは重要な効果のひとつであり、画面をうまく引き立てることができます。

しかし、科学的な側面では、印刷とは紙に異質なものをしこませることであり、ベタは紙に対してはどうしても負担になります。

特に孔版のインキは水と油の混合物であり、ベタはどうしても紙が湿ってしまい、波打ったりすることもあります。

上手にベタを表現するために、次の点に注意してください。

●薄い紙（55kg など）に極端なベタを使うと、紙が負けてしまいます。

●薄い紙でベタの分布が偏っていると、紙の重さのバランスが取れず、印刷や製本の支障につながる場合があります。

●極端なベタを使うと、裏が汚れるなどの原因になることがあります。

●ベタが多い場合、こすった場合にインキが落ちることがあります。（特に孔版は起こりやすいです。）

●PP 貼り（コーティング）をする場合、特に周囲にベタが多い場合、その部分から少しフィルムがはがれやすくなる場合があります。

●孔版印刷機は大きなベタや柱ベタ（縦や横に一直線になる大きなベタ）などを印刷できないことがあります。その場合、濃度を落として（薄くして）印刷することがあります。

また、ベタの上に白抜き文字を書くときは、白をはっきり、太く描いてください。インキは印刷の段階で太る傾向があるため、細い白抜きはつぶれます。また、ミルキーペンは実際にはあまり白く塗れないため、おすすめしません。一番適した方法は、普通に書いた文字を白黒反転コピーして貼り付けることです。

細い線、細かい柄

細い線や細かい柄にも注意が必要です。あまり細い線は飛びやすくなりますし、これらを鮮明に表現するということは、貼り付けの陰やぼこりのように、出てほしくないものも出てしまうことになります。

できるだけ全体がきれいに出るように調整しておりますが、「薄いところは飛びがちに、濃いところはつぶれがちに」を意識していただくほうがきれいに仕上がります。

ページ・面全体の柄について

印刷・製版の工程では、製版の濃度を1版全体でしか制御できません。1版とは、孔版の場合は2ページ、オフセットの場合B5が2ページ、A5が4ページです。

同じ版で一緒に印刷されるページに濃いトーンと薄いトーンや細い線などが混在すると、そのどちらかに合わせるほかありません。

その結果、どちらかがつぶれるか、もしくは飛ぶ可能性があります。

スクリーントーンの使い方

網模様やグラデーションなどの模様が印刷されているフィルムを、スクリーントーンといいます。

トーンも上手に使うと非常に効果が出るのですが、印刷の仕上がりにおいてはどうしても制約があります。

細かさについて

網のトーンは、「55L/40%」などの例により表されています。

Lは線数で、柄の細さを表します。（Lと線は同じ意味です。数字が大きいほど細かいトーンです。）

%は画像における黒い部分の割合で、数字が大きいほど暗くなります。

あくまでも参考であり、原稿の他の部分やトーンの状態にもより異なりますが、孔版では60線程度、オフセットでは70-80線を超えると、きれいに表現できないことがあります。（投稿用原稿用紙を使う場合、縮小を加味して55-65線以内にするといいです。）

濃度について

印刷は、「薄い部分は飛びやすく、濃い部分はつぶれやすい」という傾向があります。

このため、あまり薄いトーンや濃いトーンは使わないほうが賢明です。一般には「10～40%にするとよい」といわれていますが、これが一つの目安になると考えられます。

トーンの品質について

トーンにも種類がありますが、中には印刷が薄かったり、素材が少し暗い色だったりすることがあります。このような場合、製版の際に影響が出てくる場合があります。できるだけ、黒がはっきりと出ていて、白い部分が曇っていない（暗くない）トーンを使うことをおすすめします。

重ね貼りについて

トーンの重ね貼りはあまりおすすめできません。やむをえない場合は、特に次の点にご注意ください。

●模様と模様のハレーション（モアレ）が生じることがあります。

●トーンの白い部分は透明度が少し低いいため、印刷機には灰色に見えることがあります。このため重ね貼りの部分の網やグラデーションはつぶれやすくなる場合があります。

貼り付けについて

トーンの圧着が弱いと、作業中にはがれる原因になります。十分圧着してください。

トーンの下に下書きや薄い線などがある場合は、消してから貼ってください。通常出ないような濃度で描かれたものも、トーンを貼ることでその部分が暗くなり、印刷に出ることがあります。

同様の理由で、トレーシングペーパーにトーンを貼った場合も、つぶれやすい傾向があります。

Essential Tips!

ベタ・スクリーントーン

- ベタは使いすぎないほうがよいです。
- トーンの線数は孔版で60線、オフで80線程度まで。濃度は10～40%くらいが目安です。
- 細い線と濃いトーンの混在にご注意。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

孔版印刷と
オフセット
印刷

画材・
原稿用紙

多色刷りの
原稿

パソコンで
作る紙原稿

本 の 原稿・
台割

本 の 面付け

表紙の原稿

フルカラー
表紙の原稿

ペーパーの
原稿

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

原稿用紙の使い方

原稿用紙の種類

サイズによる分類

原稿用紙には、主に「同人誌用」「投稿用」があります。（「表紙用」もありますが、それは表紙の項▶p30で説明します。）

B5判の本を作る場合、同人誌用は原寸（等倍）になるり、投稿用は縮小（83%）になります。

	同人誌用	投稿用
用紙全体の大きさ	A4 (210X297mm)	B4 (257X364mm)
枠の大きさ	B5 (182X257mm)	220X310mm
孔版印刷	B5 本 ○ (100%)	× 使用できません
	A5 本 ○ (82%)	
	B6 本 ○ (70%)	
オフセット印刷	B5 本 ○ (100%)	○ (83%)
	A5 本 ○ (82%)	△ (67%) ※ B5 判の料金になります
	B6 本 ○ (70%)	×

通常、B5の本の場合は同人誌用または投稿用、A5の本の場合は同人誌用が使われます。

ただし、**孔版印刷では投稿用が使えません**。（再版や再録などでやむをえない場合は、一度縮小コピーで同人誌用と同じ大きさにしてから印刷します。このため画質はどうしても悪くなります。）

A5の本を作るときは、**投稿用を使わない**ようにしてください。

B5の場合はどちらでもかまいませんが、弊社では**同人誌用を使う方がほとんど**です。投稿用を使う場合は縮小を考えて描くことが重要です。トーンの細かさ、線の太さ、文字の大きさなどに注意してください。いずれの場合も、**孔版印刷では投稿用を使わない**ようにしてください。

枠線・印刷による分類

市販の原稿用紙を購入すると、薄い青色で枠線が印刷されているのがふつうです。

この印刷の種類もいくつかあります。大きく分けて漫画用、小説用があり、漫画用には枠線用と4コマ用があります。用途に合ったものを選んでください。

トンボが印刷された原稿用紙

弊社では、入稿の際にトンボを黒く塗り足していただくようお願いしています。メーカーによってはトンボがあらかじめ黒く印刷されている原稿用紙もありますので、それを選ぶと大変便利です。

原稿用紙の使い方

市販の原稿用紙を購入すると、あらかじめ枠線などが印刷されています。その名称と意味は、図1をご覧ください。

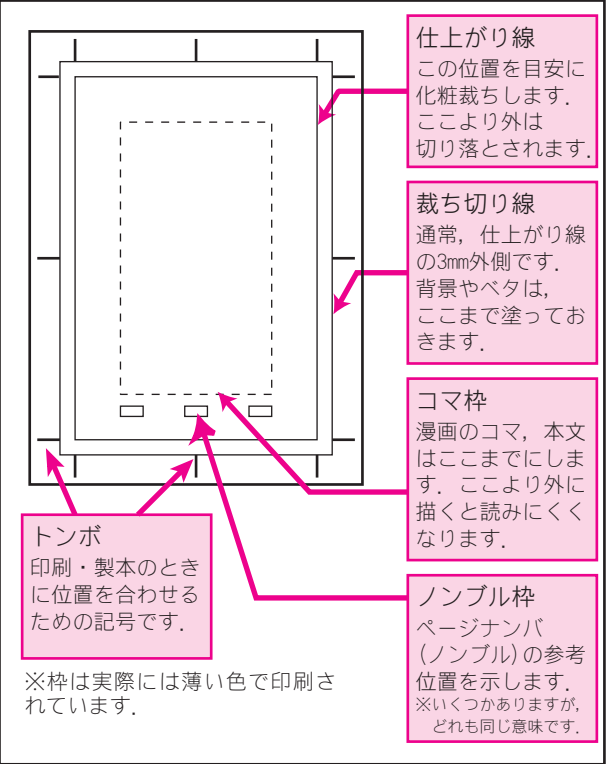


図1 原稿用紙の各部の名称

3つの枠の意味

特に重要なのは、（外から）「裁ち切り線」、「仕上がり線」、「コマ枠」の3つです。

「仕上がり線」は、同人誌用原稿用紙の場合、182mmX257mmになっています。

次の点については、十分ご理解の上原稿を作成してください。

(1) **漫画の主な部分、本文、コマは、通常「コマ枠」におさめて描きます。**4コマ漫画のコマも、通常はこの枠に収まるように配置されています。

(2) **化粧裁ちで切れる位置**（製品になったときに端になる位置）は、**仕上がり線の位置**です。

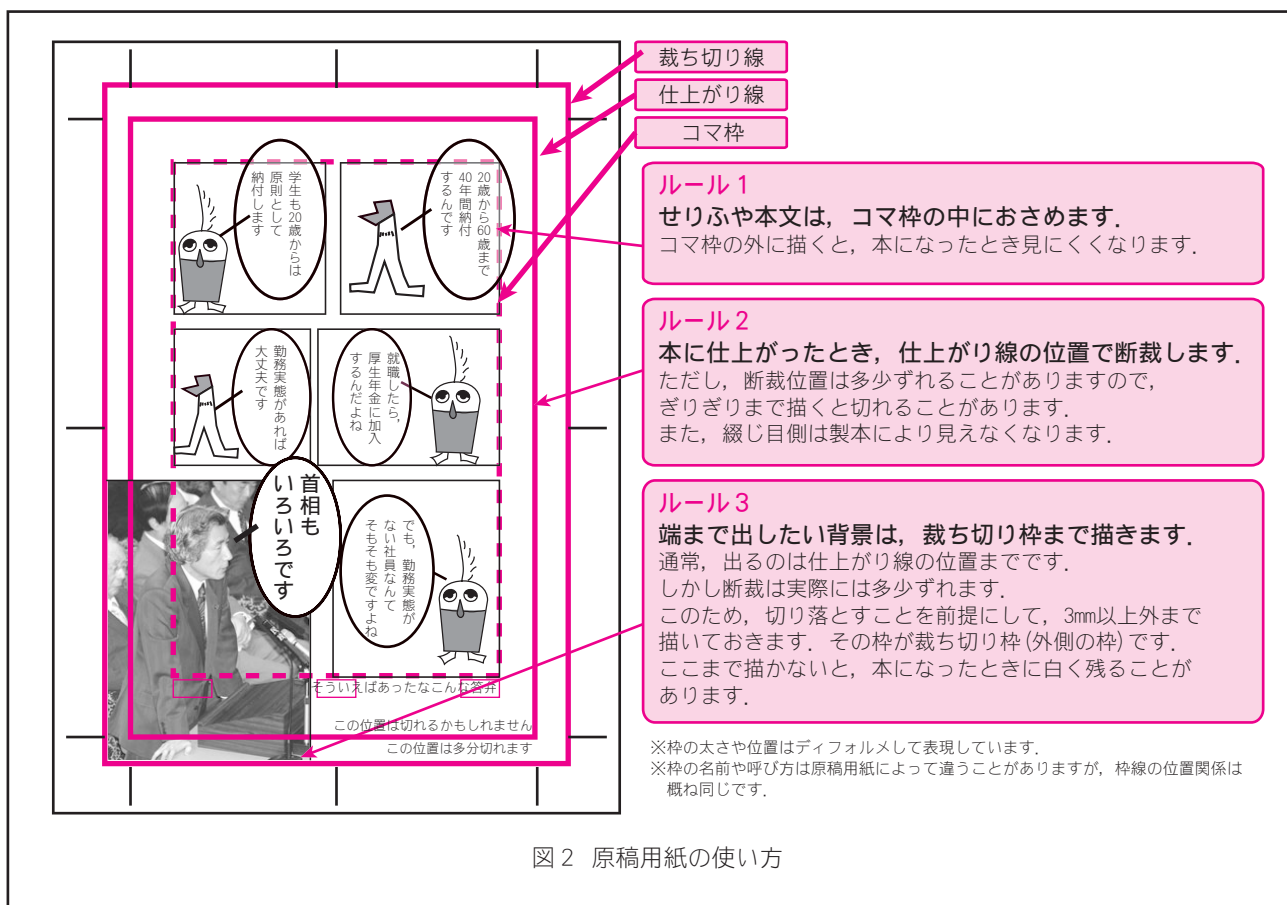
(3) **端まで背景、ベタ、効果線などがある場合は、裁ち切り線まで描きます。**

この3つのルールを図2にまとめましたので、参考にしてください。

Essential Tips!

原稿用紙

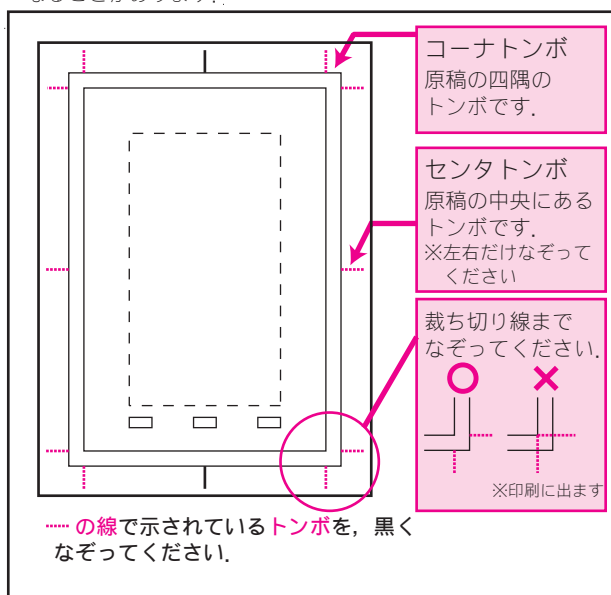
- 孔版では投稿用を使わないでください。
- 3つの枠の種類と意味をよく理解しましょう。
- 弊社では、トンボを黒く塗ってご入稿いただくようお願いしています。



トンボの塗りつぶし

弊社では、原稿のトンボを黒く塗っていただきご入稿いただくようお願ひしています。お手数ですが、トンボをなぞってご入稿ください。

※本の場合、トンボがなぞられていないと、加算額が必要になることがあります。



ペーパーの原稿

ペーパー（ちらし、便せんなど）の場合も基本的には同じ考えでかまいません。例えば B4 判（B5 × 2 ページ）であれば、同人誌用原稿用紙 2 枚を使って描く形になります。

ただし、製本がないため、「本文をコマ枠に入れる」という点については、必ずしも妥当しません。もう少し外側まで描いても通常問題ありません。

周囲から数 mm に描くと切れる心配がありますが、それ以外はデザインによって異なるものと思います。

ペーパーの原稿全般については ▶ p34

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

孔版印刷と
オフセット
印刷

画材・
原稿用紙

多色刷りの
原稿

パソコンで
作る紙原稿

本の原稿・
台割

本の面付け

表紙の原稿

フルカラー
表紙の原稿

ペーパーの
原稿

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

多色刷りの原稿

Essential Tips!

- 色の数だけ原稿が必要です。1枚の紙に2色で描いても2色刷りにはなりません。
- 位置ずれがどうしても出ます。少々ずれても目立たない柄にすることをお勧めします。

色の数だけ原稿が必要です

多色刷りとは、2色以上のインキで印刷することです。原理としては、最初に1色目の印刷をして、位置を合わせて2色目を重ねて印刷する・・・ということになります。

このため、2色刷りなら2枚、3色刷りなら3枚の原稿が色ごとに必要になります。多色で原稿を描いても多色刷りにはなりません。

原稿を描く時点で、インキの色ごとに分けて描きます。これを分版（ぶんばん）といいます。

原稿は、インキの色にかかわらずすべて黒で描いてください。

色の数や位置ずれなどの制約

色の数の制約

理論的には重ね刷りの回数に制限はありません。

しかし、同じ紙を何回も機械に通せば汚れやすくなりますし、乾燥の問題、納期の問題などから、実用上はある程度の制約があります。

通常は3色程度までですが、柄によってはこれ以上でも支障がない場合もありますし、特に孔版ではベタが多いと2色でも汚れが出やすい場合があります。

位置合わせの制約

多色刷りは位置がどうしてもずれます。

孔版では2mm程度、オフセットでも1mm程度ずれることがあります。

このため、主線を太く描く、細かいずれが仕上がりに大きな影響を与える絵柄を避けるなどの注意が必要です。

フルカラーと多色刷りは大きく異なります。フルカラーの原稿はフルカラーで描きますが、多色刷りの原稿は自分で分版する必要があります。フルカラーの場合、カラーの原稿をコンピュータで4色に分版し、製版するのが普通です。しかし多色刷りは通常このようになっていません。（データの場合はいろいろな方法があります。）

多色刷りの原稿

位置合わせがない原稿

タイトル文字と背景など、相互の位置関係が重要でない原稿の場合は、白黒の原稿と同じ方法で2つの版を作っていただければかまいません。

位置合わせがある原稿

絵柄に2色が使われているなど、位置関係が重要である場合は、次の方法があります。

(1) ライトテーブルを使う方法

多少薄めの原稿用紙を使い、2枚を同じ位置で（トンボが合うように）重ねて、下からライトテーブルで照らして描きます。（ガラス製のテーブルがあれば、それと電気スタンドの組み合わせなども考えられます。）

(2) 表紙用原稿用紙を使う方法

表紙用原稿用紙には、多色用の原稿用紙と呼ばれる商品が市販されており、これを使うと手軽に多色刷りの原稿が作れます。トンボの位置を合わせておいて描けば、原稿の位置を合わせることができます。

(3) トレーシングペーパーを使う方法

多色用原稿用紙がなくても、一般の同人誌用原稿用紙にトレーシングペーパーを重ねて描くことで、同様の効果を得ることができます。この場合、下の原稿用紙のトンボを黒くなくおき、トレーシングペーパーにも同じ位置にトンボを入れ、その状態で位置を揃えて描く必要があります。

インキの重なり

インキの重なり方

孔版、オフセットとも、たいていの場合インキは透明です。（下の色を通します。）

したがって、A色の上にB色を重ねた部分の色は、B色ではなく、A色とB色を掛け合わせた色になります。例えば、赤と青のインキを重ねた部分は、紫に近い色になります。

例外としては、次のような例があります。

●孔版の灰色は半透明であり、下の色を多少覆い隠します。

●オフセットの特色の中には、例えば白、銀など、半透明～不透明な色があります。（もっとも、完全に不透明なわけではありません。）

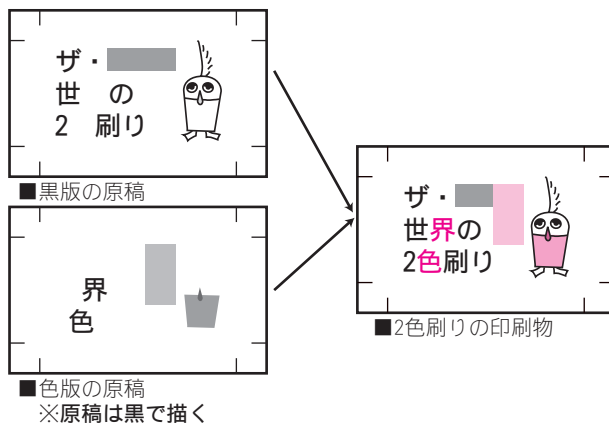
これらの色を使う場合は、刷り順に注意する必要があります。（印刷依頼書で指示できます。）例えば灰色を2色目（上）にすると、下の色が多少覆われます。

インキの乗り方

オフセット印刷の場合、原理的に（1）インキの上にインキが乗りにくい現象（2）インキの上に乗ったインキは乾きにくい現象があります。

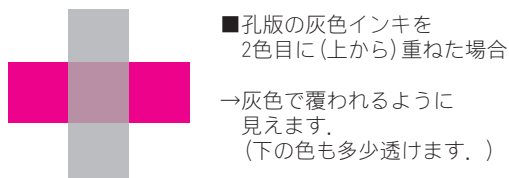
このため、ベタの上にベタを重ねることは、必要がない場合避けることが無難です。特に（2）の現象により、ベタの上に乗ったインキが裏うつりすることがあります。

■単純な2色刷りの例

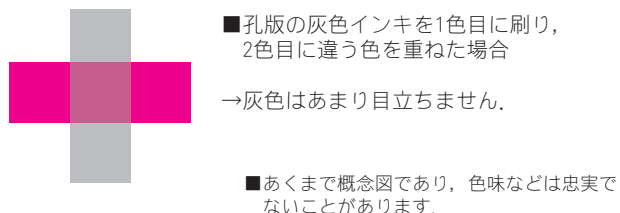


- 印刷機のインキを交換し、同じ紙に2回印刷します。
- 例は黒＋色ですが、いろいろな組み合わせがあります。

■色の順序が関係する場合の例



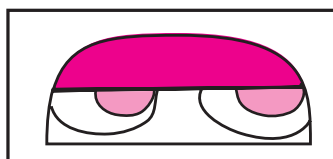
- 孔版の灰色インキを2色目に(上から)重ねた場合
- 灰色で覆われるように見えます。(下の色も多少透けます。)



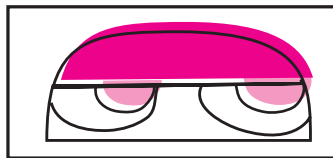
- 孔版の灰色インキを1色目に刷り、2色目に違う色を重ねた場合
- 灰色はあまり目立ちません。

■あくまで概念図であり、色味などは忠実でないことがあります。

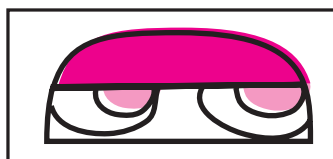
■位置ずれとその対策



- だいたい合っている場合



- 1mmのずれが生じた場合



- 主線を太くして描いた原稿で、1mmのずれが生じた場合
- ※相対的に目立たない

▲ずれの度合いは同じです。▼

原稿の作り方と仕上がりについて

ご利用ガイドの記述内容について

このご利用ガイドで説明する事項は、(1) 守られていなければ印刷ができない事項 だけではなく、(2) 守られているほうが仕上がりが向上する(不適合でも印刷はできる)事項もあります。

お客さまセンタでの原稿の確認について

ご入稿いただいた原稿に前記(1)がある場合については、原則としてお客様にご連絡の上対応を行うこととなります。(面付けの軽微な誤りなどは、ご連絡なく直すことがあります。)

しかし、(2)については、問題が見受けられたとしても、原則としてそのまま印刷することとなります。例えば、線の太さやスクリーントーンの使い方、原稿の濃淡などがこれにあたります。

この部分は原稿を作る時点でお客さまにご注意いただくべき点と考えられることと、原稿の状況やご経験はお客さまによる差が大きいためです。

印刷の状況や試し刷りについて

原稿の再現や印刷の仕上がりなどについては、お客さまセンタに見本を用意しておりますので、ぜひご覧ください。

お客様の原稿の再現について不安な点がある場合は、事前にお客さまセンタにご相談のうえご入稿いただくことをおすすめします。日数に余裕があれば、実際にお客さまの原稿のサンプルを印刷することが可能な場合

もあります。

印刷物の仕上がりについて

原稿の再現や印刷の仕上がりなどについては、原稿の状況、機械との相性、機器の性能の限界などの制約により、必ずしもお客様の想定のとおりになるとは限りません。

また、作業には注意しておりますが、多少の色や再現のむら、画像の細かい汚れ・製版上の傷、製本・断裁時の少々の毛羽や汚れなどについては、実用上の支障が生じると考えにくい範囲ではありますが、どうしても生ずることがあります。

これらの事象につきましては、なにとぞご容赦ください。(改善対策の資料にいたしますので、お気づきの点は遠慮なくお客さまセンタにお申し付けください。)

なお、作業の誤りなど弊社の責により印刷物の実用上の機能に支障が生じる場合、提供約款に基づきお取り替え、修補などの対応をさせていただきます。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

孔版印刷と
オフセット
印刷

画材・
原稿用紙

多色刷りの
原稿

パソコンで
作る紙原稿

本の原稿・
台割

本の面付け

表紙の原稿

フルカラー
表紙の原稿

ペーパーの
原稿

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

パソコンで作る 紙原稿

Essential Tips!

- 現在では、全てのプランでデータ入稿が可能になりましたので、まずはデータ入稿をご検討ください。
- パソコンで紙原稿を作る場合、なるべく、原稿用紙と同じようにトンボを印刷してください。
- 印刷に使う用紙は普通の紙でかまいません。

データ入稿と異なる注意が必要です

ここでは、「お客さま自身がプリンタで出力する紙原稿の作成」について説明します。

いわゆる「データ入稿」ではありませんので、お間違いないようご注意ください。

▶ p36 データ入稿

▶ p32 フルカラーの原稿

現在ではオフセット印刷・孔版印刷ともデータ入稿ができますので、まずはデータ入稿をご検討ください。

アプリケーションの問題などで紙で入稿される場合は、このページをご覧のうえ原稿を作成してください。

原稿作成の段階では

原稿を作る時点では、次の点にご注意ください。

カラーモードなど

フルカラーよりもグレースケールまたは白黒2値で作ることをおすすめします。

濃度など

薄すぎると飛んでしまい、濃すぎるとつぶれる傾向があることに注意してください。

小説のような文字ばかりの原稿を除き、孔版では写真モードで製版することになります。このため、文字と絵の両方が入る場合は、文字を濃く（黒く）はっきりと表現してください。あまり細いフォント（書体）はおすすめできません。

トンボ

トンボはできるだけプリンタで印字してください。（同人誌用原稿用紙に適切な位置で印字する場合、トンボを出さなくてもかまいません。）

Pagemaker, Illustrator, Photoshop ではトンボを印字する機能があります。その他のアプリケーションの場合、ご自身でトンボを入れていただくか（寸法は図1参照）、サイズを考慮して原稿を作成の上、原稿用紙に貼り付けてください。（原始的ではありますが、実際にはこの方法が簡単な場合も多いと思われます。）

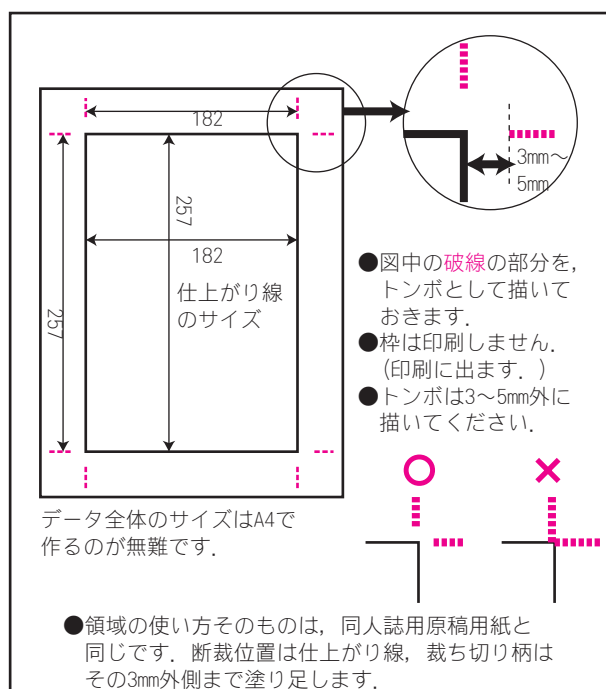


図1 トンボの位置

出力（プリントアウト）の段階では

原稿の作成から印刷（製版）までの流れは、概ね図2のようになります。印刷に適した原稿を作るには、このどこかで画像を2値に処理しなければなりません。（印刷機は基本的に白黒はっきりした原稿しか印刷できないためです。）

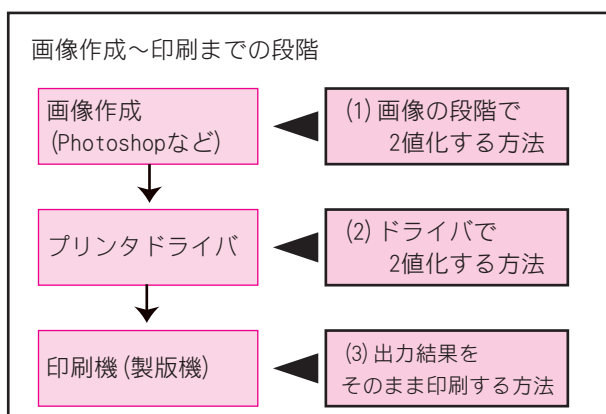


図2 原稿～印刷までの流れ

小説などの文字原稿であれば、(3) でいいのではないかと思います。Wordなどで作る場合も、原稿用紙のコマ枠に出てくるよう考慮した「余白」を設定し、原稿用紙に出力すると簡単です。

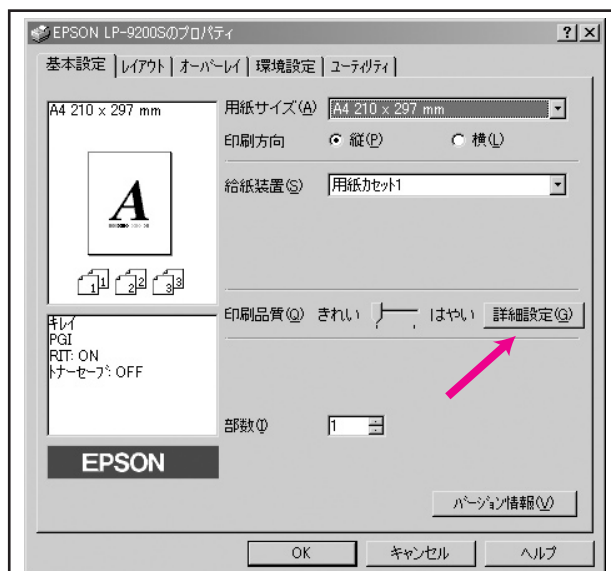
しかし、まんが原稿などについては、通常は(1)か(2)で処理した出力をするのが望ましいといえます。

プリンタドライバで2値化する

グレースケールの原稿を印刷する場合、もしドライバで「網掛け」ができるのであれば、それが簡単です。例えば、EPSONのレーザプリンタの場合、ドライバの設定は図3のようになります。

この例の場合、PGI は網点、ハーフトーンはディザになります。印刷の原稿に向いているのは網点といいいでしょう。（孔版の場合、ハーフトーンが写真モードにより出ることがありますが、プリンタとの相性の問題が大きいです。）

プリンタによって機能が大きく変わりますので、プリンタの説明書をご覧のうえお試しください。（インクジェットの場合、網点の機能は通常ないようです。その場合はハーフトーンで出力することになります。）



印刷のプロパティ画面（詳細をクリック）



詳細設定画面

PGIを選択し、画像は粗め・明るめに設定

図3 プリンタの設定例

画像作成後に2値化する

Photoshop の場合などは、グレースケールを白黒2値に変換する場合に、いくつかのオプションを選ぶことができます。図4をご参照ください。

この操作をするときは、オリジナルのグレースケールのファイルを、必ず保存しておいてください。（元に戻せません。）

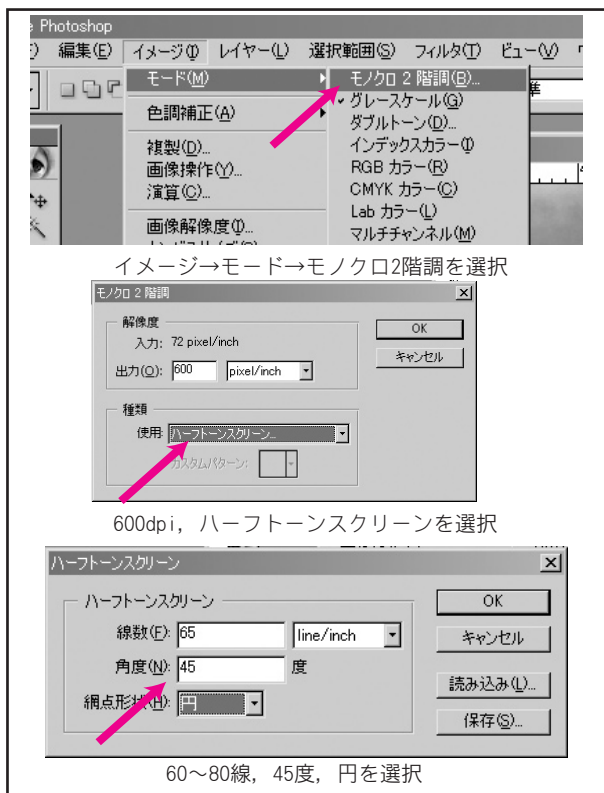


図4 Photoshopでの網点化

図4の流れは一例ですので、お使いになるプリンタの画質、孔版かオフセットか、出力した原稿を原寸で印刷するか縮小するかなどの条件により左右されます。

原寸で印刷する場合、孔版であれば60～65線、オフセットは80線程度以内が目安と思われます。

一意に「こうするときれいである」という設定はありませんので、何回か出力してみるとよいでしょう。

出力時点での注意

出力（プリントアウト）の時点でも注意していただきたい点があります。特に、インクジェットプリンタの場合、以下の点にご注意ください。

●「黒」のインキだけで印刷されていることを確認してください。機種や設定によっては、他の色が混じって出力されることがあり、この場合印刷のときに汚れたりぼけたりすることがあります。

●インキの飛び散り、にじみがないことを確認してください。印字がかすれたり、うまく印字されていない場合は、ヘッドのクリーニングやリフレッシュをお試しください。

これらの対策で必ず劇的な改善をするということではありませんが、お試しくださいことをおすすめします。

本の原稿の作成

Essential Tips!

- 製本されたときのことも考えて原稿を作る必要があります。(中綴じと無線綴じでも若干異なります。)
- ページナンバ(ノンブル)を、必ず本文に入れるようにしてください。

原稿に取りかかる前に

原稿を作る時点では、次の点にご注意ください。
(再版・再録の場合はやむを得ないこともありますが、通常、本を作れないほどの問題にはなりません。)

ページ数・製本の方法

製本には中綴じと無線綴じがあります。原稿作成上も細かい点で注意が必要になることがあります。

また、ページ数は中綴じの場合で4ページ、無線綴じの場合で2ページ単位でなければいけません。(料金計算上は単位が異なることがあります。)

仕上がりの寸法

本をどのような大きさで作るかも、最初に決めておきたいことのひとつです。B5のつもりで作った原稿を後でA5に縮小すると、読みにくくなることや、トーンがきれいに表現できないこともあります。

紙替え・色替えの概要

紙替えや色替え(インキ替え)の可否は、台割(ページ割り)に左右されますので、最初に決める必要があります。

中綴じと無線綴じ

中綴じ

中綴じは、週刊誌のように本のまん中をホチキスで止め、折る方法です。

弊社では、概ね40ページ程度までの本に適します。それを超えると、背の折りが甘くなる場合があります。

無線綴じ

通常の書籍や「少年ジャンプ」のように、背の部分のをりで固定する方法です。

薄い本から厚い本まで対応できますが、概ね16ページ以下の場合には中綴じのほうが良い場合があります。

原稿の注意点

コマ枠の中の領域については、いずれも特に変わりません。しかし、その外に描かれた背景や塗り足しなどは若干注意が必要です。

無線綴じの場合、綴じ目の側をいっぱいには開けません。このため、綴じ目ぎりぎりに描いた柄は非常に読みにくくなります。

中綴じの場合この制約はありません。しかし、内側のページ(まん中に近いページ)は紙の厚みの分だけ小口が少し内側で切れるようになります。=図1=

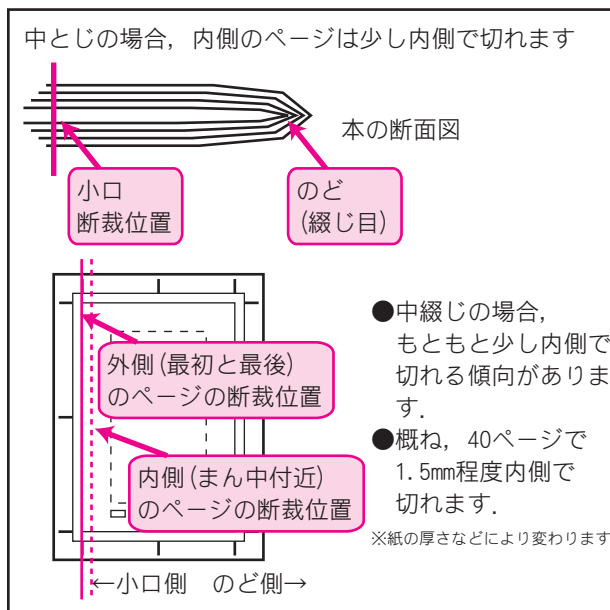


図1 中綴じの化粧裁ち位置

トンボとページナンバ

トンボ

紙原稿をご入稿の際は、トンボを黒く塗ってご入稿ください。

トンボをなぞる作業については▶p19

この作業が済んでいない場合、料金の加算額が必要な場合があります。

原稿用紙によってはあらかじめトンボが黒く印刷されているものもあり、これを使われると便利です。

ページナンバ

本を製本するには、本文の印刷に出る位置にページナンバ(ノンブル)が必要です。原稿を見ながら製本できるわけではないためです。

この点はデータ入稿の場合も同じです。

目立たない位置=図2=、小さい文字でもかまいませんので必ず本文中に入れてください。ページナンバの不備により生じた乱丁について、弊社は責任を負いかねます。

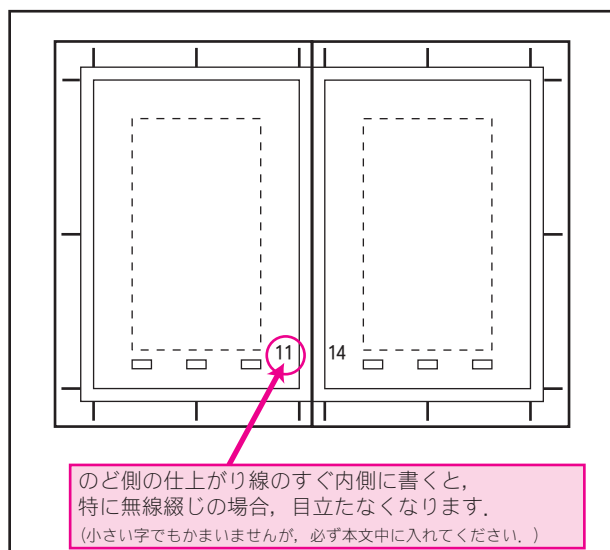


図2 ページナンバの目立たない位置

本の台割

だい わり

Essential Tips!

- 本の印刷は何ページかを一緒に印刷しますが、その組み合わせ表を「台割表」といいます。
- 紙替え・色替えは、台割について必ず知っている必要があります。
- それ以外でも、どのページが見開きになるか、左右どちらが小口になるかを考えてデザインするほうが、読みやすい本に仕上がります。

印刷ページの組み合わせ

本は1ページごとに印刷するわけではありません。
弊社の場合、片面に2ページを並べて一緒に印刷します。(オフセットのA5判は4ページです。)
どのページと一緒に印刷されるかは自由に決められるものではなく、一定の法則があります。どのような組み合わせになるかを台割といい、台割を示す表を台割表といいます。

中綴じと無線綴じ

図1をご参照ください。中綴じと無線綴じで、左右のページの組み合わせが異なります。

中綴じの本の台割

中綴じの本は、外側から4ページ(前後両方から各2ページの計4ページ)で1組となり、順々に内側に向かう台割になります。

表紙込み20ページの本であれば、本文で一番外側の組は「3, 4, 17, 18」の4ページに、続いて「5, 6, 15, 16」, 「7, 8, 13, 14」, 一番内側が「9, 10, 11, 12」になります。(本文のページナンバを3から始める場合。)

無線綴じの本の台割

無線綴じの場合は、前から4ページで1組となり、順々に後ろに向かう台割になります。

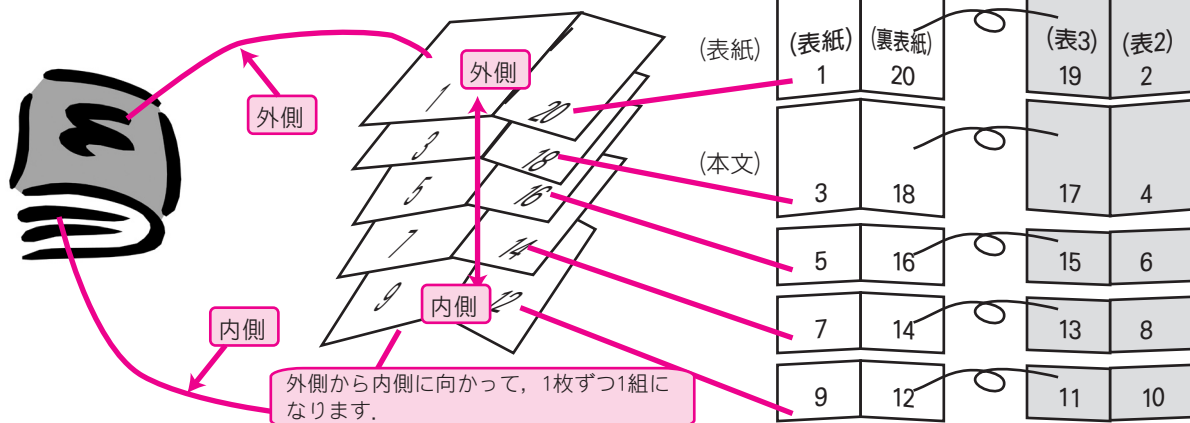
前記中綴じと同じ設例であれば、一番前の組が「3, 4, 5, 6」, 順に「7~10」「11~14」, 最後が「15~18」です。

※オフセット印刷のA5判は、ここで示した1組をさらに2つに付けて、8ページ(片面4ページ)を同時に印刷します。

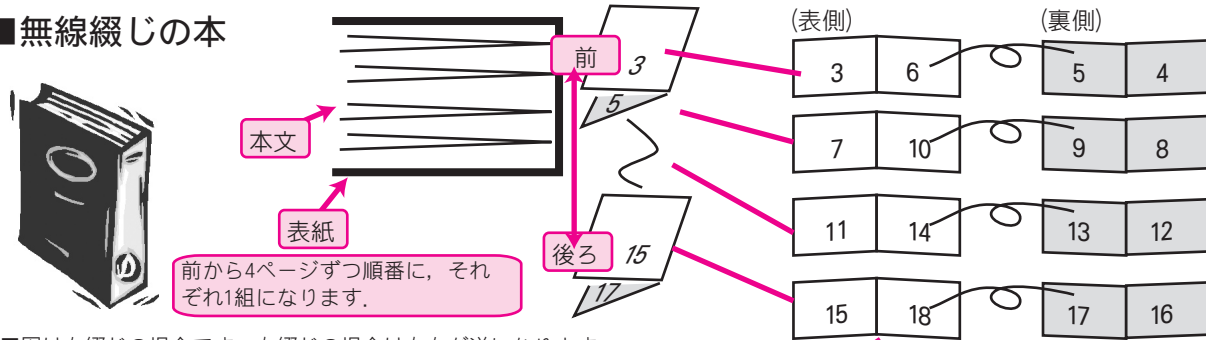
本文が始まるページ

- 多くの同人誌では本文が3ページから始まっているため、ここでもそれにならって解説しています。
- 本文を1ページから始めても、もちろんかまいません。

■中綴じの本



■無線綴じの本



- 図は右綴じの場合です。左綴じの場合は左右が逆になります。
- オフセットのA5判は、片面4ページ(両面8ページ)を1枚で印刷します。このため、中綴じは外から、無線綴じは前から8ページずつが1組になります。

実際には折るのではなく、まん中で切り離してから製本します。

図1 中綴じと無線綴じの台割

紙替え・色替え

4 ページを 1 枚の紙に印刷する原則から、紙替え・色替え（インキ替え）もこの単位ですることになります。

そして、色替え・紙替えができる単位は、中綴じと無線綴じで異なります。＝図 1＝

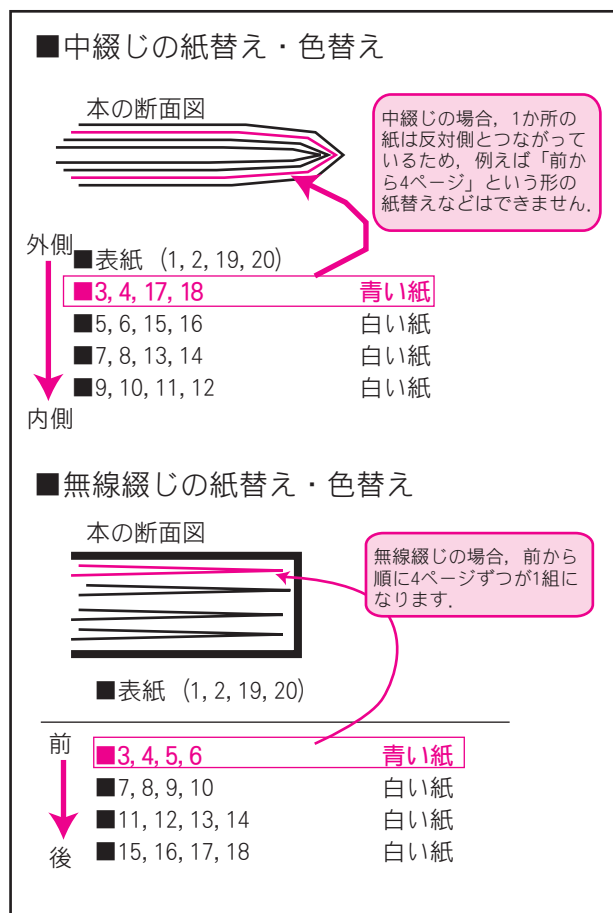


図1 中綴じと無線綴じの紙替え・色替え

中綴じは「前の2ページと後ろの2ページが同時に変わる」といったルールであるのに対し、無線綴じは前から順に4ページずつ変わります。

紙替えは、この1枚の単位ごとにできます。色替え（インキ替え）も同様ですが、この1枚の表と裏で替えることもできます。

（オフセットのA5判の場合、この組み合わせをさらに上から2つつ組み合わせて一度に印刷します。）

少し変則的な台割

中綴じの台割（外側→内側の台割）で、無線綴じの本を作ることはできます。しかし無線綴じの台割（前→後ろの台割）で中綴じの本を作ることはできません。

Essential Tips!

- 台割についてよくわからない場合は、適当な紙で見本を作ってみると、すぐにわかります。

中綴じの台割

中綴じの台割の求め方は、図2をご参照ください。

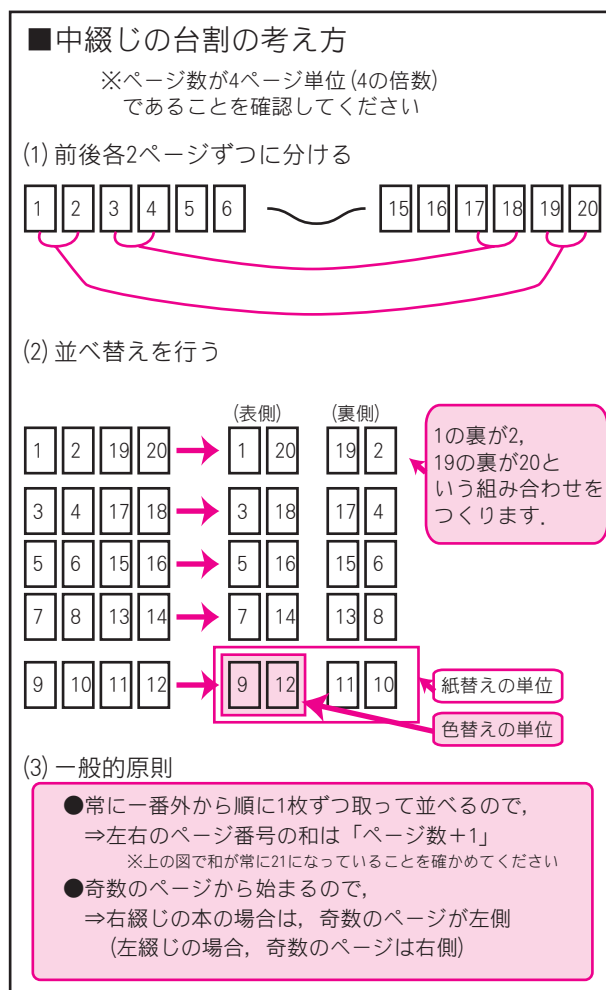


図2 中綴じの台割の考え方

中綴じの場合は、外から1枚ずつ取っていくと、前から2ページと後ろから2ページが順になります。言い換えると、まん中を境に前と後ろは対称になるということです。

この性質から、「前の4ページだけ紙を替える」というようなことはできません。（前の4ページの紙を替えると後ろの4ページも同時に替わります。）

重要なことは、図2の(3)に「一般的原則」としてまとめましたので、参考してください。

なお、中綴じの紙替え・インキ替えの台割表は、本文のまん中まで書きいただければ足ります。

（例えば20ページの場合、1～10ページが決まれば、11ページ～20ページもすべて決まります。）

中綴じの台割の本を無線綴じで製本する

この方式の台割の本を、無線綴じで製本することができます。（無線綴じは印刷が終わったところで半分に切ってしまうため、どちらの台割でも作れるのです。）

この場合、台割は中綴じのルールで、面付けは無線綴じのルールで行います。

（逆に無線綴じの台割の本を中綴じで製本することはできませんのでご注意ください。）

無線綴じの台割

無線綴じの台割の求め方は、図3をご参照ください。

■無線綴じの台割の考え方

※ページ数が4ページ単位(4の倍数)
であることを確認してください

(1) 前から4ページずつに分ける
※本文が3ページから始まる場合の例です。

3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----

(2) 並べ替えを行う

3	4	5	6	→	3	6	5	4
7	8	9	10	→	7	10	9	8
11	12	13	14	→	11	14	13	12
15	16	17	18	→	15	18	17	16

最初の4ページを、
このような組み合わせにします。

4ページごとに、
同じことの繰り返しです。

紙替えの単位

色替えの単位

(3) 一般的原則

- 奇数のページから始まるので、
⇒右綴じの本の場合は、奇数のページが左側
(左綴じの場合、奇数のページは右側)
- 前から4ページずつ取って、その4枚の、
「1番目と4番目」「2番目と3番目」がそれぞれ
表と裏になる。それを上のルールで左右を決める

図3 無線綴じの台割の考え方

無線綴じの場合は、一般的に、前から4ページずつを1組(1台)として台割をしていきます。このため、本文の前から4ページごとの位置で紙替えができます。(中綴じとの違いは、前後が同時に変わることがないという点です。)

無線綴じの台割で重要なことは、「一般的原則」を図3の(3)にまとめましたので、参考にしてください。

中綴じと異なり、無線綴じの台割にする場合、前から後ろまですべて台割表を埋める必要があります。

台割表の書き方

紙替え・色替えがある場合は台割表が必要です。(依頼書セットに添付されているほか、e窓をご利用になる場合はwebで入力できます。)

台割表の書き方・考え方は、図4をご参照ください。

■台割表の書き方・考え方

■共通の前提条件

- 表紙込み20ページ(本文16ページ)
- 本文は3ページから始まる

■中綴じの場合

ページ	インキ	用紙
1		(表紙)
2		
3	赤	
4	青	里紙 つゆ
5	黒	
6	黒	エコ上質W(90kg)
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		

先頭から2ページごとに紙を指定できます。

それぞれ片面ごとにインキを指定できます。

同じ組み合わせが続く場合は、矢印などで略記してください。

■中綴じの場合、まん中までを記入すれば終わりです。
(前半分が決まれば、後半分が自動的に決まります。)

■無線綴じの場合

ページ	インキ	用紙
1		(表紙)
2		
3	赤	
4	青	色上質中厚口
5	青	レモン
6	赤	
7	黒	
8	黒	
9	黒	エコ上質W(90kg)
10	黒	
11		
12		
13		
14		
15	黒	
16	黒	色上質中厚口
17	黒	あさぎ
18	黒	
19		(表紙)
20		

紙の指定は、先頭から4ページごとになります。

インキの単位は、この4ページの「外側」「内側」になります。

同じ組み合わせが続く場合は、矢印などで略記してください。

図4 台割表の書き方・考え方

※中綴じの台割で無線綴じの本を作る場合、あくまでも綴じ方が無線綴じになるだけです。台割までは中綴じと同じになります。

本の面付け

Essential Tips!

- お客様自身で面付けをしていただくと、料金が割引になることがあります。
- データ入稿の場合は、面付けを弊社で行います。
- 中綴じと無線綴じで、貼り合わせ方が少し違います。

原稿を台割のとおり貼り合わせることを、面付けといいます。

弊社の場合、面付けまでしていただいてご入稿の場合は料金が割引になる制度があります。

データ入稿の場合は、本文の面付けを弊社で行うため、面付けをせずにご入稿ください。

面付けと**台割**の違いは、左右のページの組み合わせが「台割」、その台割を元に左右を付け合せる（貼り合わせる）ことが「面付け」です。ただし、台割を作るところから全体を「面付け」ということもあります。

気をつけたい、左右の組み合わせ

台割がきちんとできていることを確認してください。

特に、左と右が逆になっている例が目立ちます。

●右綴じの場合、左側が奇数ページです。

●左綴じの場合、右側が奇数ページです。

※表紙または本文の最初が1ページで始まる場合です。

中綴じと無線綴じ

ページの組み合わせだけでなく、貼り合わせの方法も、中綴じと無線綴じで違います。

中綴じの場合、印刷物を中央で切り落とさず折り曲げるだけです。まん中に「ドブ」（断裁の裁ちしろ）を付けません。（付けてはいけません。）

無線綴じの場合は、（弊社の場合）印刷物を中央で切り離してから製本するため、まん中に「ドブ」を付けることができます。（付けたほうがいいですが、付けてなくても製本できます。）

ここからは、「中綴じ」「無線綴じ」が、製本の方法そのものであることに注意してください。

中綴じの台割で無線綴じの本を作る場合、台割のページでは「中綴じ」の方法でしたが、ここからは「無線綴じ」に従うことになります。

原稿用紙の貼り合わせ方

一般的な貼り合わせ方

●左右の組み合わせをもう一度確認します。左右が逆になっていないことを、特に確認してください。

●カッタナイフと定規でまっすぐ切ります。

●セロハンテープなどを使い、トンボの外側で表面を貼りあわせます。

●図1、図2▶p29では左右両方を切り落とす例が図示されていますが、左右どちらかを切り離してもう一方に貼りあわせる方法でも問題ありません。

●特に違うメーカーの原稿用紙を貼り合わせる場合は、枠の印刷位置が違ふことがあります。この場合、枠の高さで左右を合わせてください。（紙の高さが違ってても、枠で合わせてください。）

中綴じの貼り合わせ方

貼り合わせの方法は図1▶p29をご参照ください。

中綴じの場合は、貼り合わせの内側を「仕上がり線」で切り落とし、左右のページを貼り合わせます。

無線綴じの貼り合わせ方

貼り合わせの方法は図2▶p29をご参照ください。

中綴じと異なり、切り落としの位置が「仕上がり線の3mm外側」になります。裁ち切り線が仕上がり線の3mm外側にある原稿用紙であればそれに合わせて切ることができますが、必ず3mm外側とは限りませんので注意が必要です。

貼り合わせの方法自体は中綴じと変わりません。

中綴じで作った本を**無線綴じ**で再版する場合などは、切り落とし位置が仕上がり線の場合があります。この場合でも特段大きな支障はなく本になります。（どの位置が若干ずれやすくなるかもしれません。）

面付けの際に原稿用紙の端は切り離す必要があります。（左右どちらか一方だけでもかまいません。）

カッタナイフで折り目を入れて折り返す方法もありますが、原稿用紙の厚みにより製版の際に傾きや像のぼけの原因になることがありますので、おすすめしていません。

弊社で面付けをする場合は、原稿の端を切り離すこととしていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

（無線綴じの場合は3mm外側を切り離しますので通常は再版や再録に影響を与えません。中綴じの場合は台割りの左右が変わらなければ影響がないものと思われませんが、左右が変わる場合は注意が必要な場合があります。）

中綴じの貼り合わせ方

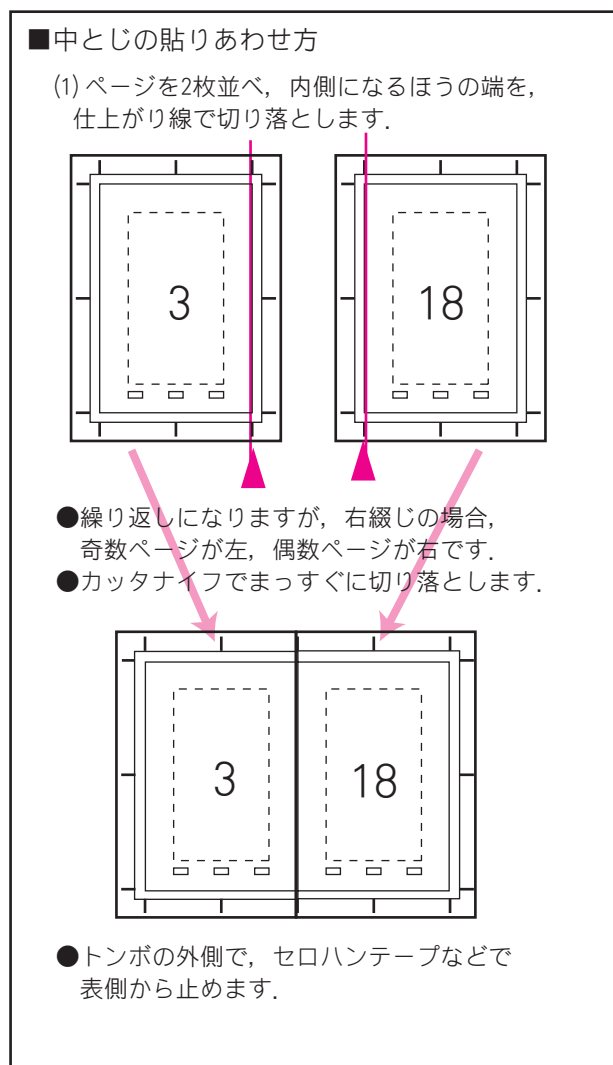


図1 中綴じの原稿の貼りあわせ方

無線綴じの貼り合わせ方

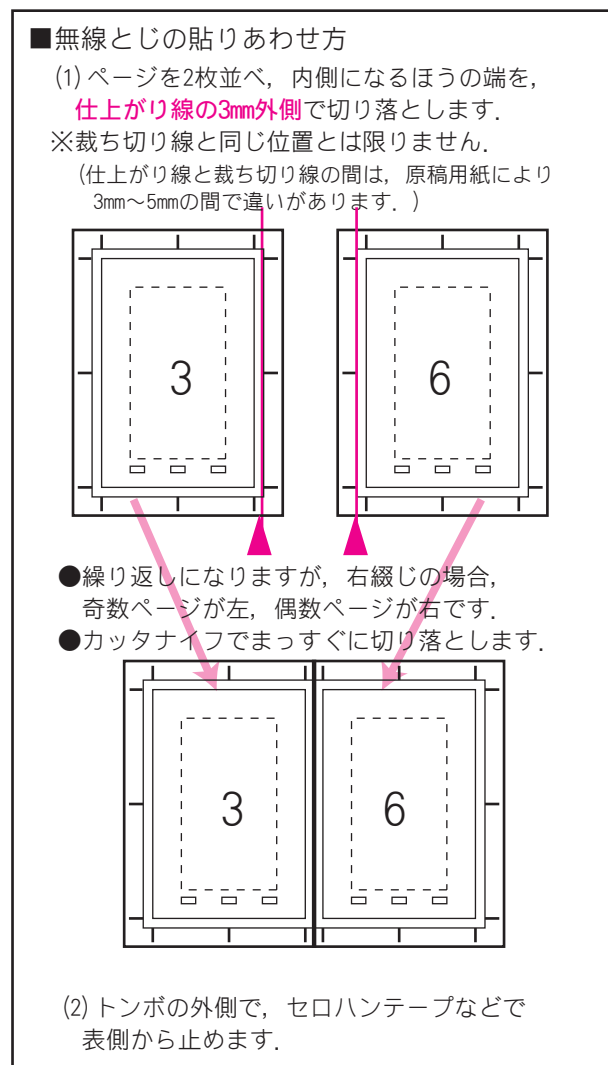


図2 無線綴じの原稿の貼りあわせ方

貼り合わせの際の注意

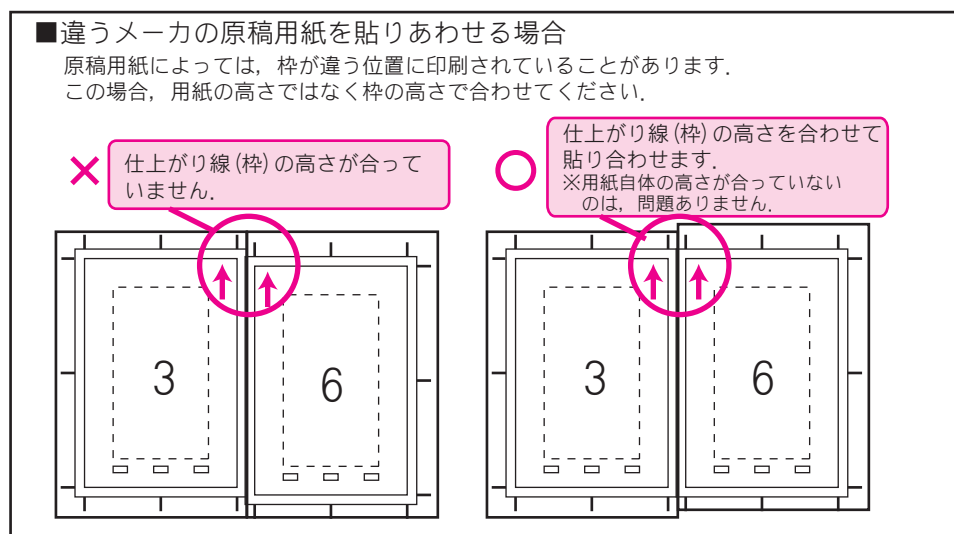


図3 貼りあわせる際の注意

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

孔版印刷と
オフセット
印刷

画材・
原稿用紙

多色刷りの
原稿

パソコンで
作る紙原稿

本の原稿・
台割

本の面付け

表紙の原稿

フルカラー
表紙の原稿

ペーパーの
原稿

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

表紙の原稿

Essential Tips!

- 表紙の原稿は「表紙用原稿用紙」を使うのが手軽ですが、普通の原稿用紙2枚で代用することもできます。
- 「表紙用原稿用紙」を使う場合は、トンボの位置に注意。そのまま描くと、よほど厚い本でない限り端が切れます。
- 背文字を入れるのは、概ね4mm程度からと思います。

ここでは、1色や多色の原稿について説明しています。フルカラーとは異なります。
フルカラーの表紙の原稿については▶p32

表紙の原稿用紙

同人誌用原稿用紙を使う場合

同人誌用原稿用紙を使う場合は、通常、本文と同じように面付けをしてください。
中綴じの場合は、仕上がり線で切って左右を貼り合わせてください。（本文と同じです。）
無線綴じの場合は、中綴じの場合に背厚の分を加えるようになります。（本文では3mm外側でしたが、表紙は背厚になります。）背厚の分を半分ずつ、左右の原稿用紙から取るようにします。

表紙用原稿用紙を使用する場合

表紙用原稿用紙を使う場合は、まん中のトンボを中心に背厚をまず取り、その左右に表紙と裏表紙の幅を取ります。
背厚のところと表紙・裏表紙の幅のところには、トンボを引きます。中綴じの場合は、背厚がありませんので0mmとして考えます。
詳しくは、図1をご参照ください。
※最初から引かれている左右のトンボは、「かなり厚い本の背厚」を想定したものです。このため、薄い本でここまで描いてしまうと、化粧裁ちのときに切れてしまいます。

背厚と背文字

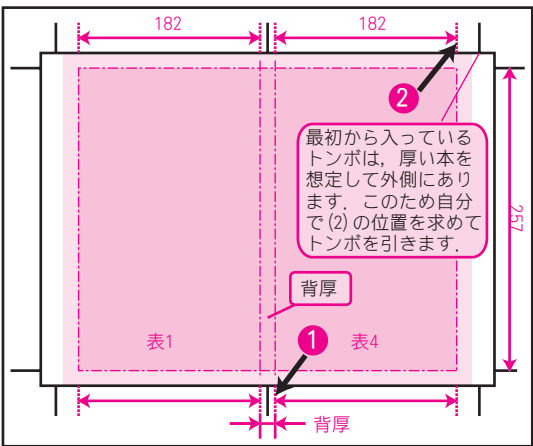
背厚の求め方

背厚は本文の厚さから求めますが、原稿で描くときは、表紙自身の厚さと回り込みの分を考慮し、本文の厚さ+1mmで描くのが適切です。
縮小する場合は、縮小したときに適切な幅になるよう、大きめに描く必要があります。
（B5からA5の縮小の場合、求めた背厚の1.22倍です。）

背の部分の扱い

通常、原稿のセンタ（中心）を背の中央に合わせるように製本します。（なお、表紙の印刷や製本には若干の誤差が生じます。）
背文字を入れる場合は、位置ずれを考慮し、若干の余裕を取ってください。オフセット印刷で1mm程度、孔版印刷では2mm程度ずれ、背からはみ出ることがあります。

■表紙用原稿用紙の使い方



- あらかじめ引かれている線(枠)
- - - お客様が引く必要がある線(トンボ)
- 本に仕上がる領域
- 塗り足しが必要な領域

- 表紙用原稿用紙は、枠が黒で印刷されています。（そのため、仕上がり線やコマ枠にあたるものではありません。）

※ここでは、B5判の表紙を前提に説明します。
(1) 中央のトンボを中心に、背厚の分だけ外側にトンボを引きます。
(2) (1)で引いたトンボから、左右にそれぞれ182mmずつ外側にトンボを引きます。
(3) 左図の塗り足し領域に原稿を描きます。さらに、塗り足しを塗り足し領域まで加えます。）

- A5判の本の場合は、次の方法があります。
(1) A5判用原稿用紙を使う場合
原稿は原寸(等倍)になります。上の「182mm」は、「148.5mm」と読み替えます。背厚はそのままです。
(2) B5判原稿用紙に描いて縮小する場合
B5からA5に縮小されます。「182mm」はそのままですが、背厚は縮小を考慮して、大きめに取るようにします。（縮小が0.82倍なので、逆数である1.22倍で取ってください。例えば背厚が5mmなら6.1mmです。実際には0.5~1mm程度は丸めてかまいません。）

図1 表紙用原稿用紙の使い方

表紙の背厚

表紙の背厚は、通常以下の方法で求めます。

背厚＝用紙1枚の厚さ×本文の枚数＋1[mm]
(本文の枚数＝本文のページ数÷2)

ただし、B5 から A5 に縮小の場合、上記の数値を 1.22 倍します。

本文用紙1枚あたりの厚さは、次表をご参照ください。

用紙の種類・厚み	1枚の厚さ [mm]
エコペーパー 100 (55kg)	0.09
エコ上質紙 W/Y (70kg)	0.11
エコ上質紙 W/Y (90kg)	0.14

よく使う紙、ページ数の場合の背厚は、次表をご参照ください。（これは通常の本文用紙を使う場合の参考値ですので、特殊紙を多く使う場合などはお問い合わせください。また、最終的な計算結果は 0.5mm や 1mm の単位に丸めてしまってもまず問題ありません。）

ページ数 (表紙込み)	原稿サイズ・本文の用紙					
	等倍			縮小 (B5 → A5)		
	55kg	70kg	90kg	55kg	70kg	90kg
16	1.5	1.7	1.8	1.9	2.0	2.2
20	1.7	1.9	2.1	2.1	2.3	2.6
24	1.9	2.1	2.4	2.3	2.6	2.9
28	2.1	2.3	2.7	2.5	2.8	3.3
32	2.3	2.5	3.0	2.8	3.1	3.6
36	2.4	2.8	3.2	3.0	3.4	4.0
40	2.6	3.0	3.5	3.2	3.6	4.3
44	2.8	3.2	3.8	3.4	3.9	4.6
48	3.0	3.4	4.1	3.6	4.2	5.0
52	3.2	3.6	4.4	3.9	4.4	5.3
56	3.3	3.9	4.6	4.1	4.7	5.7
60	3.5	4.1	4.9	4.3	5.0	6.0
64	3.7	4.3	5.2	4.5	5.2	6.3
68	3.9	4.5	5.5	4.7	5.5	6.7
72	4.1	4.7	5.8	5.0	5.8	7.0
76	4.2	5.0	6.0	5.2	6.1	7.4
80	4.4	5.2	6.3	5.4	6.3	7.7
84	4.6	5.4	6.6	5.6	6.6	8.1
88	4.8	5.6	6.9	5.8	6.9	8.4
92	5.0	5.8	7.2	6.1	7.1	8.7
96	5.1	6.1	7.4	6.3	7.4	9.1
100	5.3	6.3	7.7	6.5	7.7	9.4

※等倍と縮小で必ずしも 1.22 倍になっていないことがあります
が、端数処理の方法によるものです。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

孔版印刷と
オフセット
印刷

画材・
原稿用紙

多色刷りの
原稿

パソコンで
作る紙原稿

本の原稿・
台割

本の面付け

表紙の原稿

フルカラー
表紙の原稿

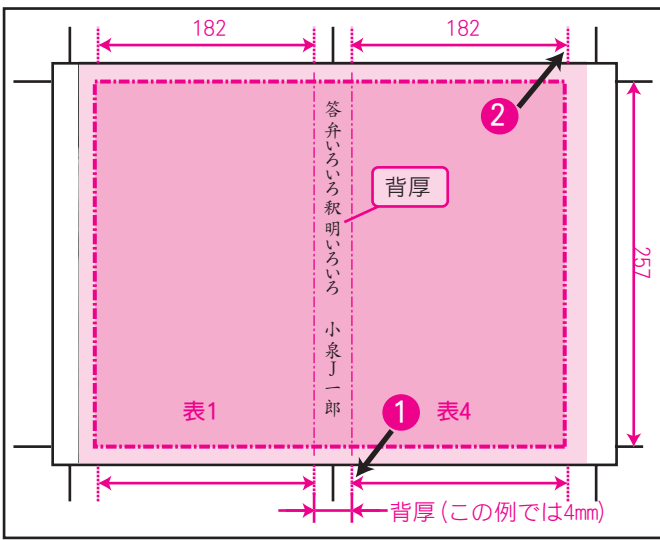
ペーパーの
原稿

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

■表紙用原稿用紙の使い方



- 前提条件
 - ・B5判原寸で原稿を描きます。
 - ・背厚は上の表から4.1mmでした。
- 原稿の作り方
 - (1) まず、センタ位置から背厚を取ります。
(端数を丸め4mm、左右から2mmずつ取ります。)
 - (2) その位置から左右に182mmが仕上がリトンボの位置です。 の位置が本に仕上がります。
 - (3) 背景や裁ち切り柄は、 の領域まで描きます。
(通常、3mm～5mm外側になります。)

——

 あらかじめ引かれている線(枠)

.....

 お客様が引く必要がある線(トンボ)

■

 本に仕上がる領域

■

 塗り足しが必要な領域

フルカラー 表紙の原稿

Essential Tips!

- 「オンデマンドフルカラー」と「オフセットフルカラー」があり、価格や仕上がりに違いがあります。
- 「オンデマンドフルカラー」には、「普通出力」のほかに、RGB に近い表現ができる「高彩度出力」があります。
- 紙原稿の場合は、「表紙用原稿用紙」をご使用ください。本文用の原稿用紙は使えません。
- データで作る場合は、Photoshop の EPS 形式をお勧めします。
- Illustrator で作る場合は、文字のアウトライン化またはラスライズを必ず行ってください。

原稿用紙

市販の「表紙用原稿用紙」をお使いください。
いわゆる「同人誌用原稿用紙」は使えません。トンボの内側に印刷されている薄い青い枠も、フルカラーでは全部出ます。

「表紙用原稿用紙」の使い方については、▶p30 をご参照ください。原稿サイズや背厚などに関する注意点は基本的に同じです。

なお弊社では原稿のセンタ（中心）が仕上がりのセンタであると解釈します。

オンデマンドフルカラーと オフセットフルカラー

弊社のフルカラーは、「オンデマンドフルカラー」と「オフセットフルカラー」があり、この2つのサービスは大きく異なります。仕上がりやコストなどでお選びください。比較表を下に示します。

	オンデマンドフルカラー	オフセットフルカラー
価格	小部数では割安	大部数では割安
納期	2日間程度	3週間
仕上がり	一般に、オフセットフルカラーの方が画像の細かさでは有利	
原理	フルカラープリンタ（粉体トナーを用いる）	オフセット印刷（インキを用いる）
オプション	PPなどが利用可	PPなどが利用可
用紙	弊社の用紙が利用可	原則1種類

印刷用紙

オンデマンドフルカラー

弊社で出力しますので、弊社で利用できる紙であれば基本的にはお使いいただけます。

ただし、表面に凹凸のある紙は、印刷原理からトナーの乗りが均一になりません。効果として許容できる場合以外はご注意ください。

オフセットフルカラー

アートポスト（180kg）のみとなっております。

画材・色調

通常、4色分解です

弊社のサービスではすべて4色分解です。

4色分解とは、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の4色で色を表現することです。

決まった4色で表現するため簡単なのが利点ですが、メタリック色や蛍光色などを表現できないという制約もあります。

このため、蛍光色やメタリックの画材は使わないでください。

画材の中には、蛍光色のインキを配合したものもありますので注意してください。特にインクジェットプリンタのインキはたいていの場合蛍光色を含んでおり、出力したものを原稿にして印刷すると表現が変わります。

塗りむらや濃度に注意

フルカラーの再現では、濃淡も忠実に表現されます。このため、ベタの塗りむらや原稿の汚れなどもすべて再現されます。

また、極端に薄い色（紙の色に近いような色）についても、再現が難しいことがあります。

PP加工する場合の注意

表紙にPP加工をすると、仕上りの色調が少し変わって見えることがあります。

また、特にオンデマンドカラーの表紙で周囲にベタが多い場合、その部分から少しはがれやすくなる場合があります。

データでの作成

ここからは、フルカラーの原稿をデータ入稿する場合のことを説明します。

媒体

1枚のMO（～640MB）、またはCD-Rで、Windows（MS-DOS）で読み取れるものを推奨します。

Macintoshで作成したデータも読み取れますが、WindowsでMacのディスクを読むためのソフトウェアを使って読み取っているため、まれに読み取れないことがあります。

カラーモード

通常はできるだけCMYKで作成してください。ただし、オンデマンドフルカラーの「高彩度出力」の場合は、RGBで作成します。

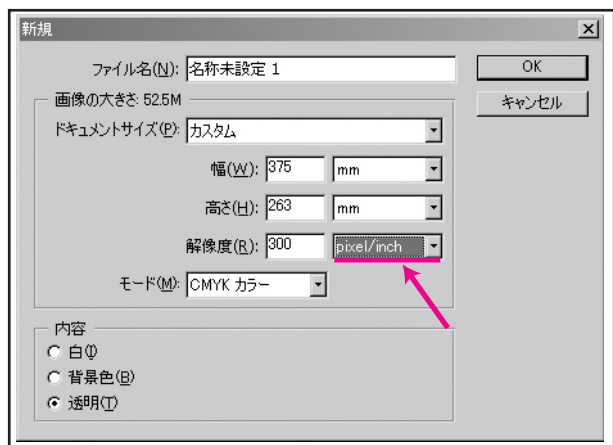


図1 データサイズの設定例

ファイル形式

EPS 形式をおすすめします。

入稿の際は、文字がアウトライン化またはラスターサイズされ、画像などがすべて埋め込まれ、すべてが1つのファイルに含まれることをご確認ください。弊社の機械に OS 標準以外のフォントは入っていません。

レイヤがある場合は、すべて統合してください。

※オリジナルのものはご自身で保存し、入稿用に「レイヤが統合されたもの」「文字がアウトライン化されたもの」などを作ることをおすすめします。

解像度

オンデマンドフルカラーの場合、300dpi をおすすめします。（弊社では 600dpi で出力しますが、見た目はあまり変わりません。600dpi で作成されたデータは 300dpi に比べ 4 倍の大きさになり、デメリットのほうが大きくなります。）

オフセットフルカラーの場合、350dpi をおすすめします。

いずれの場合も、dpi (pixel/inch と等価) と pixel/cm の違いに注意してください。設定例は図 1 をご参照ください。

サイズ、データ位置

考え方は通常の紙原稿と同じですが、トンボは必要

ありません。ただしデータのセンタ（中央）を原稿のセンタであると解釈しますので、その点のみご注意ください。

データの大きさについては、次のようにしてください。

- 原寸で作成してください。
- 上下左右、各 3 ～ 5mm ずつ（幅は均等に）塗り足しをしてください。
- 無線綴じの場合は背厚を加えてください。
寸法を例示すると、以下のようになります。（背厚は a で示します。）

寸法	仕上がり寸法	データ作成寸法	
		塗り足し 3mm	塗り足し 5mm
B5 本	257 × (364+a)	263 × (370+a)	267 × (374+a)
A5 本	210 × (297+a)	216 × (303+a)	220 × (307+a)

寸法の考え方については図 2 をご参照ください。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

孔版印刷と
オフセット
印刷

画材・
原稿用紙

多色刷りの
原稿

パソコンで
作る紙原稿

本の原稿・
台割

本の面付け

表紙の原稿

フルカラー
表紙の原稿

ペーパーの
原稿

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

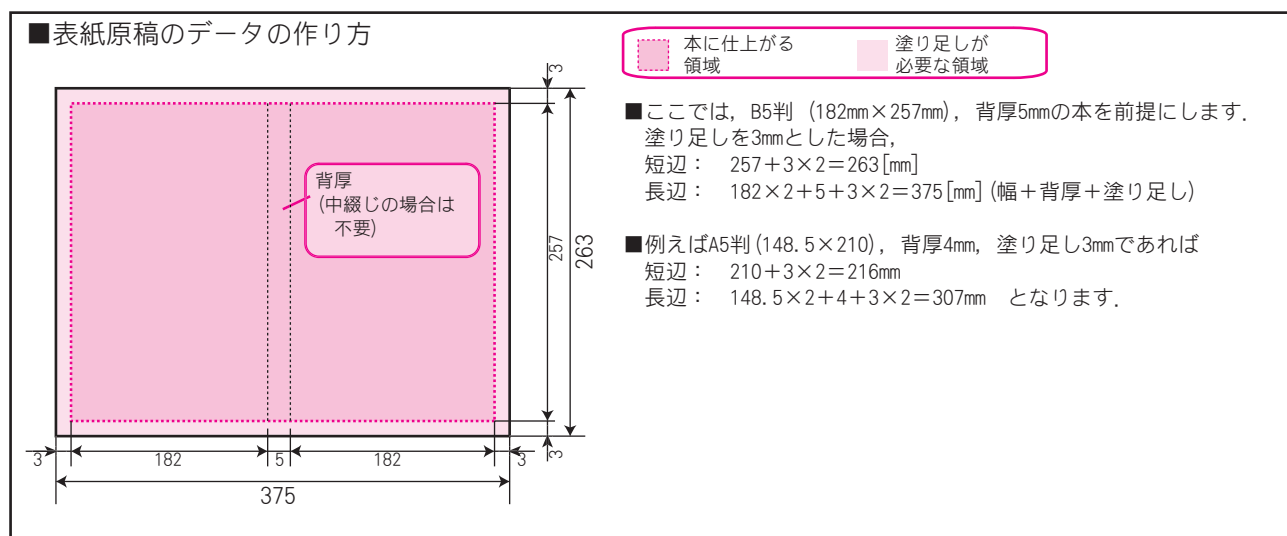


図2 表紙のデータの作り方の例

ペーパーの 原稿

Essential Tips!

●弊社では、製本がない印刷物はすべて「ペーパー」と分類します。本の表紙単独、封筒なども「ペーパー」になります。

ペーパーとは

弊社では、製本がない印刷物を「ペーパー」と総称しています。便せん、チラシなどはもちろん、封筒など特殊なものもペーパーになります。本の表紙のみを「ペーパー」としてお受けすることもできます。

原稿と印刷物の大きさ

印刷機は、紙の端ぎりぎりまで印刷することができません。（普通の印刷機はすべてそうです。紙の端を機械の中でつかんで搬送するためです。）

紙の端まで印刷されている印刷物は、一回り大きな紙に印刷し、化粧裁ちして作られています。（図1）

このため、コピー機の紙と異なり、印刷所では通常B4やA3などよりも一回り大きい紙を用意しています。

断裁

断裁の指示は、印刷依頼書に明確に指示してください。

断裁誤差

断裁の位置は概ね2mm程度までずれることがあります。裁ち切りの柄を裁ち切り線（仕上がり線よりも外側）まで描くことはもちろん、切れて困る柄は少し内側に書いてください。

化粧裁ち

B6×4の断裁の場合、上下に隣り合うB6の柄それぞれについては化粧裁ちができないのが普通です。断裁のずれを考慮し、白くあけておくか、背景を共通にしておくことをおすすめします。（図2）

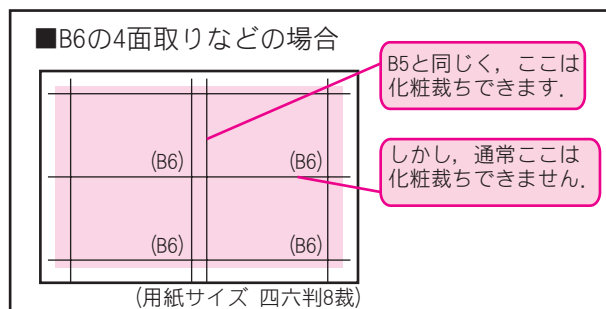


図2 B6の4面取りの化粧裁ち

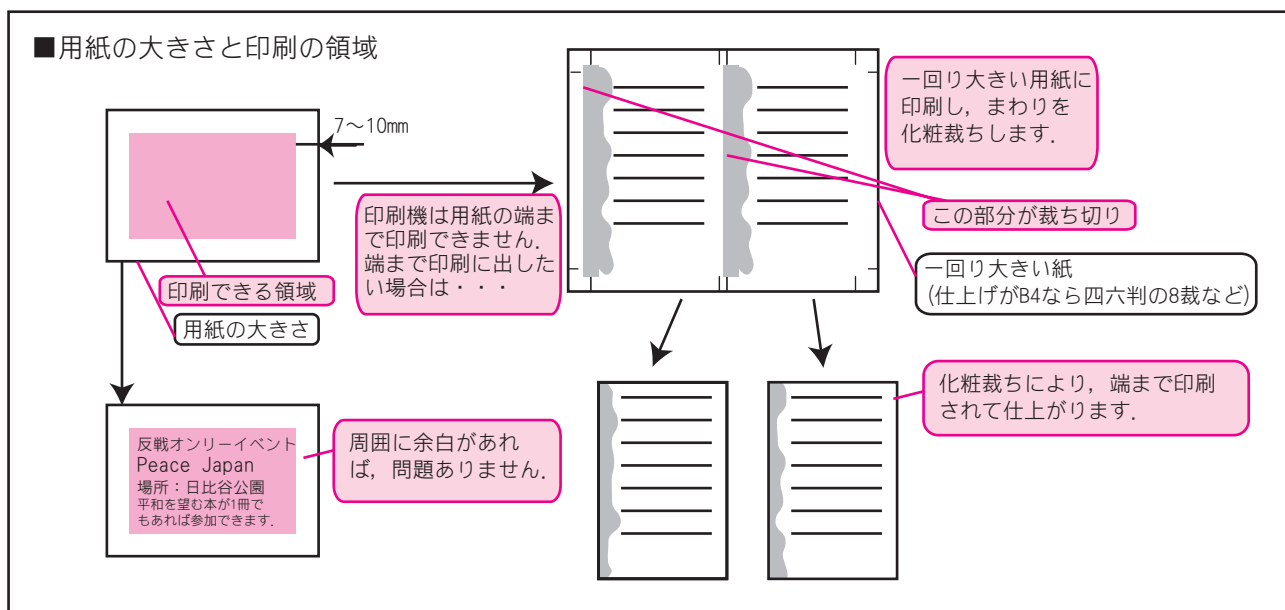


図1 用紙の大きさと印刷の領域

原稿の大きさの例

同人誌用原稿用紙でペーパーを作る場合、概ね以下のようになります。本の本文とほぼ同じです。

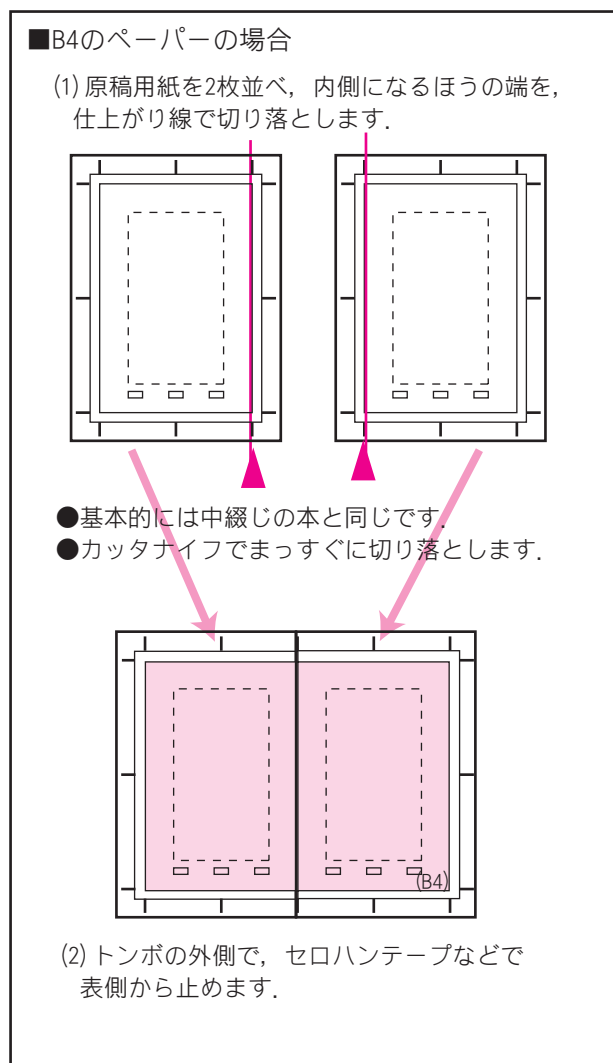


図3 B4のペーパーの原稿

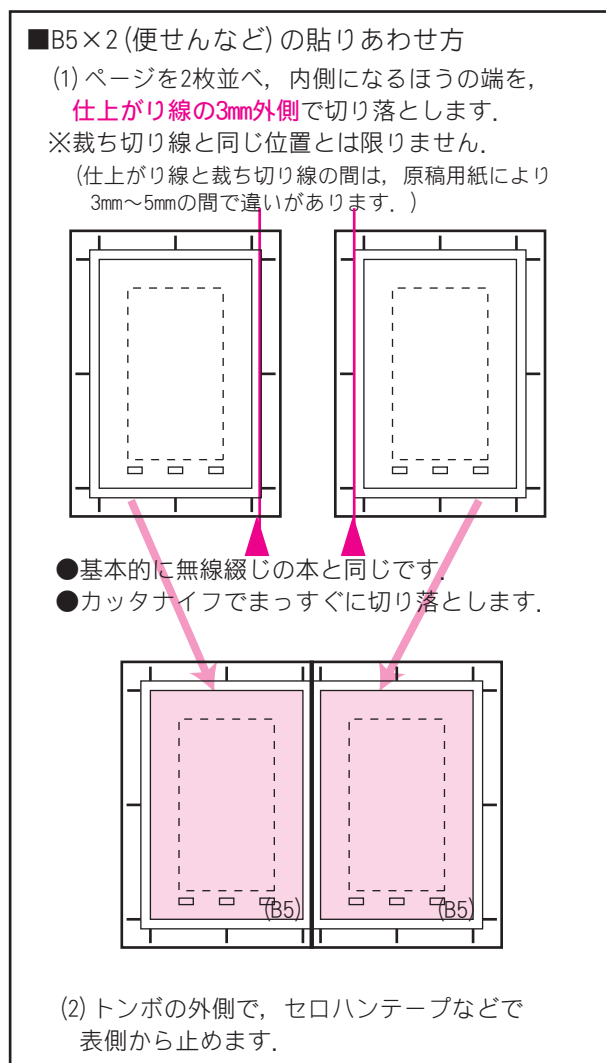


図4 B5の2面取りのペーパーの原稿

変形の断裁

変形断裁がある場合は、その旨を明確に指示してください。複雑な場合は、原稿のコピーをとり、それに断裁ラインを赤などで表示したものを添付してください。(コピーはA4に縮小してください。)

e窓では変形断裁のペーパーをお取り扱いできません。ご要望はいただいているのですが、実現は今のところ困難だと思いますので、お手数ですが**依頼書でご入稿ください**。
e窓では内容の確認をしてその場で自動的に料金額をお知らせできることが前提となっており、内容を人間が確認して断裁料を計算しなければならない変形断裁には対応できていません。

封筒の原稿

封筒の印刷も普通のペーパーと同じですが、化粧裁ちができない(封筒の端まで印刷できない)ことに注意してください。

原稿は、封筒と同じ大きさと用意してください。

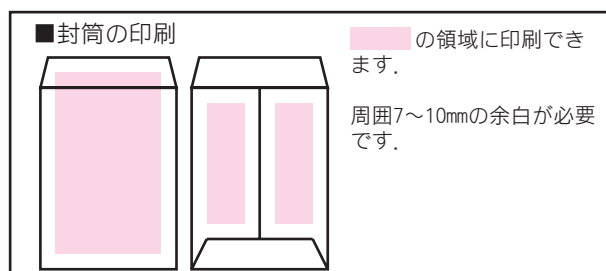


図5 封筒の原稿

データ入稿

Essential Tips!

●孔版印刷でも、データ入稿ができるようになりました。オフセット印刷と少し違う点もありますので、ご注意ください。

データ入稿の範囲

孔版印刷・オフセット印刷

孔版印刷・オフセット印刷とも、データ入稿ができます。ただし、データ形式などによってはお取り扱いできないこともあります。

フルカラー表紙

デジタルフルカラー、オフセットフルカラーとも、データ入稿できます。フルカラーの原稿については▶p32 もご参照ください。

入稿の方法

インターネットでの伝送による入稿

FTP や HTTP を使ったデータ伝送による入稿は、現在準備中です。

※暫定的な方法について、web ページでご案内しています。

媒体による入稿

以下の媒体形式でご入稿ください。

CD-R, DVD-R

MS-DOS (Windows) で読み取れる形式としてください。お名前とタイトルを、フェルトペンなどで媒体に直接記述してください。

MO (光磁気ディスク)

MS-DOS (Windows) で読み取れる、640MB までのディスクにしてください。お名前とタイトルを記述したラベルを貼り付けてください。

出力見本

できるだけ出力見本を添付してください。特段の注意を必要とする部分については、朱書きするなどわかりやすく指示してください。

※出力見本と出力結果を詳細に照合できるわけではありませんので、一見してわかる違いがないことの確認、出力中に疑問を感じた際の確認が中心になります。あらかじめご了承ください。

データ原稿の共通の注意点

濃度

グレイスケールの濃度は、孔版印刷で 25% 程度～60% 程度、オフセット印刷で 10% ～60% 程度で表現することをお勧めします。

薄すぎると飛びやすくなり、濃すぎるとつぶれやすくなります。

特に、孔版印刷では、25% 未満のグレイが相当薄く再現される傾向があります。

サイズ

いずれの形式の場合も、拡大・縮小はできません。かならず等倍で原稿を作成してください。

フォントや画像の取扱い

フォントや画像は必ずページごとのファイル（または複数のページをまとめたファイル）に埋め込んでください。フォントについては、ラスライズ、アウトライン化、埋め込みなどを行ってください。

ファイルの記録方法

ディスクの使い方

1枚の媒体には、できるだけ1種類の印刷物のデータを記録してください。

2種類以上の印刷物の原稿を1枚の媒体に記録する場合は、印刷物のタイトルが推認できる名前のディレクトリ（フォルダ）を作成し、その中に各タイトルの原稿を記録してください。

※推認できる・・・タイトルと名前の関係がわかればいいので、タイトルの一部などでもかまいません。

ファイルの名前

1ページ1ファイルの本文の場合は、ページ番号を3桁で001から（本文を3ページから始める場合は003から）始まる通番としてください。

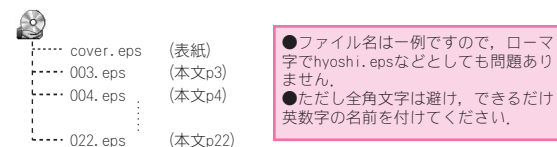
表紙の原稿などは、それが推認できるファイル名としてください。（cover.epsやhyoshi.epsなど）

拡張子については、そのファイルの一般的な拡張子を付けてください。

できるだけファイルやディレクトリの名前には漢字（全角文字）を使わず、半角英数字にしてください。

ファイル名のつけ方などの例

■例1 1枚のディスクに1種類の本のデータ



■例2 1枚のディスクに2種類の本のデータ

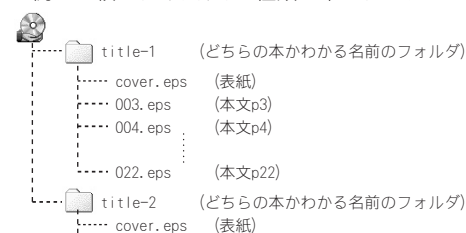


図1 ファイル名のつけ方の例

圧縮・アーカイブ

アプリケーションで保存する形式のまま入稿してください。アーカイブや圧縮はしないでください。

※特に、自己解凍形式（実行形式）については、セキュリティの観点から内容を確認せず棄却します。

各形式共通の注意

ページナンバ（ノンブル）

本文については、ページの印刷に出る位置に必ずページナンバを見ながら製本しますので、ページナンバがないと乱丁の原因になることがあります。本文中に入れにくい場合も、図2を参照のうえご協力ください。ページナンバの不備により生じた落丁・乱丁について、弊社はその責任を負いません。

データ・紙の混在

本文中で紙とデータが混在する場合、お取り扱いしておりません。

面付け

本文データ入稿の場合、面付けをせずにご入稿くだ

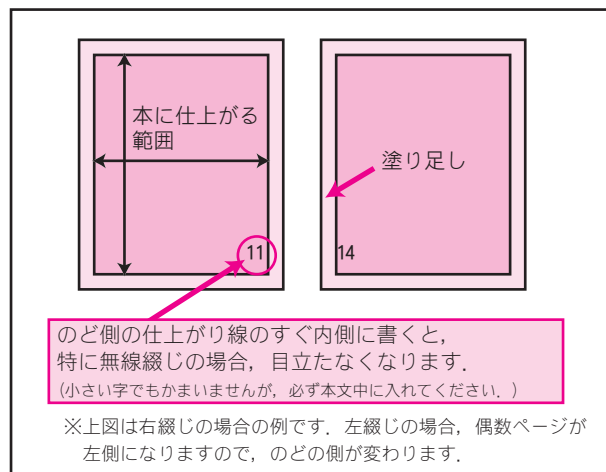


図2 ページナンバの目立たない位置

さい。業務用の面付けソフトで面付けをします。

※面付け・トンボに関する料金の加減算は、データの場合適用しません。

※表紙については、通常、表紙と裏表紙を1枚のデータとして作成してください。▶p32

ご注意

データ出力では、お客様が作成されたデータと弊社の設備の出力が同じにならない可能性を否定できません。

弊社ではいただいた原稿を弊社の設備でそのまま出力しますが、出力結果の違いにより生じた問題については弊社に重大な過失がある場合を除き責任を負いかねますのでご了承ください。

（おかげさまで現在までに大きな問題は発生していませんが、念のため申し添えさせていただきます。）

また、お客様のデータが弊社でうまく開けない場合などに、ご連絡の上再送をお願いすることもあります。連絡がつかない場合は作業が遅れる原因となりますので、スムーズに連絡が取れるようご協力ください。

ファイル形式

Photoshopで作成したEPSファイルが一番間違いないですが、EPS形式、PS形式、PDF形式であれば出力は可能です。以下の表を参考にしてください。

推奨される形式	Photoshopで作成したEPS形式 (1ページ1ファイル)
注意が必要な形式※	Illustrator, InDesignなどで作成したEPSやPS形式、WordなどからPSドライバで作成したPS形式、Wordなどワープロソフトから作成したPDF形式 (1ページまたは複数ページをまとめて1ファイル)

※で示したファイル形式は、データの状況によってはうまく出力できない場合もあります。本書の説明をよくご理解いただくことに加え、早めにご入稿いただくか、事前にテストデータをお送りいただくことが望ましいと考えています。

特にベクタデータやフォントデータを含む形式の場合、お客様の環境（お使いになるアプリケーションやドライバなどの条件）はさまざまであり、弊社が確実に「この方法なら出力できる」と保証できるようなものではありません。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

基本的な
こと

Photoshop
での作成

Illustrator
での作成

InDesign
での作成

Wordなど
での作成

2色刷りの
データ入稿

作成した
データの検証

同人誌と
環境

巻末

Photoshop での 作成

Essential Tips!

- データ原稿は必ず原寸（縮小・拡大なし）で作ります。
- データの大きさは、原寸＋周囲の塗り足し。
- 入稿時は EPS で保存してください。
- 文字はラスタライズするのが無難です。
- 通常、グレースケール（解像度は 350 ～ 600dpi）がお勧めです。
- モノクロ 2 階調の原稿はそのまま入稿してください。（グレースケールに変換しない。）

Photoshop では、1 ページを 1 ファイルとして作成することになります。（ただし表紙は表紙・裏表紙を通常 1 ファイルにします。）

■作成する画像のサイズ

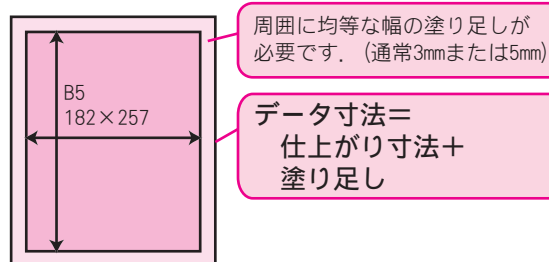


図 1 作成する画像のサイズ

画像サイズ

画像の大きさは、等倍にしてください。

通常の場合、A5 や B5 の定型判から 4 辺を均等に 3mm または 5mm 拡張してください。＝図 1 ＝

■ファイルの新規作成

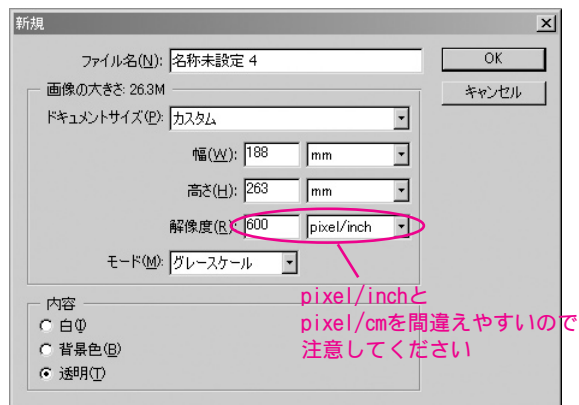


図 2 新規作成

トンボは必要ありません。画像の中心に合わせて面付けします。

B5, A5 それぞれの場合のデータ寸法の例は、次の表のとおりです。

仕上がり寸法 [mm]	データ作成寸法 [mm]	
	塗り足し 3mm	塗り足し 5mm
B5 (182 × 257)	188 × 263	192 × 267
A5 (148.5 × 210)	154.5 × 216	158.5 × 220

※データのセンタを仕上りのセンタと解釈しますので、塗り足しが均等であれば、上記に当てはまらなくてもかまいません。（他事業者で印刷した本の再版などで、トンボ付きの原稿がある場合などが考えられます。この場合も、データのセンタと仕上りのセンタがあていければ、問題ありません。）

画像解像度

画像解像度は以下の数値を推奨します。

グレースケール	350 ～ 600dpi (pixel/inch)
モノクロ 2 階調 (白黒 2 値)	600 ～ 1800dpi (pixel/inch) ※孔版の場合は 600dpi

これを超える解像度でも、データの扱いが重くなるデメリットの方が大きいと思われます。これ未満の解像度の場合、仕上がりがその分粗くなります。

画像作成のダイアログは図 2 をご参照ください。

画像形式

画像形式はグレースケールをおすすめします。（網点化は RIP で行うほうが良好と考えられるためです。）

せりふの文字や主線などは黒 100% にして、アンチエイリアスはしないでください。

ただし、トーンツールなどを使用した原稿の場合など（お客様自身で網点を使っているような場合は、モノクロ 2 階調のままのほうがよい場合があります。いずれの場合も、一度モノクロ 2 階調に変換した場合は、グレースケールに再変換しないでください。

お客様自身でモノクロ 2 階調に変換してご入稿いた

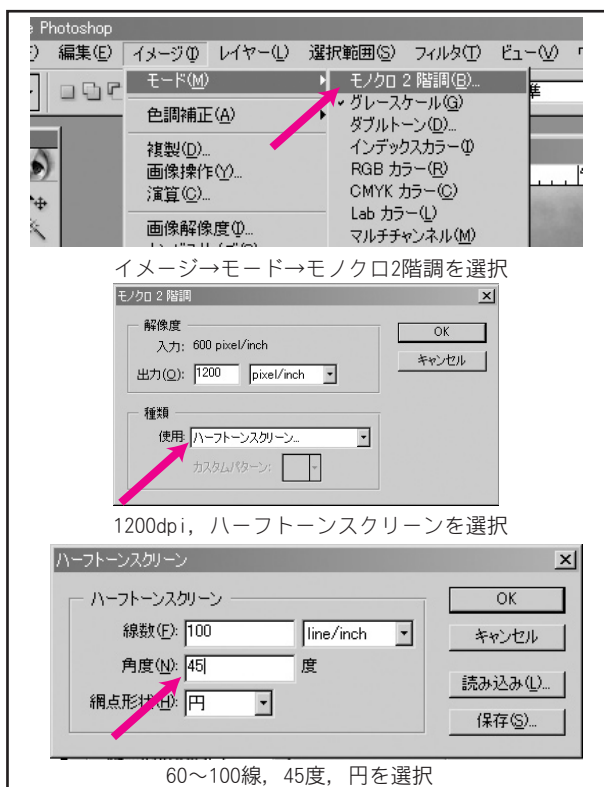


図 3 モノクロ 2 階調への変換（数値はオフセット印刷で、網点化する場合の例）

だく場合、解像度はオフセット印刷で1200～1800dpi程度、孔版で600dpi程度が適切です。図3もご参照ください。

ハーフトーンスクリーンの場合の角度は45°でしょうと思われます。線数の上限は解像度により異なり、600dpiにする場合で60線程度、1200dpiの場合で80～100線程度ではないかと思われます。ただし一例であり推奨値とは限りません。

2値化の方法は、「ディザ」も使えることがあります。網点（ハーフトーンスクリーン）とディザのイメージの違いは、p16の「濃淡の擬似的な表現」をご参照ください。いずれの方法でも、2値化すると元に戻せません。必ずもとのデータを保存しておいてください。

お客様が2値化した時点でモアレが生じている場合、弊社でそれを直すことは不可能ですので、モアレが生じないように気をつけながら2値化してください。

ページごとにグレースケールと白黒2値が混在しても、特に問題はありません。

保存形式

画像データができたら、まずPhotoshopネイティブのファイル形式（PSD形式）で保存します。今後画像を編集したいときは、PSD形式を編集します。

しかし、入稿のときはPSDを使わず、EPS形式で入稿します。（EPSは入稿のためのファイル形式とお考えください。）

なお、PhotoshopではDCS形式も同じ拡張子（EPS）を使いますが、これでは**ありません**。ご注意ください。

入稿用のデータでは、文字はすべてラスターライズするのが基本的な方法です。

EPS保存のオプションについては、「プレビュー」がTIFF(8bit/pixel または 1bit/pixel)、「エンコー

ディング」はバイナリまたはJPEG- 最高画質です。「PostScript カラーマネジメント」は無効にします。

「ベクトルデータを含める」のオプションは、通常OFFにしてください。

※文字のラスターライズや「ベクトルデータを含める」のオプションについて、次のページで詳しく述べていますのでご参照ください。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

基本的な
こと

Photoshop
での作成

Illustrator
での作成

InDesign
での作成

Word など
での作成

2色刷りの
データ入稿

作成した
データの検証

同人誌と
環境

巻末

Photoshop で せりふをシャープに表現する

ここで説明する方法は、弊社の試験環境では問題なくできましたが、常に成功することを弊社が保証するものではありませんので、“at your own risk”で行ってください。不安な場合や、このページの内容が理解できない場合は、ラスターライズして入稿してください。

Photoshopで文字をラスターライズしてデータ入稿をした場合、せりふの文字があまりシャープでないと感じられる場合があります。特に、350dpiですと粗さが目立つかもしれません。

（※あまりにもボケている場合は、グレースケールであれば文字の色が黒100%であることなどを確認してください。）

これは、イメージセッタ（製版機）の性能（弊社の場合で最高1800dpi）以下の解像度でラスターライズされてしまっている場合に起こります。

しかし、特にグレースケールの場合、そこまで高い解像度のデータを作成することは現実的ではありません。

この問題に対する解決としては、絵をPhotoshopで作成し、それをIllustratorに貼り付け、それで文字を書き込むということが考えられます。しかし面倒であり、Photoshopだけで完結すればそれにこしたことはありません。

一応、Photoshop（バージョン5以降）では、文字をベクタのまま保存することができ、文字をきれいに表現することができます。方法としては、EPSで保存する際に、「ベクトルデータを含める」を有効にすることで、文字がラスターライズされずにベクタで保存されます。IllustratorのEPSと異なりアウトライン化状態で保存されるようであり、印刷所にフォントがなくても再現できます。

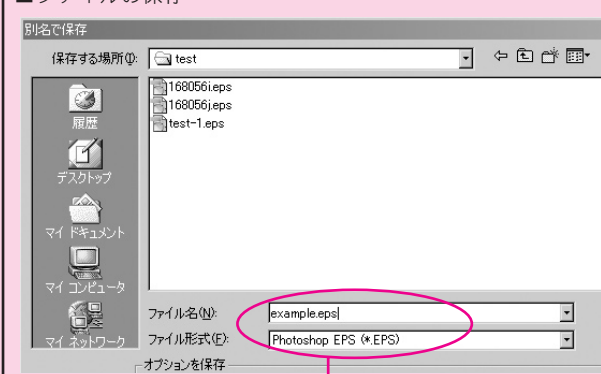
★ ★ ★

弊社で（Windows 2000、Photoshop 7.0）で試験したところ、きれいに表現できました。

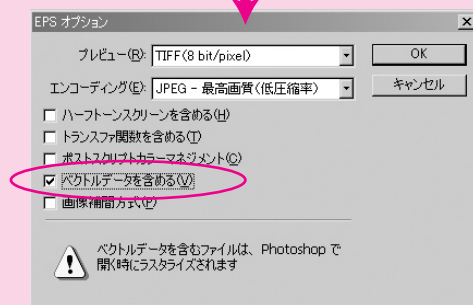
しかし、この方法は他事業者の入稿ガイドやwebページなどを見ても触れられておらず、逆に「ベクタは残さないでラスターライズすること」としている事業者もあります。確かに、解釈の相違が生じないラスターと異なり、トラブルが発生した場合に対応がしにくいのも事実です。（お客様自身でIllustratorで開いて問題なければ通常問題ないと思われますが、100%とはいえません。）

いずれにせよ、不安な場合はラスターライズの方が確実だと思います。

■ファイルの保存



Photoshop EPS形式、拡張子はEPSで保存します。



「ベクトルデータを含める」を選ぶと、文字がアウトライン化されたデータが保存されます。

Illustrator での作成

Essential Tips!

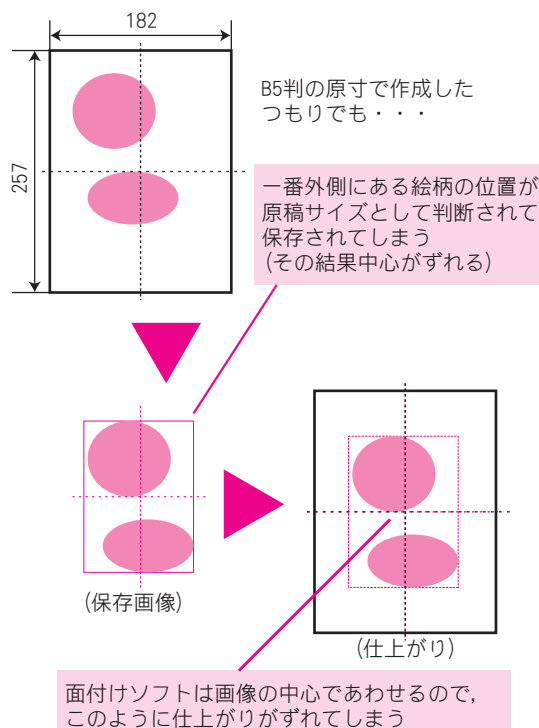
- データは原寸で、周囲にトンボをつけます。
- データ形式はEPS形式で。
- 画像などはリンクにせず、全部埋め込みます。
- 入稿のときは、文字を必ずアウトライン化します。

Illustratorでも、1ページ1ファイルが基本的な形式になります。入稿用の形式はEPSです。

画像サイズ・解像度

画像サイズは原稿サイズ（B5やA5など）と同じで作成します。カラーモードはCMYKにしてください。

■Illustratorで作成したファイル



■対策

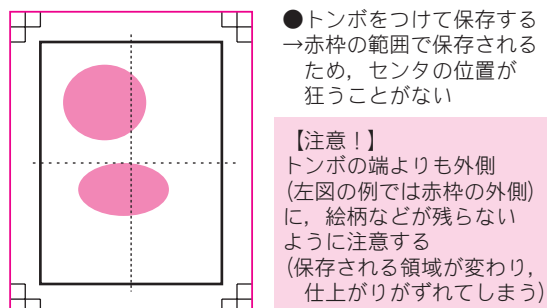


図1 Illustratorで保存された原稿

データの作成のしかた

- (1) ページサイズは原稿サイズ（B5やA5など）で作成する
- (2) 最初に[オブジェクト]→[トンボ]→[作成]で、トンボを周囲につける
- (3) トンボの外端から外には、絶対に何も描かない

なお、Illustratorの場合はベクタで画像を表現するため、解像度の概念がありません。

※機能としては画像をラスタライズすることもでき、そのときはラスタライズする解像度の指定が行われます。

必ず周囲にトンボを

IllustratorでEPSファイルを保存する場合、キャンバスサイズ概念がありません。このため、画像や文字の中で一番外側にあるものを囲む大きさが画像のサイズになり、中央がどこかわからなくなってしまいます。（図1参照）

このため、あらかじめ周囲にトンボをつけてから画像を作成してください。（図2参照）

そして、トンボの外側には絵柄の一部も含め絶対に残さないように注意して原稿を描きます。

■Illustratorでの原稿作成



[ファイル]→[新規作成]では、原寸を指定（B5ならB5、A5ならA5）



[オブジェクト]→[トンボ]→[作成]で、トンボを作成

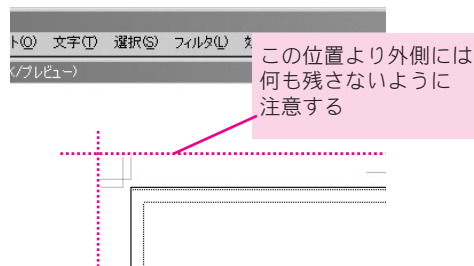


図2 Illustratorでの原稿作成



ベクタ・ラスト・アウトラインとは

ベクタ・ラストとは？

画像のデータ形式には、大きく分けて2つの形式があります。ベクタとラストです。

右図のうち、文字データとアウトラインはベクタデータです。詳しくは図をご覧ください。

※ベクタはベクトルと表現されることもあり、この2つは同じ意味です。

最も大きな違いは、後からの編集の容易さと、拡大・縮小をしたときにきれいに表現できるかというところです。

アプリケーションとの関係

Photoshop は通常ラストを編集することを想定しています。ただし、文字レイヤやシェイプについてはベクタで作成されます。

Illustrator はベクタを編集することを想定しています。

一般的な使い方

Photoshop の場合は文字をラストライズして入稿するのが一般的です。（レイヤを統合すると文字データはラストライズされます。ラストライズだけをすることも可能です。）

文字をアウトラインにして入稿することもできますが、若干リスクなようです。

Illustrator の場合は文字をアウトライン化して入稿するのが通例です。

原稿を作るときはこの形式！

文字データ

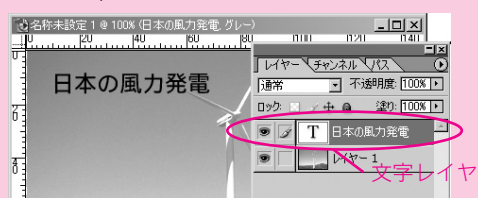
Photoshop や Illustrator で最初に作成したときの、文字の編集が可能な状態。

※印刷所が同じフォントを持っていないと再現できない。

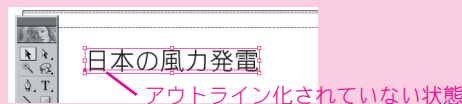
保存イメージ

フォント名称：
〇〇明朝体
テキスト内容：
「日本の風力発電」

Photoshopの場合



Illustratorの場合



ラストライズ

アウトライン化

Photoshop の入稿はラストライズして！

ラスト

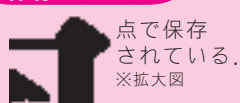
画像をベクトル（線）ではなくて点で表現する形態。もちろん文字として編集できない。

Photoshop では、文字やシェイプ以外はラストで編集される。

ラスト画像は拡大すると粗くなるため、ベクタデータ（フォントやアウトラインなどを含むデータ）のラストライズは入稿用データを作る段階で最後に行う必要がある。

また、Photoshop の場合は最初に画像を作成する際の解像度が重要である。

保存イメージ



点で保存されている。
※拡大図

アウトライン

Illustrator でアウトライン化すると、文字の屈曲点（辺が曲がる位置）のデータになる。文字情報は保存されないの、もう文字を編集することはできないが、拡大しても同じ字形できれいに拡大できる。

※印刷所が持っていないフォントでも、再現できる。

Illustrator の場合

「アウトライン化」を実行すると、アウトラインになる。（これを行っていないと、EPS で保存してもフォントデータが含まれたままになってしまう。）

Photoshop の場合

EPS で保存するときに「ベクトルデータを含む」を有効にしておくと、アウトラインが生成された EPS が保存される。

Illustratorの場合



ラストライズ

戻せません

戻せません

Illustrator の入稿はアウトライン化して！

保存形式

編集用の画像データは、まず AI 形式で保存してください。これを元データとして、以後内容に変更がある場合はこれを編集します。

そして、入稿用のデータを EPS で保存しますが、先に文字をすべてアウトライン化してから保存します。(元データのファイルではアウトライン化しません。あくまでも入稿のための操作です。)

※フォントによってはアウトラインを抽出できないものもあります。その場合は他のフォントをご使用ください。

どうしても枠に画像が収まらない場合

画像はトンボの外側の端（原稿サイズから 10mm 程度外側）までに収まっていれば問題ないため、通常は気にする必要はありません。しかし、画像の貼り付け方、編集のしかたによってはその外側に画像が残ってしまう可能性もありえなくはありません。

その場合は、そのさらに外側に枠を作って対処します。枠の大きさは任意ですが、カンバスに対して正確に中央に配置しなければいけませんのでご注意ください。

図 3 をご参照ください。カンバスに四角形（背景は無色、線は黒）を描き、大きさはもちろんトンボの外側、すべてのはみ出し画像が収まる大きさとしします。

そして、「変型」のパレットで画像の中央を基準として選択し、そこに値を直接入力します。値は原稿のちょうど中央、すなわち X、Y もも原稿サイズ (A5 や B5 など) のちょうど 2 分の 1 です。正確に入力してください。

面付けの段階では保存された画像のセンタにあわせて貼り付けるため、トンボがない場合、またはトンボの外端よりも外に絵柄がある場合、仕上がりの段階で位置がずれることがあります。

どうしてもトンボに画像が収まらない場合

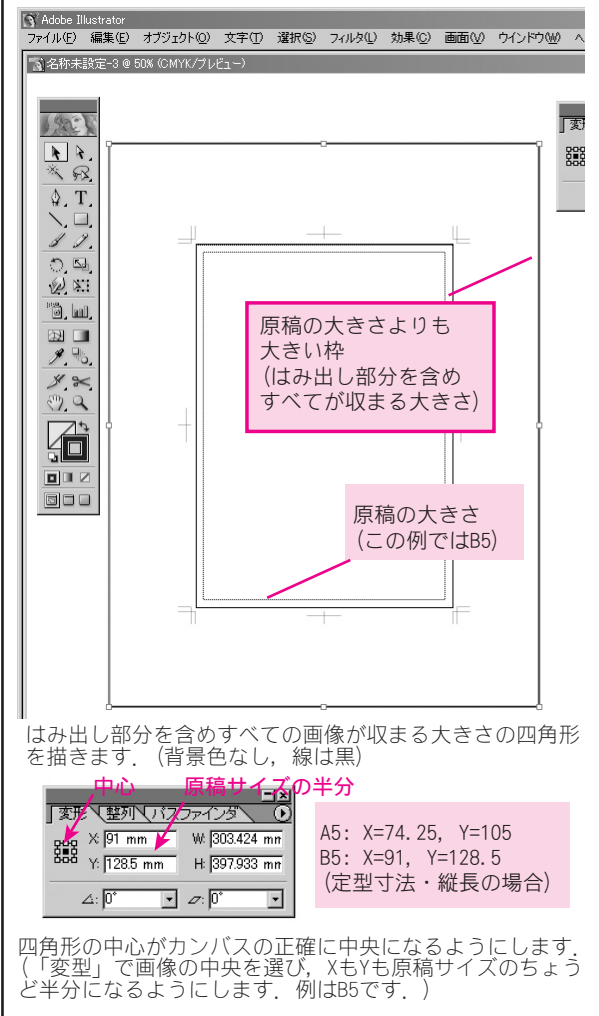


図 3 どうしても枠に収まらない場合の対処

アウトライン化が漏れていると、フォントが正しく再現されない場合があります。簡単な方法は、メニューの「選択」→「オブジェクト」→「テキストオブジェクト」で文字をすべて選択できますので、この状態で「文字」→「アウトラインを作成」を実行することです。アウトライン化が行われたかを確認するには、「文字」→「フォントの検索・置換」を実行し、「使用中のフォント」がなくなっていれば大丈夫です。

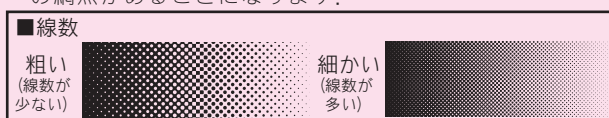


線数と解像度

線数は網の細かさ

ハーフトーン画像を印刷するときには網点の原理を使います。

線数 (lpi) とは、1 インチに網点は何個入るかを表す数値のことで、すなわち「網の細かさ」を示します。例えば 150 線であれば、1 インチ四方に 150 × 150 個の網点があることになります。



解像度（出力解像度）は出力の細かさ

網になった画像も、製版機で最終的に点に置き換えます。この解像度が出力解像度で、dpi で表します。

これが細かいほど、階調が細かく表現されます。例えば同じ 120 線の網点でも、1800dpi で表現すれば網の大きさを 225 段階で制御できるのに対し、1200dpi

だと 100 段階になります。前者は 120 線を 1800dpi、すなわち 1 つの網点を 15 × 15 = 225 ドットで表すこととなり、後者は 120 線を 1200dpi、すなわち網点を 10 × 10 = 100 ドットで表すためです。

※段階の数は、 $\text{段階数} = (\text{出力解像度} \div \text{線数})^2$ で求められます。

画像（元データ）の解像度

フルカラーやグレースケールの画像（ピクセル）は、濃度や色の情報を含んでいます。この点で製版機など白黒 2 値のドットとは同じ 1 ドットでも情報量が異なります。（1 ピクセルは 1 個の網点と同じようなものと考えても差し支えありません。）

詳細は省略しますが、線数の 2 倍程度を元データの解像度にするとういことが知られています。

線数と解像度のバランス

データの再現を「線数」だけで判断することはできず、重要なのは線数と解像度のバランスということになります。また、使う紙やインキなどによって線数を変えたほうが良い場合もあります。（弊社では通常 150 ～ 133 線を出していますが、状況を見ながら変化させることがあります。）

InDesign での 作成

InDesign については、どうしても不安定な要素が強いため、本書の内容をよくご理解の上ご入稿ください。また、事前にサンプルページ（データ）をお送りいただくなどの確認・準備をしていただくことをおすすめします。

ファイル形式

InDesign のネイティブ形式は入稿用の形式としてお受けしていません。PostScript ファイルを書き出して入稿してください。（弊社の面付けソフトは現時点で PDF に対応していません。また、EPS より出力が容易な PS をおすすめします。）

フォントの埋め込み

EPS や PostScript では、保存時にフォントを埋め込む必要があります。

※フォントの中には埋め込めない（埋め込みを認めていない）フォントがありますので、十分注意してください。そのまま入稿されると、予期しない文字化けまたはフォントの置換が発生することになります。

画像サイズ

画像サイズは、原寸そのままでかまいません。（B5 なら B5, A5 なら A5.）

裁ち切りについては、保存の際に「裁ち落とし」を設定することでサイズを調整します。

裁ち切りにするときは、画像サイズは原寸のままで、塗り足しは 3mm 程度外にはみ出させます。

（前ページから続きます。）

保存形式

編集用のデータは、まず InDesign の形式（indd）で保存します。

そして、入稿用のデータとして PostScript を作成します。このとき、フォントをすべて埋め込みます。

PostScript の書き出し

PostScript の書き出しは、[ファイル] → [プリント] を選択して書き出します。

オプションの設定は概ね図 2 の通りです。

■「プリンタ」は「PostScript ファイル」

■「PPD」は「デバイスに依存しない」

■「見開き印刷」は無効

■トンボは通常不要、裁ち落としは周囲を均等に 3mm または 5mm

■「フォント」の「ダウンロード」は「サブセット」または「完全」

「サブセット」は必要な文字だけを埋め込むため、「完全」に比べファイルが大幅に小さくなります。

このほか、「カラーマネジメント」では、「PostScript カラーマネジメント」を選択しないでください。

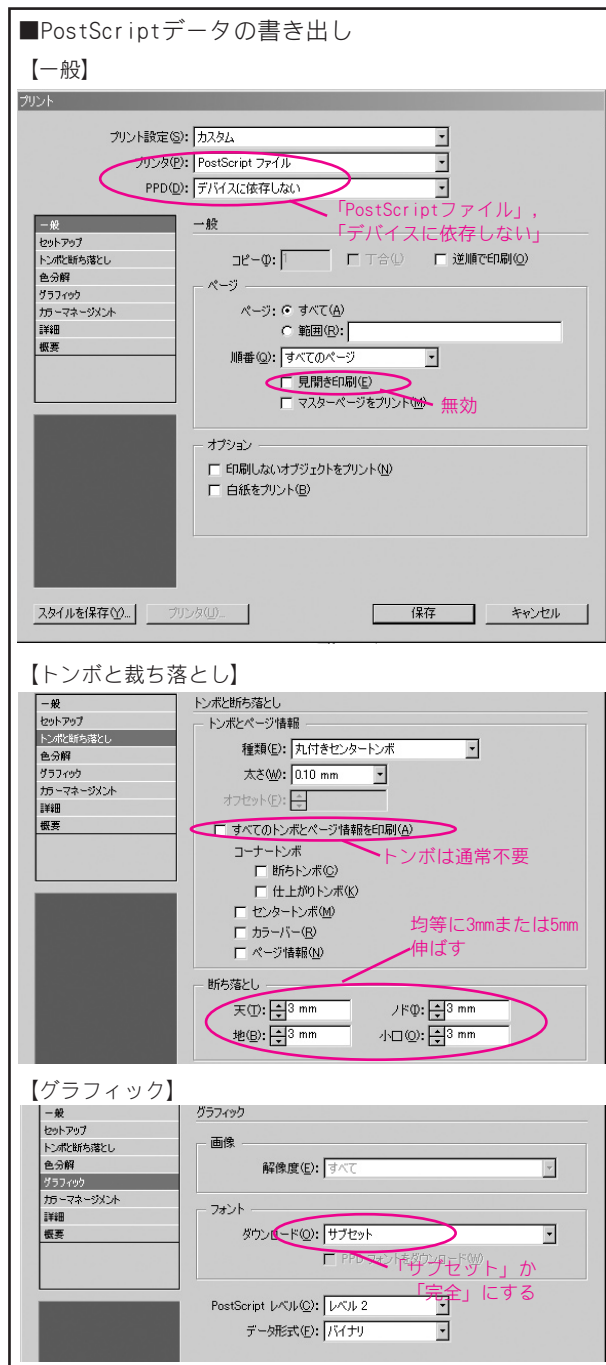


図 1 PostScript の書き出し

●本書は、InDesign で作成した原稿を、このページで紹介する方法で PostScript で書き出したファイルを使い印刷しています。

●本書の 2 色刷りは、原稿を 107 ページで紹介するように黒とマゼンタの版で作り、印刷の時点で違う色のインキを使って印刷したものです。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

基本的な
こと

Photoshop
での作成

Illustrator
での作成

InDesign
での作成

Word など
での作成

2 色刷りの
データ入稿

作成した
データの検証

同人誌と
環境

巻末

Word などでの作成

～ PDF ファイルを作って入稿～

Essential Tips!

- Word などをお使いの方は、市販のツールなどで PDF 化して入稿することもできます。
- 「フォントの埋め込み」がきちんとできているかは、特によく確認してください。

Word などのデータは、PDF で入稿

弊社では、入稿用データは PS か EPS 形式でお作りいただくようお願いしておりますが、Microsoft Word などのワープロソフトでこれらのファイルを作ることは手間がかかります。一方、PDF 形式は比較的簡易に作成する方法が普及しています。

弊社の面付けソフトは PDF に対応しておりませんが、あくまでも PDF を正規の方法としてお受けすることはありません。しかし、弊社で Acrobat を使って PDF を PS に変換することは一応可能ですので、Word などをお使いの方の便法として、この方法を紹介します。

(EPS や PS を書き出せるツール (Photoshop, InDesign など) をお使いの方は、PDF ではなく EPS/PS のデータを入稿するようにしてください。また、変換作業がファイルごとに発生するため、本文が 1 ページ 1 ファイルになる場合、PDF の入稿はご容赦ください。)

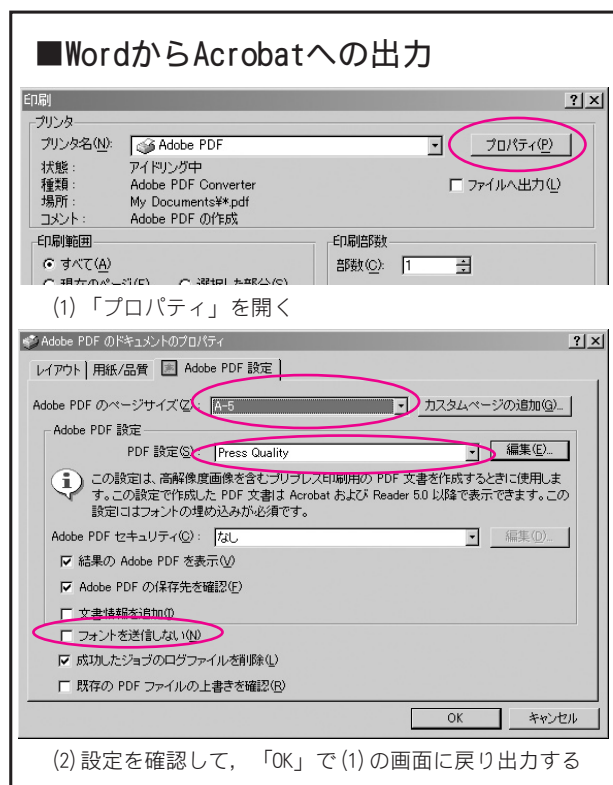


図2 Word からの Acrobat への書き出し

原稿サイズ

ワープロソフトの場合、裁ち切り柄はできないと考え、仕上りの大きさ（原寸）で作成するほうが無難です。

(Photoshop と同様に 3mm 大きく作っておき、その外側を裁ち切りにする方法もあります。)

原稿の作成

弊社の試験では、若干の文字飾りを含む簡単なテキストデータを Word の文書として貼り付け、JPEG、WMF の画像を貼り付けた原稿において問題が生じませんでした。フォントは埋め込みが禁止されていない TrueType が正常に再現されました。(ただし EPS 画像の貼り付けは正常に解釈できませんでした。)

Acrobat による PDF ファイルの作成

Acrobat をお持ちの方は、Word から仮想プリンタとして PDF ファイルに出力することができます。

一般的には、出力時の「プリンタのプロパティ → Adobe PDF 設定」で、「PDF 設定」を「Press Quality」にすることで、入稿用のデータに適した形になります。

注意が必要な点は以下のとおりです。(図2)

- 「Adobe PDF のページサイズ」は一般的には原寸です。ただし裁ち切りにする場合はワープロソフトで設定した裁ち切り込みのページサイズを「カスタムページの追加」で追加してそれを選択します。

- 「PDF 設定」では「Press Quality」を選択します。(インストール時の設定から変更されていない限り、これでフォントをすべて埋め込む設定になります。)

- 「フォントを送信しない」のチェックは外します。設定が済んだら「印刷」の画面に戻り PDF の出力を行います。

- 出力ができたら、Acrobat でファイルを開き、きちんと出力できていることを確認します。(詳細後述)

Acrobat Distiller による PDF ファイルの作成

Acrobat はないけれども Acrobat Distiller をお持ちの方は、それで PDF を作成するほうが後述の Adobe PS ドライバを使って PS を作成するよりも容易なことがあります。Distiller で作成した PDF ファイルでも問題はないものと思われます(ただし未検証)。フォントの埋め込み、ページサイズなどの設定は Acrobat を使う場合と同様にしてください。

他社製ツールで PDF ファイルを作る

PDF 作成には Acrobat をお使いいただくことが無難と思われます。Elements であれば 5 千円程度で入手可能ですが、それより安価な他社製のツールも多数発売されています。弊社として積極的にお勧めできるわけではないものの、フォントの埋め込み、画像解像度、ページサイズ等の問題がなければ「実際には使える」というツールもあるのではないかと思います。



図3 いきなりPDF2

ソースネクスト「いきなりPDF2」での作成

弊社では、ソースネクスト「いきなりPDF2」を試験したところ、テキストと若干の画像を含むファイルで問題が生じませんでした。

※ただし、ページサイズが定型以外（裁ち切りを広げた寸法など）の場合は正しいサイズで作成されないように、「いきなり」の場合は原寸（裁ち切りなし）で作成する必要があります。

同製品は1980円と安価で、書店等で簡単に入手できるため、1つの選択肢となりえます。

基本的なこと

この製品をインストールすると、仮想プリンタドライバとして機能します。そのためAcrobatの場合と同様、Wordからは「印刷」の操作でPDFを作成します。

出力の手順

- Wordなどのワープロソフトから、「印刷」を開きます。
- 「プリンタ名」を「いきなりPDF」とします。
（以下の設定の部分は、同様の設定で繰り返し出力している場合などは飛ばしてかまいません。）
- 「プロパティ」を開き、出力の設定画面を開きます。
- 一般的には、インストールされている「最高画質」という設定を選ぶのが簡単です。この設定では、フォントが埋め込まれ、画質も600dpiで出力されるようです。

※手動で設定する場合も「最高画質」の設定に準じてください。フォントはすべて埋め込む、画像のダウンサンプリングはなし、解像度はグレースケールで600以上、2値であれば1200を推奨します。

- 設定を確認したら、ファイルに出力します。
- PDFファイルを開き（無料のAdobe Readerでかまいません）、ファイルがきちんと作成されているかを確認します。詳細は図3をご参照ください。

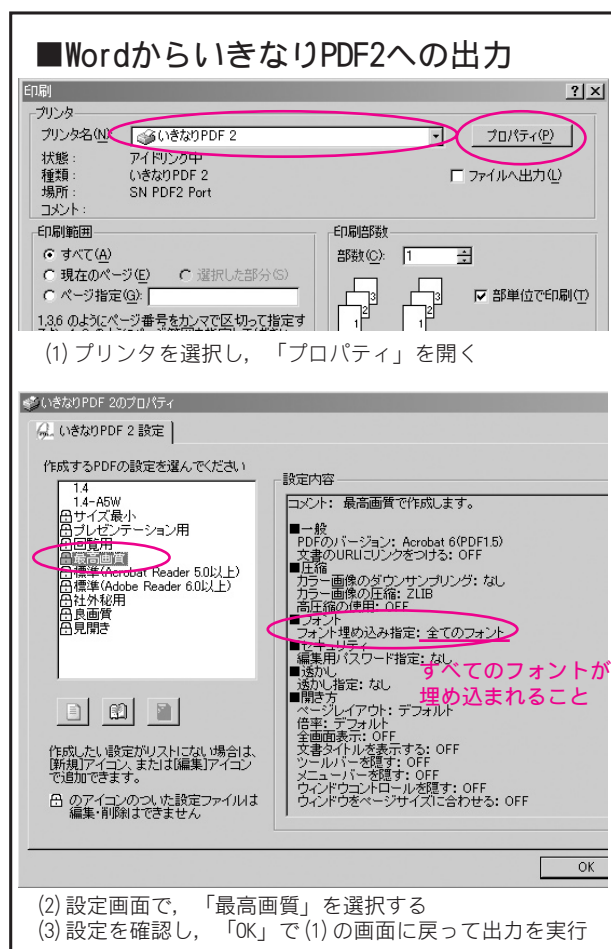


図3 いきなりPDF2でのPDFの書き出し

PDFファイルの確認

PDFファイルができたら、サイズが適切であるか、フォントが正しく埋め込まれたかを必ず確認してください。（図4）

●まず、Acrobat（または無料のAdobe Reader）でPDFファイルを開きます。（設定によっては、作成完了後自動的に開かれる場合もあります。）

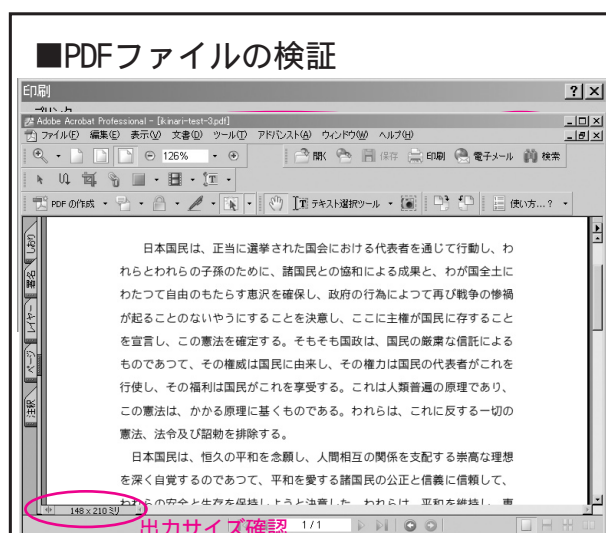
●ファイルの左下に表示されるページサイズが適切であることを確認してください。通常は原寸になるはずですが、裁ち切りをする場合は縦横それぞれ6mm程度大きい数値になります。

※この際、ページサイズが明らかに違ってしまいう場合、入稿には使えません。「いきなりPDF2」の場合、定型以外の大ききで出力できないようですのでご注意ください。

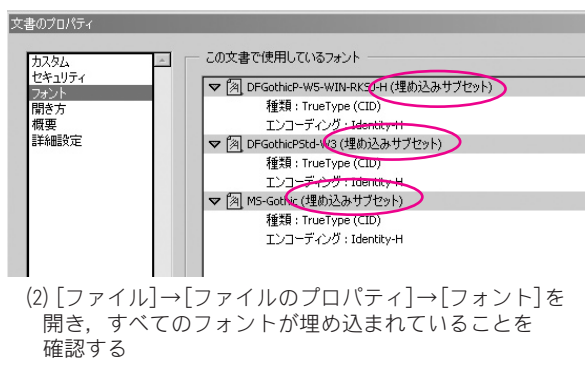
●文字や絵がページに対して適切な位置に出力されていることを確認してください。

●表示を拡大して、文字や絵が粗くなっていないかを確認してください。（元々粗い画像の場合はしかたありません。）

●[ファイル]→[ファイルのプロパティ]→[フォント]を開き、使っているフォントがすべて「埋め込みサブセット」になっていることを確認してください。（「埋め込み」でも出力はできますがファイルは大きくなります。）



(1) PDFファイルの左下に表示されるサイズを確認する



(2) [ファイル]→[ファイルのプロパティ]→[フォント]を開き、すべてのフォントが埋め込まれていることを確認する

「いきなりPDF」シリーズにはいろいろなグレードがあり、価格も異なります。入稿のためにお求めになるのであれば、フォントの埋め込みができ、画質を落とさずに保存できれば十分ですので、一番安い「いきなりPDF2」で十分です。

一方、「いきなりPDF to Data 2」「いきなりPDF to Data Professional 2」「いきなりPDF from スキャナ 2」は、フォントの埋め込みに対応していないため入稿には向きません。

（2006年9月現在、ソースネクストwebページによる）

Word などの作成

～ PostScript ファイルで入稿～

ここで紹介する方法については、どうしても Photoshop EPS ほど確実な方法ではありません。本書の内容をよくご理解の上ご入稿ください。できるだけ事前にサンプルページ（データ）をお送りいただくなどの確認・準備をしていただくことをおすすめします。

概要

ここで説明する方法は、Word などのアプリケーションから入稿用の PostScript (PS) ファイルを生成する方法を述べたものです。

※ Windows での記述ですので、他の OS については不明です。

準備

ここでは PS プリントドライバをインストールします。それにより仮想的なプリンタがコンピュータにでき、PS 書き出しの機能が無いソフトからでもそこに「印刷」すれば PS ファイルができるようになります。

PS ドライバは Adobe (アドビシステムズ(株)) の web ページで無償で公開されています。

インストールの方法についてはダウンロードしたファイルを参照してください。

ドライバダウンロードはアドビ社ホームページ (<http://www.adobe.co.jp/>) から「サポート」→「ダウンロード」で一覧ページを表示し、「PS プリントドライバ」をダウンロードしてください。(2005年9月現在)

初期設定

ドライバをインストールすると、Generic PostScript Printer という名称のプリンタが追加されていると思われます。このプリンタの一般的な設定をまず行っておきます。

図2のようにドライバのプロパティを開き、「デバイスの設定」のタブを開いてまず設定します。ここでは主に次の点を設定します。

■「出力プロトコル」はバイナリにするほうが生成されるファイルが小さくなります。

■「アウトラインとしてダウンロードする上限フォントサイズ」「ビットマップとしてダウンロードする上限フォントサイズ」は、両方とも十分小さい値（ここでは2ピクセル）に設定します。これにより、実質上すべての文字がビットマップではなくアウトラインで出力されます。

次は、「全般」のタブを開き、「印刷設定」のボタンをクリックし、次の画面で「詳細設定」をクリックします。詳細設定の画面では、主に次の点を設定します。

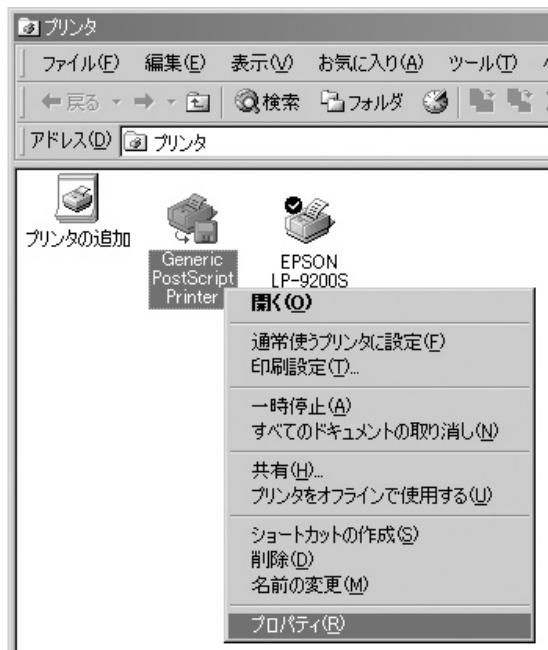
■「TrueType フォント」は「ソフトフォントとしてダウンロード」にします。

■「PostScript 出力オプション」は、「エラーが低減するように最適化」でよいと思われます。(PS を生成するのが目的ですが、EPS を選ぶとうまくいかないうです。)

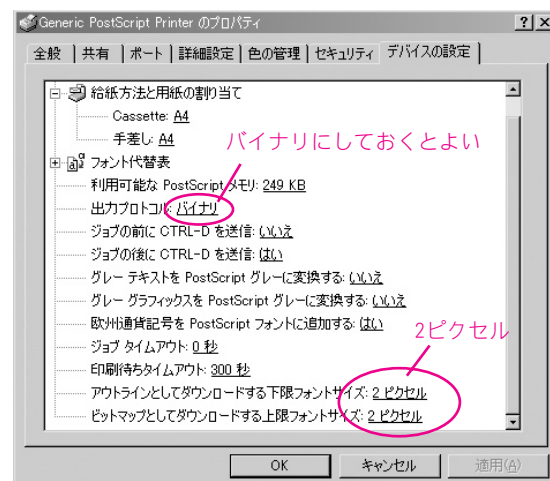
■「TrueType フォントダウンロードオプション」は、「アウトライン」を選びます。

これで、Generic PostScript Printer に印刷することで、PS ファイルを生成できるようになりました。

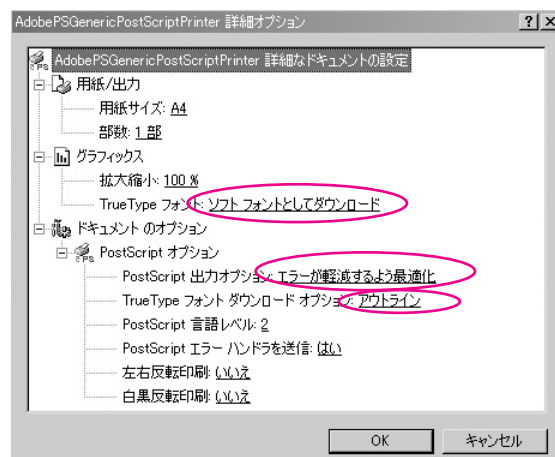
■PostScriptデータの書き出し



[コントロールパネル]→[プリンタ]から、追加された Generic PostScript Printer を選び、プロパティを設定します。



「デバイスの設定」のタブを開き、主に赤で示した箇所を設定します。



「詳細設定」では、主に赤で示した箇所を設定します。

図2 PSドライバの準備

画像サイズ

Word の場合、裁ち切りはできないと考えるほうが無難です。このため画像サイズは原寸でよいものと思われれます。

もっとも、少し大きいサイズで作っておき、その外側を裁ち切りにする方法もあります。

原稿の作成

弊社の試験では、若干の文字飾りを含む簡単なテキストデータを Word の文書として貼り付け、JPEG、WMF の画像が貼り付けられるようであることを確認しました。フォントは TrueType で埋め込みを禁止していないものがアウトラインで再現されました。(ただし EPS 画像を貼り付けた文書は正常に解釈できませんでした。)

その他の機能については確認していません。(複雑な機能を利用する場合、Illustrator や InDesign などを使うことをおすすめします。)

保存 (書き出し)

ここでは、複数ページを 1 つの PS ファイルにまとめて生成します。

ファイルの生成では、まずアプリケーションから「印刷」を選びます。(プリンタドライバを通して保存するので、「保存」ではなく「印刷」になります。)

ここからは図 1 を参照しながらお読みください。

印刷ダイアログでは、次の設定をします。

■「プリンタ」は、「Generic PostScript Printer」を選びます。

■「ファイルへ出力」を有効にする。

その後、「プロパティ」をクリックし、印刷プロパティ画面を開きます。そして「詳細設定」を選びます。

詳細オプションの画面では、特に次の点を設定します。(先ほどの初期設定を正しく設定していれば、そのまま継承されているはずです。)

■「TrueType フォント」は「ソフトフォントとしてダウンロード」にします。

■「PostScript 出力オプション」は、「エラーが低減するように最適化」でよいと思われます。

■「TrueType フォントダウンロードオプション」は、「アウトライン」を選びます。

ここまで終了して、「OK」をクリックすると、保存先のファイル名を決めるダイアログが表示されますので、保存先とファイル名を決定します。

ファイル名の拡張子は「.prn」になりますが、ここではそのまま保存してください。

保存 (書き出し) の際の用紙サイズについて

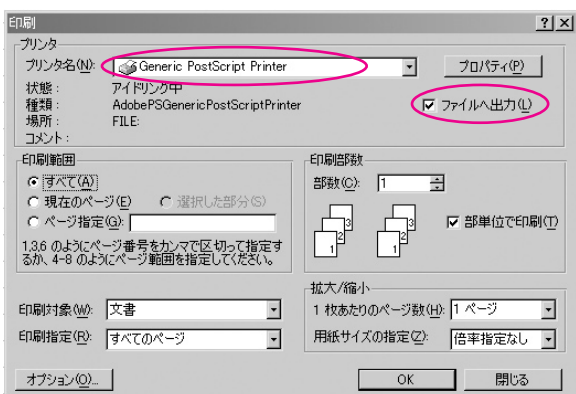
この項の「保存・書き出し」の際、用紙サイズで「B5」「A4」などしか選べず、A5 がないことがあります。A5 判の場合、標準の A4 のまま出力していただいてもかまいません。(面付けの時点で弊社で調整します。)

入稿の準備

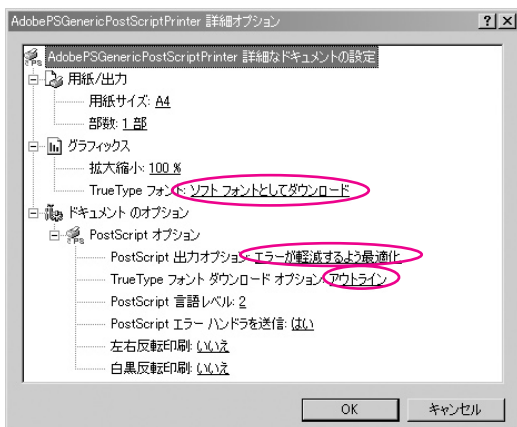
ここでは、本文のページがすべてまとめて 1 つのファイルで書き出されます。このため、ファイル名は本文であることがわかるような名前にしてください。(honbun.prn など。)

なお、拡張子は .prn のままでもかまいませんし、.ps (PostScript ファイルの標準的な拡張子) に変更してもかまいません。

■WordからのPostScriptデータの書き出し



[ファイル]→[印刷]から、印刷のダイアログを開きます。「プリンタ」では、Generic PostScript Printerを選択し、「ファイルへ出力」を有効にして、「プロパティ」をクリックします。プロパティ画面から、「詳細設定」を選び、詳細オプションを設定します。



「詳細オプション」では、主に上の○で囲った部分を確認します。

図 1 Word からの PS での保存

この方法による出力は弊社の Word 文書で行っているほか、すでにお客様にも小説や小冊子などにご利用いただいております。問題なく出力できる方法です。

しかしお客様のファイルや弊社の出力機の解釈によっては必ずしもお客様ご想定の実現にならない可能性が否定できません。できるだけ事前に見本をいただくほうが望ましいと考えられます。

なお、特に注意していただきたい点は次のとおりです。

●フォントが確実に埋め込まれていることを確認してください。(不安な場合は遠慮なくお申し出ください。弊社は特にお申し出がない限りチェックせずそのまま出力します。)

●特に Word の場合、URL やメールアドレスなどに自動的に色がついてしまうことがあります。(Word の場合、[ツール]→[オートコレクト]→[入力オートフォーマット]で、「インターネットとネットワークのアドレスをハイパーリンクに変更する」をオフにすることで避けることができます。)

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

基本的な
こと

Photoshop
での作成

Illustrator
での作成

InDesign
での作成

Word など
での作成

2色刷りの
データ入稿

作成した
データの検証

同人誌と
環境

巻末

2色刷りのデータの作成

Essential Tips!

- オフセット印刷の場合、擬似的にCMYKのうち2色で原稿を作ること、2色刷りのデータが作れます。
- 孔版の場合は、レイヤ分けして原稿を作り、レイヤ別に保存して入稿します。

2色刷りのデータの作り方は2種類

弊社の場合、2色刷りのデータを作る方法は、以下の2種類（ただし孔版印刷は1種類）になります。

CMYKの2色に割り当てて描く方法（オフセット印刷のみ）

この方法では、どの色の組み合わせであっても、便宜的にCMYKのうちの2色（例えばKとM）で描いた原稿を作り、入稿の際にインキとの対応を指示していただくことになります。

例えば、「黒+赤」の2色刷りの場合、「K版→黒、M版→赤」などです。この場合、C版とY版は全面0%になるように作成します。

なお、CMYKのどれを使うか、どの色のインキに割り当てるかは任意ですが、主線や文字はK版で作るほうがよい場合があります。（オーバープリントの挙動が他の色と違う場合があるためです。）

この方法の場合、画面で見る色とインキの色が異なりますので、仕上がりのイメージがずれることがあります。

※孔版印刷ではこの方法が使えません。

データ形式・作成方法

データ形式は1色刷りと同じく、EPSないしPS形式をお勧めします。保存のときの注意事項も、1色刷りの場合と変わりません。

ただし、CMYKデータを書き出せるアプリケーション（Photoshop, Illustrator, InDesignなど）に限られます。

レイヤ別に保存し、別のファイルを作る方法

この方法は、1色目と2色目の画像を別々のレイヤに黒1色で描き、レイヤ別に別ファイルで保存して入稿するものです。両方の色を黒1色で描かなければならないことに十分注意してください。

Photoshopの場合、1色目のレイヤと2色目のレイヤで原稿を描き、まずその状態でオリジナルを保存します。次に、入稿用のデータとして、「1色目のレイヤだけを表示させた状態」で「○○_黒.eps」などのように保存し、今度は「2色目のレイヤだけを表示させた状態」で「○○_赤.eps」のように保存し、これらのファイルを入稿します。

ノックアウトとオーバープリント

データ入稿のときにわかりにくい注意点として、「ノックアウト」（または「抜き合わせ」「ヌキ」）と「オーバープリント」（または「ノセ」）があります。

ノックアウトとは背景色の上に色を重ねるときにその部分の背景色を抜いて上の色だけを乗せることで、オーバープリントとは背景色を抜かず上の色をそのまま乗せることです。＝図1＝

オーバープリントにすれば印刷のずれは目立ちませんが、色が混ざってしまう問題があります。一方、ノックアウトの場合は印刷のずれが目立ちやすいため柄に注意が必要といった問題があるため、両方に注意の上、多少ずれても目立たない柄で原稿を作ることをお勧めします。

Photoshopの場合

Photoshopの場合、同じレイヤで普通に描くとノックアウトになります。（下の色が消され、上から描いた色になります。）描画モードを「乗算」にして描くと、オーバープリントと同様の効果になります。文字レイヤの場合は、レイヤのオプションを「乗算」にすると、やはり同様にオーバープリントと同様の効果になります。（スポイトツールを乗せることで確認ができます。）

レイヤ分けして描いた場合は、両方の版に黒く残るため、オーバープリントと同様になります。

Illustratorなどの場合

Illustratorなどでは、オブジェクトごとにオーバープリントの設定ができます。結果は[表示]（または[画面]）→[オーバープリントプレビュー]でシミュレートできます。（InDesignの場合、出力の際に、「オーバープリント処理」を有効にしてください。）

※弊社において出力機のオーバープリントに関する設定は固定していません。特に黒のオーバープリントは予告なく変化することがあります。

- 多色刷りの基本的な考え方については、p74「多色刷りの原稿」もあわせてご参照ください。

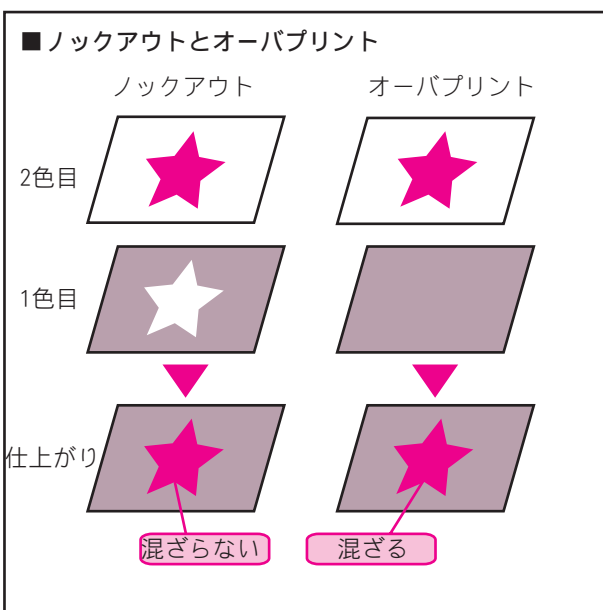


図1 ノックアウトとオーバープリント

2色刷りの応用

2色刷りで、安くおもしろい効果を

2色刷りはフルカラーに比べて安いので、2色分解やダブルトーンといった手法が広く使われています。ここでは、この2つの手法を手軽に実現する方法を説明します。(出力されるファイルの形式の問題から、オフセット印刷で使える方法になります。)

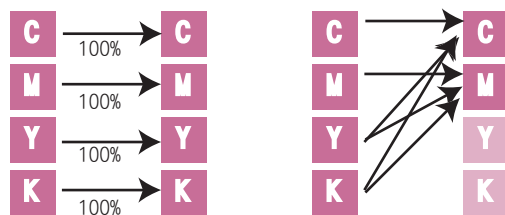
フルカラーから作る2色分解

フルカラーは通常CMYKの4色で色を表していますが、フルカラーを色の方向性で2色に分け(CMYKに限らず特色でもかまいません)、おもしろい効果を出すことができます。ここではPhotoshopで簡単に2色分解のように仕上げる手法を説明しますが、本来はもっと精密な方法があるため、関心のある方はDTPの解説書をご参照ください。

2色分解の作り方を概説すると、図1のようになります。CMYKのデータを、例では「CとM」の2色に振りなおして

■「チャンネルミキサー」による色の振り分け

調整前(通常のフルカラー) 調整後(2色分版)の例
ソースチャンネル 出力先チャンネル ソースチャンネル 出力先チャンネル



※数値の組み合わせは、いろいろ考えられます。

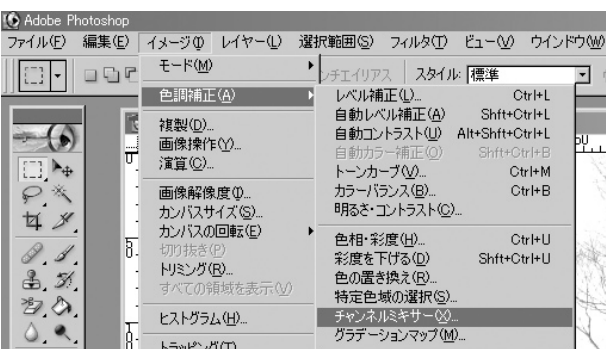
図2 チャンネルミキサーによる色の振り分け(概念図)

います。入稿の段階ではCMYKのデータになっていないといけなため、チャンネルミキサーでCMYKの振り方を変えることで、2色への振りなおしを行っています。(概念図は図2。)

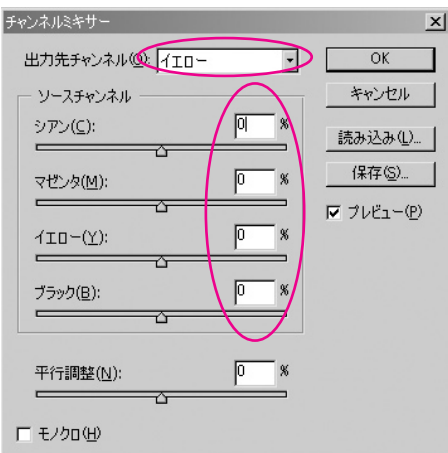
そして、例えばC版を青系、M版を赤系のインキで印刷するなどの指定をして入稿します。

画面のイメージからは仕上がりのイメージが若干つかみにくいのですが、この点をお含みおきのうえ入稿いただければ、フルカラーよりだいぶ安いコストで有効な活用が可能です。

■2色分解の簡単なつくりかた

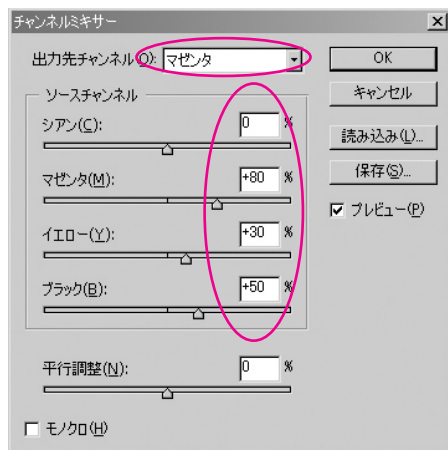


1. [イメージ]→[色調補正]→[チャンネルミキサー]を選びます。
※調整レイヤーを作成してもかまいません。
※前提として、CMYKのデータがあることが必要です。写真などはCMYKに変換しておいてください。(*)



2. ここでは、CMYK4色のデータをCとMの2色で表すことにします。YとKには何も出力しないことになりますので、「出力先チャンネル」のYとKは、すべてのソースを0%にします。

(*) CMYKに変換するときにK版を出さない(CMYの3色に分ける)ようにすると、よりきれいに表現できることがあります。紙幅の都合上詳しく説明できませんが、[編集]→[カラー設定]を選び、「カラースペース」→「CMYK」を「カスタムCMYK」にし、次の画面で「墨版生成」を「なし」にします。この場合「ソースチャンネル」はCMYの3色について設定することになります。(通常のカラー原稿を作るときは、墨版生成の設定を元に戻します。)



3. 2で落としたYとKを、出力に使うチャンネル(ここではCとM)に振り向けます。上の図では、出力のM版には、元データのMを80%の濃度で、以下Yを30%、Kを50%の濃度で出力することになります。ここで行うのは濃度の再分配+調整なので、合計が100%になる必要はありません。



これはデジタルカメラで撮影した画像をCMYK変換し、上記方法で2色に分解したものです。(比率と色の組み合わせは異なります。)

図1 2色分解の作成

グレースケールからダブルトーン

1色の（グレースケールの）原稿から2色の深みのある仕上がりが出る手法として、ダブルトーンがあります。2色分解は色の方向性で2色に分けるのに対し、ダブルトーンは色の濃淡で2つの色に振り分ける手法で、味わいのある本が手軽に作れます。

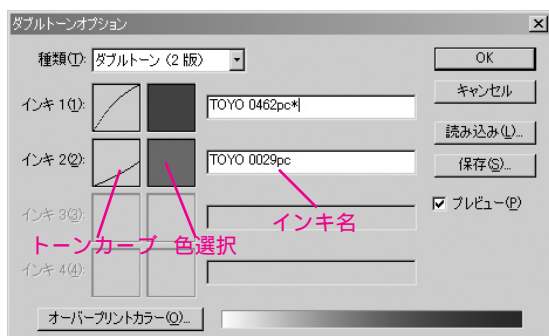
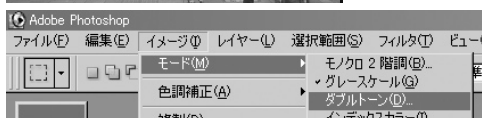
ダブルトーンはPhotoshopで作ります。Photoshop EPS形式で保存します。（DCSではありません。）

■ダブルトーンのつくりかた



1. グレースケールの画像を用意します。（フルカラーから変換してもかまいません。）

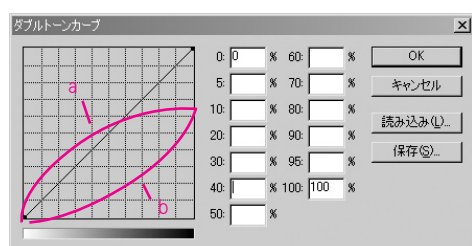
2. Photoshopで、[イメージ]→[モード]→[ダブルトーン]を選択します。



3. ダブルトーンオプションが表示されます。まず色の組み合わせを設定します。色の部分をクリックします。

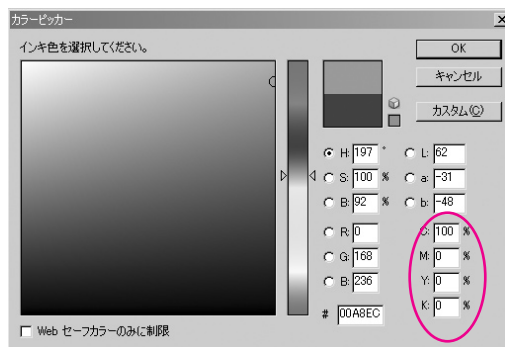


4. カスタムカラーが表示される場合があります。この中からインキに近い色を選べば、仕上がりの参考になります。「ピッカー」をクリックしてCMYKで設定してもかまいません。※いずれの場合も最終的にはCMYKのいずれかに変更します。

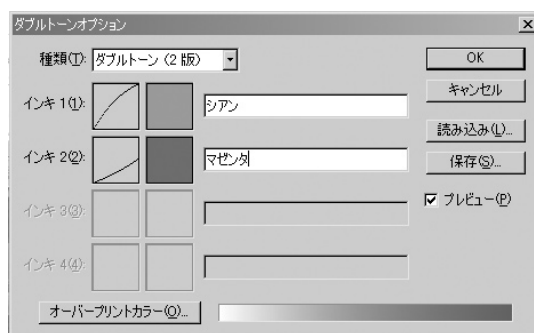


5. 今度はトーンカーブを設定します。（3の画面でトーンカーブをクリックします。）数字を設定しても、グラフをマウスで設定してもかまいません。

特に重要な点は、途中の時点まではインキのイメージに近い色で調整をして、入稿用のデータではインキの名前がCMYKに置き換わっていないと名前がCMYKのいずれかになっていれば、カラーモードはダブルトーンのままでかまいません。）



6. トーンカーブの設定が終わったら、使用するインキをCMYKに割り当てます。色を選択し、4の画面が出たら「ピッカー」をクリックし、上の画面を出します。例えばC版に割り当てる色は、C=100、M=Y=K=0で設定します。



7. 6の画面でCMYKのいずれか1色だけを100%、他を0%に設定すると、インキ名が「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「ブラック」に変わります。2色ともこのいずれかに置き換わったことを確認してください。（Photoshopのバージョンが5までは、自動で変わらないようです。手動で変えてください。）
※ここで色と名前が変わっていないと、正しく再現されません。



ダブルトーンの表現は、トーンカーブによって大きく異なります。上の2枚の写真は、黒版をいずれも45°のカーブにし、色版を左は5番の画面のb、右はaのカーブで再現したものです。

図1 ダブルトーンの作成

作成した データの検証

ここに記載した方法はデータのインテグリティをご入稿前に簡単に確認するための方法を示したもので、ここで問題ないと判断されたものが必ず入稿に適することを保証するものではありません。また、ここで確認するイメージが印刷物と同じになるとは限りません。

データは紙原稿と異なり直接見ることができないものです。このため、入稿前に自分である程度の検証ができれば、最低限の判断の一助となります。

ここでは、作成したデータのチェックポイントを例示します。

読み取れることの確認

意外と多いのが「ファイルそのものが読み取れない」というトラブルです。最低限書き出した媒体にあるファイルがきちんと読めることは確認してください。

別のコンピュータがあればそれがベストですが、1台のコンピュータで行う場合は、次の方法で確認します。

- ・一度ディスクをコンピュータから取り出す。
- ・エクスプローラでディスクが表示されなくなることを確かめる。
- ・ディスクをもう一度挿入して、中身を確認する。

開けることの確認 ～ Acrobat を使った確認～

Acrobat をお持ちであれば、これが比較的簡単かつわかりやすい方法といえます。（Acrobat Reader ではありません。Acrobat Distiller とも異なります。）

Acrobat は、さまざまなファイル形式を解析して PDF に変換する機能を持っています。

【EPS/PS の解釈の設定】

Acrobat では、まず、[編集] → [環境設定] で、「PDF への変換」で「PostScript/EPS」を選び、その設定を変更しておきます。通常は Press Quality ですが、フォントの埋め込みが行われる設定であることを確認してください。（その他、サイズの設定がレターになっていると A4 などにしておいたほうがよいかもしれません。）

【EPS/PS の変換（解釈）】

EPS や PS を開くには、[ファイル] → [PDF の作成] → [ファイル] で、対象のファイルを選択して開きます。

【チェックポイント】

エラーがなく Acrobat で開くことができたなら、フォントが埋め込まれているか、またはアウトラインになっていることを確認します。[ファイル] → [文書のプロパティ] で、「フォント」を選択します。このとき、(1) フォントが何も表示されない (2) フォントが表示されるが、すべて「埋め込みサブセット」「埋め込み」となっている であれば、そのフォントは EPS や PS に埋め込まれているので問題ないと思われます。

また、拡大表示をして文字がスムーズに出ているか、画像が不自然に粗くなっていないかを確認します。もし問題があるような場合は、まず前記の「解釈の設定」の部分で Press Quality になっているかを確認し、なお荒いようであれば元データを確認します。

Illustrator による確認

Acrobat をお持ちでない場合、Illustrator で確認する方法もあります。ただし1ページ1ファイルの場合に限られるため、Word や InDesign で書き出した複数ページをまとめたファイルには対応できません。

【チェックポイント】

特にフォントの問題を十分チェックしてください。

Photoshop、Illustrator で保存した場合は、フォントが残っていない（アウトライン化されている）ことが必要です。

フォントの確認は、[文字] → [フォントの検索・置換] によりフォント確認の画面を表示し、使われているフォントがなくなっていれば問題ありません。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

基本的な
こと

Photoshop
での作成

Illustrator
での作成

InDesign
での作成

Word など
での作成

2色刷りの
データ入稿

作成した
データの検証

同人誌と
環境

巻末

同人誌と環境

同人誌と環境負荷

同人誌は表現活動の一手段としてわが国の文化の振興に大きく寄与していますが、どうしても印刷・出版には環境への負荷が伴います。

弊社では、できるだけ環境負荷を軽減しながら皆様の表現活動をお手伝いできるよう、生産のさまざまな点で取り組みを進めています。

再生紙の積極的な活用

紙は基本的には木材パルプ（バージンパルプ）から作ります。

わが国で使われる製紙用のパルプは、適切に管理された森林からの伐採であり、直ちに森林資源の減少をもたらすものではありません。

しかし、森林資源は有効に利用することが求められますし、古紙をそのまま捨ててしまったら相当量のごみが発生することから、古紙をできるだけ回収して再生紙を作り、それを使っていくことが必要です。

図1は、リサイクルがあまり行われていない状態と、活発に行われている状態を示すものです。

リサイクルが積極的に行われると、投入される資源も、廃棄される資源も大きく減ることになります。しかし、そのためには、再資源化商品（リサイクル品）が多く使われることが重要です。

弊社では、取り扱う用紙のほとんどに再生紙製品を採用し、リサイクルの拡大が進むよう努力しています。

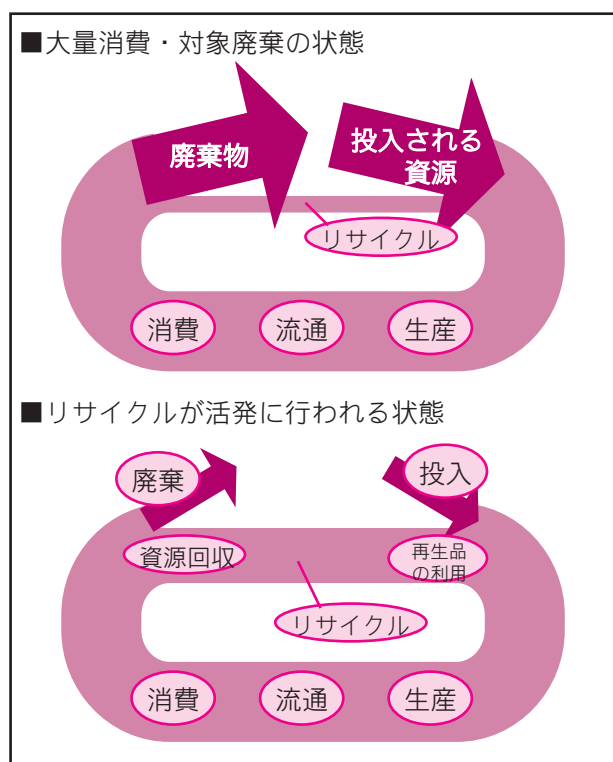


図1 リサイクルの輪の意義

環境に配慮したパルプ

再生紙はごみの減量などに寄与しますが、紙の繊維は何回でもリサイクルできるわけではないため、古紙パルプに加えバージンパルプも投入しながら作る必要があります。

弊社では、バージンパルプを使用する紙についても、できるだけ認証木（適切に管理された森林からの木材であることを第三者の認証を受けている材料）や植林木（計画的に植林された森林からの材料）などを配合した紙を採用することで、できるだけ環境に配慮した紙をお選びいただけるよう取り組んでいます。

また、パルプの漂白工程についてもECFパルプ（無塩素漂白）などの製品を積極的に選んでいます。

非木材紙

紙の中には木材パルプに替えて草などの非木材パルプを使った製品があります。

これらは成長が早い草などを使っており、未利用資源の利用や、同じ面積での収量が多くなるなどのメリットがあります。

弊社でも、再生紙と並んでさまざまな非木材紙を取り扱っています。

環境に配慮したインキ

インキについても、環境負荷に配慮した製品が商品化されています。

弊社でも、大豆油インキを始めとした環境調和型のインキを採用しています。

オフセット印刷のインキ

黒、黄色は、100%植物油タイプの大豆油インキを使用しています。

他の基本色は、アロマフリータイプの大豆油インキを採用しています。

特色もできるだけこれらのインキで作るようにしています。（金・銀は通常の大豆油インキです。）

孔版印刷のインキ

黒、赤、青、若竹の4色は、大豆油インキになっています。

リサイクルに配慮した製本

印刷物が使命を終えてリサイクルに回されると、無線綴じの製本に使われるボンド（のり）が、リサイクルの支障になってしまうことがあります。製紙工場で溶融されるときに、ボンドが細かくちぎれてしまい、仕上がりの再生紙に混じってしまうことがあるためです。

弊社では、古紙再生の工程であまり細かくなならないタイプ（難細裂化タイプ）のボンドを採用し、リサイクルの支障になりにくい製本を行っています。

※中綴じ製本のホチキスの針は、溶融されたときに除去できるため、リサイクルの支障になりません。

風力発電などのグリーン電力で印刷

弊社では、使用する電力の100%を風力発電などの自然エネルギーで調達しています。

その他の材料等での配慮

その他の材料についても、できる限り環境に配慮した製品を採用しています。例えば、インキを落とす作業に使う洗浄液の一部を植物性の製品に置き換えるなどの取り組みを行っています。

お客さまへの情報の提供

製品の環境に関する情報、弊社の取り組み等については、ご利用ガイド等を通じてお客さまにご案内しています。

大豆油 インキのメリットは、以下のよう

- 有機溶剤を減らす、または使わないことで、**大気汚染を軽減**させることができる。
- 生分解性**が高く、廃棄されたときの環境負荷が低い。
- 紙をリサイクルするときに**インキを落とす**が**しやすい**ため、紙のリサイクルがしやすい。
- インキのにおいの刺激性が弱い。

環境 調和型インキにも種類があります。(ここではオフセットインキを例に説明します。)

第1の段階として、「アロマフリーインキ」。従来型のインキには「石油系溶剤」が20～40%程度含まれています。石油系溶剤のうち芳香族炭化水素の成分が特に刺激性が強いことから、石油系溶剤の芳香族成分を1%以下にしたものが「アロマフリーインキ」です。

第2段階^(*)としては、「大豆油インキ」。広い概念では「植物油インキ」となり、一般的には植物油(大豆に限らない)^{(*)2}がインキ全体の20%以上含まれるインキのことをいいます。

第3段階としては、「100%植物油インキ」。これは、油分のすべてを植物油に置き換えたものです。揮発性有機化合物(VOC)を含まないことから、VOCフリーとも呼ばれます。

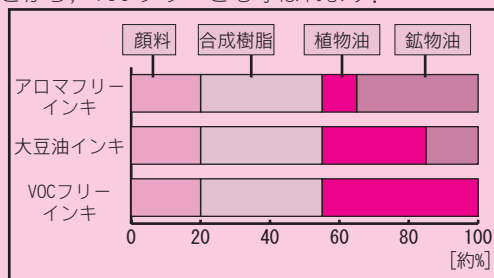


図 オフセットインキの成分の組成

(*)1 アロマフリーでない大豆油インキも存在します。孔版のインキは大豆油の条件を満たしますがアロマフリーの条件を満たしません。オフセットの金銀もそのようです。
 (※2) グリーン購入ネットワーク(GPN)のガイドラインでは、「アロマフリー」をレベル1、「植物油」(大豆油に限る)をレベル2として定義しています。(VOCフリーはレベル2のうち特に環境負荷が軽いインキということになります。)(詳しくは▶p56)

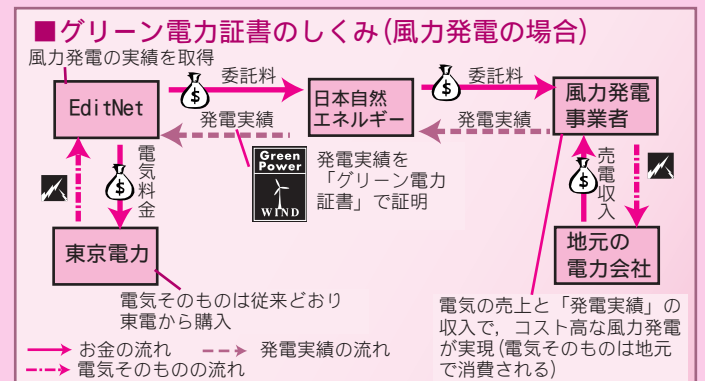
弊社の電気は、印刷機や空調はもちろん、工場や事務所の照明、さらにはwebサーバまで、すべて風力発電をはじめとする自然エネルギーで調達しています。2005年度は、58000kWhを転換し、22.5tのCO₂を削減しました。

とはいっても、ビルの屋上に風車が建っているわけではありません。

日本自然エネルギー株式会社の「グリーン電力証書システム」に参加することで、弊社が使う電力と同じ量の電気を風力発電等の電気事業者が発電委託し、風力発電やバイオマス発電の電力に転換したとみなされるしくみになっています。

現時点で、風力やバイオマスなどの自然エネルギーの電気は、原子力や火力の電気比べてとても割高です。風力発電などの会社が発電をしても、電力会社から高く買ってもらえるわけではなく、採算を取るの是非常に難しいのが現状です。

電力会社は一定の量まで自然エネルギーで発電するか、購入して調達しなければならないという法律はできましたが、その量は決して十分とはいえないため、それを上回るしくみが求められています。



グリーン電力証書は、「電気そのものの価値」と「風力発電等の実績という価値」を別に考え、電気そのものは地元の電力会社(弊社であれば東京電力)から購入し、別枠で風力発電等の会社に委託料を支払って自然エネルギーでの発電を委託することで、自然エネルギーの利用を広げようという制度です。

東京は風力発電に向いていないため、弊社は主に東北地方の風力発電所の実績を購入しており、それにより弊社の電力が自然エネルギーに転換されたとみなされます。

電気そのものは地元で消費されますが、そもそも電気に色がついているわけではないので、自分の電気そのものが物理的に風力であることにこだわる必要はないのが、グリーン電力証書のおもしろいところです。＝写真・能代風力発電所＝

環境ラベルを 使ってみる

読者との環境コミュニケーション

最近多くの印刷物で見かける「古紙〇〇%の再生紙を使用しています」などの表示。これは、発行者の環境への配慮を示すだけでなく、リサイクルや環境保全の輪をもっと広げていこうという、「環境コミュニケーション」のツールです。

■環境ラベルって？



古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。

マーク

環境への取り組みの内容を、わかりやすく伝えるマーク。

キャプション(説明文)

マークの意味の詳細や、比率などの補足説明を行う説明文。

皆さんの同人誌にも使ってみよう

皆さん同人誌にも、もちろん環境ラベルを使うことができます。

ここでは、条件を満たせば自由に利用できるラベル（もしくは、弊社が手続をしておりお客様が利用できるラベル）の使い方を説明します。

特に気をつけていただきたいのは、「正確な表示を行う」ということです。虚偽はもちろんいけません、間違いがあってもいけませんので、ご利用ガイドなどを確認のうえ、正しい表示を行ってください。

原稿を用意して、貼り付けよう

マークの原稿は「シール」と「EPS データ」で用意しています。

お客さまセンチまでご請求いただければ、お送りすることが可能です。

キャプションはこのページの説明を参考に、お客さま自身で作成していただくか、弊社がお配りしているデータにも見本がついています。

環境ラベルは、奥付などに表示する場合や、裏表紙などに表示する場合があります。

もちろん文字だけでも大丈夫

環境ラベルは面倒・・・そんな場合は、文字だけでも大丈夫です。奥付などに「再生紙を使用しています」「大豆油インキを使用しています」などと入れることも、立派な環境コミュニケーションです。

R マークは「再生紙使ってます」

古紙利用のRマークは、「3R活動推進フォーラム」が策定したマークで、古紙の配合比率を示すマークとして自由に使えます。

ただし、PP 貼りをしたものなどについては、リサイクルに適さないため使えません。

このマークは、Rに続けて古紙配合率を続けます。古紙100%ならR100、70%ならR70を使います。

■「再生紙使ってます」のRマーク



マーク

- 古紙パルプの配合率を示すマークを表示します。
- 表紙と本文で異なる場合は、2つ並べて表示するか、本文に合わせることをお勧めします。

古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。

キャプション

- 古紙パルプ配合率を示す説明文を表示します。
- 表紙と本文で異なる場合は、両方の配合率を併記します。

■表示例

(本文と表紙で配合率と同じ例)



古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。

(本文と表紙で配合率が異なる例)



古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。
(表紙は同70%の再生紙)

(より詳細に表現した例)



表紙・本文とも古紙パルプ配合率70%の再生紙を使用しています。

大豆油インキの SOY マーク

大豆油インキを使っていることを示すSOYマークは、アメリカ大豆協会の商標になっていますが、弊社で包括契約をしているため、弊社のお客様は手続をせず使うことができます。

■「大豆油インキです」のSOYマーク



マーク

- 大豆油インキを使っている印刷物に、表示できます。

大豆油インキを使用しています。

キャプション

- 表紙と本文などで異なる場合は、その旨を表示します。
- インキの種類を書くこともできます。

■表示例

(本文と表紙で大豆油の場合)



大豆油インキを使用しています。

(本文のみ大豆油の場合)



本文に大豆油インキを使用しています。

(より詳細に表現した例)



大豆油インキを使用しています。
(本文は100%植物油タイプ)

■弊社で使っているインキの種類

■SOYマーク表示できます

- 孔版のインキ(4色)
(黒・赤・青・若竹)
- オフセット印刷のインキ
(蛍光ピンクを除く全色)
- オフセットフルカラーについては、お問い合わせください。

※オフセット印刷の特色(お客さま特注)については、ご注文時ご確認ください。

■SOYマーク表示できません

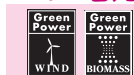
- 孔版のインキ(11色)
(左記を除く色)
- オフセットのインキ
(蛍光ピンク)
- デジタルフルカラー

グリーン電力のマーク

弊社で印刷した印刷物には、その他に「グリーン電力証書」のマークをつけることができます。

弊社が調達している電力は100%がグリーン電力（自然エネルギーによる電力）のため、お客様の印刷物を仕上げるための電力はグリーン電力でまかなっていることになります。

■グリーン電力のマーク



風力発電・バイオマス発電の電気で印刷しています。

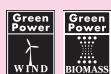
マーク

キャプション

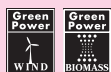
■風力・バイオマスのグリーン電力証書です。

■印刷に使用する電力が自然エネルギーであることを表示します。

■表示例



風力発電・バイオマス発電の電気で印刷しています。



この本の印刷に使用する電力は、風力発電・バイオマス発電によりつくられています。



風力発電の電気で印刷しています。

その他の環境マークについて

ここでは、弊社で印刷をお受けする場合に、簡単な手順でお使いになれるマークを紹介しています。

環境ラベルはこの他にもいろいろありますが、同人誌で使うには必ずしも簡単とはいえないものも多々あります。

代表的にはエコマーク（右図）で、これは日本環境協会の個別認定により利用が許諾されるしくみになっています。許諾申請は出版物1点ごとに行い、費用もかかるため、同人誌でマークを表示することは残念ながら容易とはいえません。

勝手に作れる「自己宣言マーク」

認証や知名度にこだわらなければ、自分でマークを作って読者の皆さんに説明するのも1つの方法です。これは「自己宣言」といって、環境の世界では多く行われている方法です。

表紙・本文とも古紙100%の再生紙です。
大豆油インキを使用しています。

▲これも立派な「自己宣言」です



はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

EditNet
プリンテック
の取り組み

環境ラベルを
使ってみる

巻末

もっと詳しく書いてみる

大豆油インキにもいろいろあります

大豆油インキにもいろいろあり、さらに詳しく表示するのであれば、以下のように書くことができます。

- (1) オフセット印刷の黒、黄色インキ
(例1)「100% 植物油タイプ的大豆油インキ」
(例2)「石油系溶剤を含まない大豆油インキ」
- (2) オフセット印刷の、他の基本色インキ
(例1)「アロマフリータイプ的大豆油インキ」

非木材紙

表紙などで非木材紙を使用している場合は、その旨を書くこともできます。

(例) 表紙は古紙パルプ50%、竹パルプ35%の再生紙・非木材紙を使用しています。

リサイクルの呼びかけ

不要となった場合のリサイクルについても、表示することができます。（ただし、表紙にPP加工をしている場合や、色の濃い紙を使っている場合は、リサイクルが難しくなる場合もあります。）

(例1) 不要となった際はリサイクルにご協力ください。

弊社では無線綴じ製本のボンドに、リサイクルの支障になりにくいタイプのボンドを採用しています。その旨を表示いただける場合は、例1に続ける形で

(例2)・・・リサイクルに配慮した製本をしています。

(例3)・・・製本用ボンドは、リサイクルに配慮した製品を使用しています。

などの表示ができます。

また、中綴じ製本の金属針はリサイクルの支障になりませんので、その旨を加えることができます。

(例4)・・・中綴じ製本の針はリサイクルの支障になりません。

これらの文例はあくまでも例ですので、内容が伝わるものであれば問題ありません。

ご利用方法・お手続き

依頼書はどの種類に書けばよいですか？

初めてご利用の方や、前回のご利用から2年以上経っている方は、まず「利用申込書」にお名前やご住所などをご記入の上、「印刷依頼書」に印刷のご依頼内容をご記入ください。

2回目からは、「印刷依頼書」のみで結構です。

インターネットで見積などができますか？

本のほとんどのプランと、ペーパーの一部は、webページで見積ができます。紙替えや色替えがあっても、適用される料金を自動的に計算します。

お見積もりだけでなく、依頼内容の登録もできます。(印刷依頼書の記入が不要になります。)

原稿の送付は、普通郵便でもよいですか？

弊社では紛失や延着の責任を負えませんので、避けていただきたいと思います。宅配便会社のメール便も、同様に避けてください。

入稿に予約は必要ですか？

不要です。営業時間をご確認のうえお越しください。ただし、特殊なご依頼がある場合や、原稿に関するご相談がある場合など、時間がかかることが予想される場合は、事前にご連絡いただければスムーズになりますのでご協力ください。

入稿が済んだら冬眠の予定です。大丈夫ですね。

お気持ちはわかりますが、原稿やご依頼の内容についてお尋ねすることがありますので、せめて電話が通なれるようお願いできればと存じます。

会社からの連絡は、どのように行われますか？

匿名で送られてきた箱や封筒を開けるスリルをお客様に提供することは弊社の業務範囲を著しく超えるものと考えますので、書面や荷物をお送りする場合は、会社名(EditNet プリンテック)の入った封筒などでお送りします。

原稿等の不明点がある場合に電話をかけさせていただくこともありますが、ご家族の方などが出られた場合には、会社名とご本人様のご注文内容に関するご連絡であること(勧誘などではないこと)を説明させていただきませんが、ご依頼内容などについてはお伝えしないこととしています。

名前を名乗らないことは失礼にあたりますし、電話を差し上げる目的だけはお伝えしないとかえって不審に思われることがありますので、ご容赦いただきたいと思います。

受け取り・納品

予備分は何冊ありますか？

印刷や製本のミスに備え、印刷の時点では多少多めに印刷しますが、その後の工程で仕上がりがよくないものは抜き取られ、だんだん減っていきます。このため、最終的にお客様にお納めできる予備部数は決まっています。

入稿の時点でスペース番号などが決まっていなかった場合は？

入稿の際にその旨お申し付けください。決まり次第、メールかFAXでお送りください。

配送の運送会社は選べますか？

申しわけありませんが弊社で選定させていただきます。

料金・お支払い

コンビニ支払いはセブン・イレブンだけですか？

セブン独自のシステムを採用しているため、セブン以外のコンビニ店は利用できません。

振込みの領収書の添付は必要ですか？

ゆうちょ銀行の「通常払込み」(払込票を使って窓口やATMで払い込む方法)の場合は、領収書のコピーを必ず添付してください。原本は保管してください。

その他の方法でのお支払いの場合は通常不要ですが、弊社で入金が確認できない場合に、FAX等での送付をお願いすることがあります。

送金した金額が余った場合はどうなりますか？

納品の際にお返しします。(ご返金方法についてご連絡を差し上げます。)

原稿・本づくり(全般的なこと)

孔版とオフセットはどちらを選べばよいですか？

ご予算や仕上がりをご検討の上、お客様にとって条件のよいほうをお選びいただきたいと思います。ご不明の点はお客さまセンタにお問い合わせいただければできるだけご案内いたします。

孔版とオフセットはどちらが環境によいですか？

生産～廃棄を通して考えると、全体では孔版のほうが資源や薬剤などの使用量が少ない分有利ではないかと思います。

原稿(画材・表現)

孔版では投稿用原稿用紙が使えますか？

孔版印刷機では大きい原稿用紙を読み取れないため、同人誌用をお使いください。再版などでどうしても投稿用をお使いになる場合は、コピー機で縮小することになってしまいます。(画質は劣化します。)

1冊の本で同人誌用と投稿用が混在する場合は、どうすればいいですか？

孔版の場合は投稿用原稿用紙はコピーで縮小して面付けすることになります。

オフセットの場合、ページの組み合わせ次第ではそのまま面付けできることもあります。場合によ

ては縮小コピーをして貼り合わせることがあります。

本文中でデータと紙原稿が混在する場合は？

できるだけ避けてください。やむを得ない場合はお客さまセンタまでご相談ください。

色のついた紙に色インキで印刷した場合の仕上がりは？

ほとんどの色インキは地の色を通しますので、紙の色により見た目が変わります。例えば赤インキを白い紙に刷れば仕上がりは赤ですが、青い紙や緑色の紙に乗せた場合は大きく異なる仕上がりになります。

原稿（紙原稿）

孔版印刷の「写真モード」では、どの程度の濃淡が表現できますか。

鉛筆や薄墨でも、あまり薄いものは表現されません。薄い部分は少し濃いめに描くほうがよいでしょう。

原稿（データ）

Mac で作成したデータでも大丈夫ですか。

制限はありませんが、CD-R や MO の場合は、Windows で読み取れる形式で書き込んでください。

ファイル名にページ番号がついているのに、本文中にも入れなければならないのですか。

製本のときは印刷物に出たページナンバを見ながら作業しますので、本文中の印刷に出る位置に入れていただくようお願いしています。

Word のファイルでは入稿できませんか。

EPS, PS, PDF 形式などは、各印刷所ごとの規定を守っていれば、いずれもお客様と印刷所の間で違いが出てくく、入稿に適した方法です。一方、Word やその他のソフトのネイティブ形式は、お客様と印刷所で開いた結果が違うことが多い形式であり、入稿には向いていません。このため、弊社でもネイティブ形式の入稿はお受けしていません。

本文中でファイル形式が混在してもいいですか。

例えば本文中で小説のページが PDF、漫画のページが EPS 形式という形でも問題ありません。

どのファイルがどのページに対応するのかをわかりやすく指示してください。

その他

本の奥付に印刷所の名前を書く必要がありますか？

弊社としては、お客様の自由であると考えています。弊社名を入れていただく場合、「EditNet プリンテック」または「EditNet Printeq」とお書きいただければ幸いです。（縦書きの場合、「エディットネットプリンテック」でもかまいません。）住所、電話番号、URL などをお書きいただくことはもちろん問題ありませんが、間違いがあると他の方の迷惑になることがありますので、よくご確認ください。

入稿直前で事業者を変更されるような場合は、忘れずに訂正するようにしてください。（他事業者の名称

が書かれている場合、そのまま印刷するわけにはいきません。）

EditNet プリンテックの「プリンテック」の意味は？ Printeq は辞書に載っていません。

print（印刷）、technology（技術）、ecology（環境）、quality（品質）の造語です。

"an EditNet company" というロゴがありますが、不定冠詞を使うのは文法上誤りでは？

これは会社名称を表すものではなく、EditNet プリンテックが EditNet の中の 1 つの会社であることを示すものですので、不定冠詞で問題ないと思われます。（文法はよくわかりませんが、この場合の EditNet は形容詞になると思います。）なお、弊社の場合はグループ企業というほどのものではなく、社内カンパニーです。

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

Q&A

印刷の
ことば
A B C

提供約款等

印刷のことば

A B C

原稿を作るときのことば

網掛け

普通の製版機は写真や薄墨などを再現できないので、あらかじめ細かい点に分解して点の大きさで濃淡を表した原稿にしておくこと。

紙原稿に写真や鉛筆などを張り込んだ場合、網掛けを別料金で頼まないといけないのが一般的。

原稿用紙

同人誌の原稿は仕上がりがB5かA5のことが多いので、それに適した大きさの原稿を描くのに適した枠やトンボをあらかじめ印刷した原稿用紙。正しく使えば読みやすい原稿が描けるので、ぜひ使うことが望まれる。▶p18

本文用としては2つの大きさが一般的で、同人誌用原稿用紙(B5が原寸、A5が縮小で作れる)と投稿用原稿用紙(B5を縮小で作れる)がある。

仕上がり線

原稿用紙に最初から(薄い線で)引かれている線で、本に仕上がるときに断裁される位置の目安になる線。この外にある絵柄は仕上がりに出ない。

裁ち切り線

原稿用紙に引かれている線で、仕上がり線の3mm～5mmの外側に引かれている。断裁はどうしても仕上がり線からずれることがあるので、印刷物の端まで出したい柄は少し外まで塗り足しておく必要がある。その目安となる線。

トン

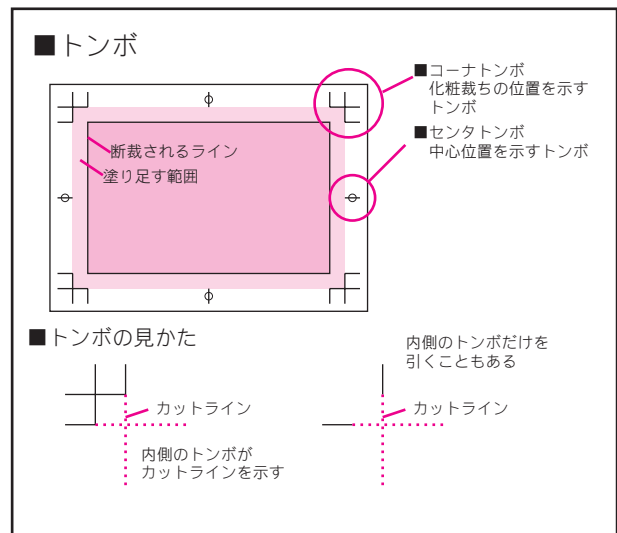
普通はスクリーントンのこと。印刷では白と黒の中間をそのまま表現するのが難しいため、例えば日焼けした人の肌などは網点の集まりで表す。自分で点や線で表すのは大変面倒なため、トーンを買って貼るのが普通。

トンボ

印刷の位置や断裁の位置を示すための記号で、化粧裁ちのときに切り落とされるのが普通なので日常生活で目にすることは少ない。

トンボにはコーナートンボ(四隅のトンボ)とセンタートンボ(中央のトンボ)(図参照)があり、断裁のときは前者を目印にする。

名前の由来は昆虫のトンボの羽と複眼の形ではないかと思われる。ちなみに英語ではregister mark(位置合わせの記号)やtrim mark(化粧裁ちの記号)というそのままの表現。



データ原稿を作るときのことば

アウトライン

文字や図形の形をベクタ(線の向きと長さ)の組み合わせで表したもので、拡大縮小のときに画質が変わらないメリットがある。▶p40

アンチエイリアス (antialiasing)

ラスタ画像において、線や文字の輪郭がぎざぎざにならないよう、中間色のドットを補う作業。画面表示に適しているが、印刷の原稿に向かないこともある。

EPS

encapsulated PostScript. カプセル化されたPostScriptということになるが、意味は低解像度と高解像度を両方まとめて1ファイルにした画像ファイル。基本的には印刷の原稿に適した形式。

PSの1形式だが、もともとPSに画像を張り込むときのファイル形式として考えられたため、1ファイルで複数ページを保存することはできない。

解像度

ラスタ画像のドット密度。dpiで表すときは、1インチを何個の点で表すかを示す数値で、多いほど細かい画像をあらわせるがデータは大きくなる。▶p50

カラーモード

白黒2値・・・画像を白と黒のどちらかで振り分けて表すファイル形式。

グレースケール・・・画像を白～黒の間の濃度で表す形式。

RGB・・・カラー画像を赤緑青の3色で表す形式。テレビやパソコンのモニタはこの形式。光の色を表すことができるが、印刷物の色などを正確に表すことができない。

CMYK・・・同じく、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の4色で表す形式。印刷のカラー原稿はふつうCMYKである(RGBは使わない)。

線数

網点の細かさを示す数値。解像度との違いに注意。

▶p50

PostScript (PS)

印刷の原稿に適したファイル形式。複数ページを扱うほか、フォントの埋め込みもできる。PDFの元になった形式。(PDFは圧縮されている。)

台割・面付けのことば

色替え

本の場合は、一部のページの刷り色を替えること、インキ替え。

紙替え

本の場合は、一部のページの紙を違う紙にすること。

小口・のど

本の綴じ目側を「のど」、めくる側を「小口（こぐち）」。

ドブ

化粧裁ちをして切り落とす部分。紙の周囲の場合もあるし、便せんのように細かく切るものは、紙の中央にもドブがあることがある。家の前の道にはドブがある（あった）ことから（多分）。

ノンブル（ページナンバ）

ページ番号のこと。仏語の Nombre。弊社では通常英語の page number を使う。

なお印刷の用語は今でも日本語が多い。これは江戸時代にすでに日本が印刷の先進国であったこと、その理由として庶民の教育水準が高く識字率が高かったために印刷物の需要が多かったことがあげられる。これは日本人が誇りにできることである。

表1・表2・・・

表紙を表1（ひょう・いち）といい、裏表紙（本を閉じたまま裏返しにしたところ）を表4という。表紙の裏刷りである表紙の裏が表2、裏表紙の裏は表3。表紙だけは中綴じ無線綴じを問わず別刷りであり、また本文の台割と関係なく制作するので、特別にこのような表現をするのが普通。

印刷・製本のことば

イメージセッター

コンピュータから送信されるデータから製版用のフィルムを作る機械。

インキ・インク

両方とも ink で同じ意味。（カンマとコンマの関係のようなもの。）JISではインキと定義している。印刷業界はインキのほうが多いと思われるが、同じ意味なので好きなほうを使っていたきたい。

OPニス

インキと同じように印刷機で刷れるニス。耐摩擦性や光沢性の向上を目的にする。全面に塗ることも部分的に塗ることもできる。PP貼などに比べてリサイクルが容易で、最近見直されてきている。

かさ高

同じ重さ（紙の厚さは重さで示す。料金表を参照）でも厚さ（かさ）がある紙。すなわち厚さのわりに軽いコミック紙など。

化粧裁ち

印刷物を最後に仕上げるために断裁すること。本の場合はのど以外3方を化粧裁ちする。少しだけ化粧裁ちすることを薄化粧とも。

刷版（さっぱん）

印刷機にかける版。通常、オフセット印刷の版のこと。原稿を意味する版下の版と区別する意味もある。印刷の現場では「はんこ（う）」とも呼ばれる（ただしインフォーマル）。江戸時代に版木に彫って印刷した

ものを発行すること、転じてその木版や印刷物などを「版行」といったことに由来すると思われる。なお印鑑を意味する「はんこ」は「版行」が転じて「判子」になったもので、印鑑を意味するときは「太鼓判」「三文判」など「判」をあてるのが普通。英語では master, plate（同じ意味）。

CTP

computer to plate。コンピュータから（紙やフィルムを介さず）直接刷版を出力できるシステム。画質がよくコストが安いいため普及している。

ダイレクト製版

紙原稿から（フィルムを介さず）直接刷版を焼く方式。コストが安いので小部数でよく用いられる。

中綴じ・無線綴じ

製本の方法。本をまとめて中央で2つ折にしてホチキスで止めるのが中綴じ。本の端にボンドを塗って表紙をくるむのが無線綴じ。

フィルム製版

紙原稿からフィルムを撮影し、それを殖版機で版に焼き付ける方法。版が丈夫なため大部数に使われる。コンピュータからフィルムを作る機械がイメージセッター、そのシステムを CTF (computer to film)。

プレートセッター

コンピュータから送信されるデータから刷版を作る機械。CTP に使う機械。

メジウム

強いていえば透明のインキ。薄い色のインキを作るときに他の色を混ぜるベースとなるもの。英語の medium (ミディアム) に由来。

RIP

raster image processor。コンピュータから（通常は）ベクトルのデータを受信してラスタに変換するプログラム。パソコンで行う場合（ソフトウェア RIP）や専用の機械（ハードウェア RIP）を使う場合がある。

連量

紙の厚さを示す数値で、紙が1000枚あるときの重さ。四六判の全判（788X1091mm）が1000枚のときの重さを使うことが多い。いわゆる「90kgの紙」は、この大きさと1000枚のときに重さが90kgであるということ。

やれ

印刷や製本のミスで無駄になった紙。刷り損じ。（ただし印刷機の調整などのときに何度も使うことが多い）。古語では破れるを「やれる」と読んでおり、破れ紙から転じて「やれ紙」。フォーマルには「損紙」という言葉があり、文書ではそれを使う。（東京メトロサリン事件など多数の凶悪事件を起こした宗教団体の教祖の敬称と同じ読みになってしまうので、口語ではあまり使いたくない表現かもしれない。）

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

Q&A

印刷の
ことば
A B C

提供約款等

印刷サービス提供約款の要旨

弊社の印刷サービスについては、印刷サービス提供約款の定めによりお取り扱いいたします。これは提供約款の要旨であり、特に重要な部分を抜き出し、平易な表現に書き直したものです。提供約款の全文は弊社のwebページにより参照できるほか、お客さまセンタで閲覧することができます。万一原文と相違がある場合は原文が優先します。

条番号は、第1章が101、102...、第2章が201、202...の例によります。

印刷サービス提供約款の要旨

1 0 1 約款の設定
弊社(条文上は「会社」といいます。)は、印刷サービスを提供するにあたり、この約款や細則を定め、その規定により提供します。
2 会社が各種のチャネルを通じてお客様に広報する「お願い」「サービス案内」などは、約款の主旨に反しない限りにおいて、約款を補足する効力があります。
1 0 2 約款の改定
会社は、webページでの公表により、約款を改定することがあります。この場合、料金その他の提供条件は、改定後の約款によります。
2 0 1 利用登録
会社の印刷サービスを最初に利用しようとするときは、その利用に先立って、利用登録をしていただきます。(「利用申込書」の提出はこの手続になります。)
お届けの内容に変更があった場合はお届けください。
会社は、別に定める期間サービスの利用がないお客様について、利用登録を抹消することがあります。
2 0 2 利用に関する個別契約
サービスの利用にかかる個別契約は、お客様からの利用申込に対し、会社がそれを承諾したときに成立します。
会社は、前項の承諾をしたときは、申込内容を記載した書面をお客様にお渡しします。
お客様は、前項の書面を速やかに確認し、内容に誤りがある場合は直ちに会社に通知してください。この通知がない場合、会社は、その内容に誤りがないものと判断します。
2 0 3 申込の方法
サービスの利用を申し込むときは、会社が定める書式の書面を提出してください。
これ以外の書式により申込があった場合、会社は、定められた書式による書面の提出をお願いすることがあります。
会社が相当と認めた場合には、お客様自身が操作する端末装置により申込を受け付けることがあります。この場合、会社の計算機が受信した内容を申込の内容とみなします。
原稿等の送付費用その他申込にかかる費用は、お客様がこれを負担するものとします。
会社は、申込を受け付けた順序に従って承諾します。ただし、これが合理性を欠く場合はこの限りではありません。
原稿等が郵送その他の方法によって会社に送付される場合は、会社が依頼書面の記載内容ならびに原稿などを確認し、不備や遺漏がないことを確認したときをもって、申し込みを受け付けるものとします。
2 0 4 利用申込期限
会社は、引渡希望日ごとに利用申込期限を定めて、会社の定める方法によりお知らせします。
会社は、この期限日を変更することがあります。その場合は、そのことを会社の定める方法によりお知らせします。
お客様が配送などの方法により印刷物等を受け取られる場合、第1項に定める「引渡希望日」は、「出荷希望日」と読み替えるものとします。
利用申込期限を過ぎて利用申込があった場合(郵送等により利用申込を行った場合において、その到達が遅れた場合を含みます。)は、引渡希望日に印刷物等の引渡しができない場合があることを、お客様はあらかじめ了承するものとします。
3 0 1 引渡し
会社は、利用申込を受け付けた際にお知らせする日時に、その申込にかかる印刷物等(お預かりした原稿などを含みます。以下同じとします。)を引き渡します。
会社は、前項でお知らせする日時までに印刷物を引き渡せるよう合理的に最善を尽くしますが、インクの乾燥、著しい混雑など、やむを得ない理由により、その引渡しが遅延することがあります。
会社は、前項の引渡遅延による損害を補償しません。
3 0 2 会社の窓口での引渡し
会社は、印刷物等を会社の窓口で引き渡す場合に、身分証明書などの提示を求めることがあります。
印刷物等の引渡しを請求した人が受注確認書などを提示したときは、正当な受領権限があるものとみなします。
会社は、本条に定める本人性または委任の確認ができない場合、その確認ができるまでの間、引渡しを保留することがあります。
3 0 3 配送による引渡し
会社は、印刷物等を配送によって引き渡す場合にあっては、会社が選定する運送事業者(日本郵政公社が所管する郵便の業務については、運送事業者とみなします。)に引き渡します。

お客様が印刷物等の配送先について特段の指定をしないときは、第201条の規定により届け出た住所を指定したものとみなします。
印刷物等の配送先に指定できる場所は、1件の利用申込に対して、1か所に限ります。

会社が運送事業者に印刷物等を引き渡した場合において、これが毀損、滅失し、または配送が遅延した場合について、会社はその責任を負いません。ただし、会社が運送事業者から前項の損害に起因する損害賠償を受けた場合には、その額を上限とした実損額に限って賠償の責に任じます。

3 0 3 の 2 イベント会場への搬入による引渡し

会社が自社によりまたは宅配便により搬入するものとして指定してお知らせするイベントの会場に印刷物等をお搬入するときは、そのイベントにおいて印刷物を引き渡すべき方法としてイベントの主催者が指定する方法によって引き渡します。(スペースに置いて搬入する方法を含みます。)

前項に定める方法により引き渡しが行われた場合には、その後に印刷物等の滅失や毀損が生じていても会社はその責任を負いません。

イベントの主催者の指示により搬入作業の中止または計画変更が行われたために搬入予定のイベントに搬入ができなかった場合、会社は引き渡しの遅延により生じる損害を賠償しません。

通常予期できない道路状況の悪化、自然災害、気象警報の発令などにより搬入作業が行えなかった場合も、前項に準じます。

その他搬入による引き渡しについては、配送による引渡しの規定を準用します。

3 0 4 見本の保管、縦覧

会社は、印刷物のうち1部を、後日の問い合わせ、機械の不具合原因の追跡などのために相当の期間保存します。

保管された印刷物が、その保管の期限が満了したとき、会社はその印刷物を他のお客様の縦覧に供するために用いることがあります。ただし申込の時点で反対の意思表示があった場合はこの限りではありません。

3 0 5 検査

お客様は、印刷物等が引き渡された際は、合理的かつ可及的速やかにその印刷物等を検査してください。

印刷物等に有する瑕疵、その他お客様が印刷物等に関して有するその他の苦情については、引渡しから1週間以内にその旨を会社に通知してください。

前項の通知がない場合、印刷物等は申込の内容に従ったものであり、合理的な検査があれば明らかとなったであろう瑕疵がなかったものとみなします。

3 0 6 印刷物に瑕疵があった場合の取り扱い

印刷物に瑕疵があり、または申込の内容と異なる印刷物が納品されたことを会社が認めた場合は、会社が次の中から合理的に選択する取り扱いをし、それをもって唯一の補償とします。

(1) 印刷物等を返却していただき、改めて納品する(修補が可能である場合には、それによります。)

(2) 印刷物等をそのまま受領していただく

会社は、印刷物をそのまま受領していただく場合において、納品した印刷物の価値が著しく劣り、かつ、その原因がもたらした会社の責に帰すると認めるときは、お客様と協議の上、印刷料金等を減額することがあり、それをもって唯一の補償とします。

前各項の規定にかかわらず、瑕疵のあった範囲が印刷物の一部であり、その部数が納品の際に付加された予備分以内である場合は、当該依頼に関しては瑕疵がなかったものとみなします。

納品した印刷物の数が申込の数に満たない場合は、当該印刷物の印刷料金の総額に不足数を申込数で除した数を乗じた額を印刷料金等から減額し、それをもって唯一の補償とします。

前項の場合において、不足数が申込の数の2割(申込の数が50部未満の場合は、10部)を超える場合には、前項の規定にかかわらず、不足数を後日改めて納品することをもって唯一の補償とします。ただしお客様がこの取扱を希望しない場合は、前項により取り扱います。

会社の作業において文字等の離脱、電磁的記録である原稿の再現の際の差異、いわゆる文字化け、誤植などが発生した場合などにおいて、正誤表や修正シールなどにより実質的に相当程度の修補が可能な場合は、それによるものとします。

4 0 1 自己責任の原則

お客様は、サービスの利用にあたり、自己の責任と良識をもって臨むものとします。

印刷物等の公開、頒布に伴って他者に対して損害を与えた場合、または他者からクレームが通知された場合、自己の責任と費用負担によりこれを処理、解決するものとします。

お客様は、サービスの利用にかかる印刷物等の複製ならびに頒布等の過程における適法性を、自ら確保するものとします。

4 0 2 禁止事項

お客様は、法令で禁止されているか、公序良俗に反する態様によりサービスを利用することはできません。

5 0 1 損害賠償の制限

会社は、印刷物の瑕疵、納品の遅延等によりお客様に生じた損害について、約款に特段の定めがない限り、その責任を負いません。

いかなる場合であっても、会社がお客様に対し損害の賠償をする場合の上限額は、サービスの利用に際し支払を受ける料金額等とします。

本条の規定は、会社の重大な過失または故意による損害については、適用しません。

5 0 1 の 2 消費者契約における免責条項の特例

お客様が個人(事業としてまたは事業のために会社との契約の当事者になる場合を除きます。)である場合、この約款のうち会社の責任の全部を免除する条項については、次の各号に定める額を上限とする損害賠償の責に任ずるものと読み替えるものとします。

(1) 印刷物が本（製本を必要とする印刷物）である場合 6000 円を限度とする実損額（ただし当該印刷物の料金等が6000 円を下回る場合は、その額）
(2) 印刷物が前号以外のものである場合 2000 円を限度とする実損額（ただし当該印刷物の料金等が2000 円を下回る場合は、その額）

5 0 2 預り物件に関する補償の制限

会社は、サービスの申込に際して預った原稿や印刷用紙などに損害が発生した場合については、前条の規定に準じて取り扱います。

お客様からお預かりする用紙等は、会社の機械に適さないことがあります。この場合において、当該用紙においてお客様の期待する仕上がりが得られず、または、当該用紙等に損失が発生した場合でも、会社はその責任を負わないものとしします。

6 0 2 料金等の支払義務

お客様は、利用申込にかかる料金等を、その申込の時点までに支払っていたとします。

引渡の時点に至り、なお料金等の全額の支払が確認できない場合、会社はかかる印刷物等を引き渡さない場合があります。この場合、納品の遅延に関しては会社はその責任を負いません。

料金等の支払いにかかる費用は、お客様が負担するものとしします。

6 0 4 延滞利息

料金等の支払いが遅れた場合は、支払期限の翌日から支払い済みに至るまでの期間について、延滞利息を合わせて支払っていただきます。

延滞利息は、1 年を 365 日とした日割計算により年 14.6% の割合により計算するものとしします。ただし、延滞利息の金額が100 円未満である場合はその全額を切り捨ててのものとし、金額に10 円未満の端数を含むときはこれを切り捨ててのものとしします。

6 0 5 過剰に支払われた料金の返還

配送により引き渡す印刷物について料金を返還すべきときは、印刷物等（原稿を別に送付する場合は、原稿等）に同封してお返しします。お返しの方法は郵便為替証書を送付するなどの方法により行いますが、500 円未満の金額を含む場合は郵便切手を購入しそれにより返還することがあります。

配送以外の方法により別途返還をする場合には、お届けの住所あてに郵便為替証書をお送りするなどの方法によりお返しします。

6 0 5 の 2 クレジットカードまたはデビットカードにより過剰に支払われた印刷料金等の返還

前条の場合においてクレジットカードで料金を支払っているときは、カード会社に対し売上の返品または取消の報告を行うことにより返還します。デビットカードにより料金を支払っているときは、その支払いを受けた当日に会社の窓口でカードを提示して返還の請求をするときはその口座への戻し入れにより、それ以外の場合は会社が相当と認める方法により返還します。後者の方法による場合には、返還に相当の期間を要することがあります。

7 0 1 合意管轄裁判所

印刷サービスの提供等にかかる訴訟等の手続については、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を第 1 審の合意管轄裁判所としします。

7 0 3 個人情報の保護

会社は、サービスの提供のためにお客様から提出を受けた個人情報などを、第三者に開示しません。

会社がサービスの提供のために必要な範囲で業務の委託を行う場合は、当該委託先は前項に定める第三者に該当しないものとしします。

会社は、刑事訴訟法その他同法の定めによる強制の処分が行われた場合には、当該法令および令状に定める範囲で、第 1 項に定める情報を開示します。

会社は、警察官、検察官、検察事務官、国税吏員、麻薬取締官、弁護士会、裁判所等の法律上の照会権限を有する人または機関から照会を受けた場合は、法令に基づき必要と認められる範囲で、第 1 項に定める情報を開示することがあります。

個人情報の保護に関する法律（2003 年（平成 15 年）法律第 57 号）の規定により公表すべきこととされている事項（公表により本人への通知にかえることができることとされている事項を含みます。以下同じとしします。）のうち、約款に定めがない事項については、別に定めます。

7 0 4 個人情報の利用

会社は、前条に定める個人情報などを、お客様の利便性の向上を図ること、会社によるサービスの提供、ならびに健全な運営を目的として、適正な手段によって取得し、その目的を達成するために必要な範囲で利用するものとしします。

会社は、合理的に必要であると認める範囲において、第 1 項に定める情報を会社（資本関係を有するなど密接な関係にある会社を含みます。）の営業活動のために利用することがあります。

EditNet Club 規定の要旨

1 0 1 適用の範囲

会社は、EditNet Club というメンバ制のサービスを実施し、その内容はこの規程によります。

2 0 1 提供するサービス

会社がこの規程により提供するサービスは概ね以下のとおりとなります。ただし例示するサービスはその時点において合理的に提供可能な範囲で実施するものであり、会社はこれに拘束されません。

(1) 営業制度の変更などを通知する

(2) 会社の広報誌等を配布する

(3) 各種のサービスについて優待を実施する

(4) サービスの利用高に対してポイントを付与し、そのポイントと引き換えに各種のサービスを提供する

2 0 3 会費

EditNet Club に加入しようとするお客様は、会社が別に定める年会費の支払いを要します。メンバの期間が切れ、これを更新する場合も同様とします。また、会社は、すでに支払われた会費を返還しません。

2 0 4 メンバの期間

メンバ資格は、会社が加入を承諾した日から 365 日とします。

会社は、前項に定める期間が経過後も、別に定める期間を限り、継続してこの規程に基づくサービスを提供することがあります。この場合において、

提供されるサービスの範囲が一部制限されることがあります。

2 0 5 ポイントの付与

会社は、代金の決済の時点で有効なメンバに対し、その利用の実績に応じたポイントを付与します。

ポイントの割合は、消費税等を含まない利用代金 100 円につき 1 ポイントとします。（一部ポイントの対象外となるものがあります。）

2 0 6 ポイントの充当

有効なメンバは、ポイントと引き換えに代金の値引きを請求することができます。

前項の請求は、代金の決済の際に行うものとしします。

値引きに引き換える際の換算の割合は、原則として、100 ポイントごとに税込金額 500 円分とします。

ポイントを現金などに引き換えることはできません。

2 0 7 ポイントの失効

ポイントは、次の場合に失効します。

(1) ポイントが付与された日から 2 回目の 3 月 31 日を迎えたとき。

(2) メンバ資格が期限切れとなり、更新しなかったとき。

(3) 約款第 201 条に基づく利用登録が抹消されたとき。

2 0 8 ポイントの効力の限界

ポイントの法律上の位置付けは会社の債務ではなく、お客様優待のプログラムの一環として任意に実施するものです。

会社は、本サービスを停止または廃止することがあります。

会社は、次に掲げる場合には、すでに付与したポイントの一部または全部を任意に無効にすることがあります。

(1) 会社に重大な経営上の問題（例示すると、民事再生法、会社更生法による手続の実施、自ら振り出した手形もしくは小切手が不渡りとなった場合などがあります。）が発生した場合

(2) 会社の業績が著しく悪化し、事業の継続のためにやむを得ないと判断する場合

はじめに

ご利用方法

原稿の
つくりかた

データ入稿

同人誌と
環境

巻末

Q&A

印刷の
ことば
A B C

提供約款等

Printeq 2010



Printeq 2010
(EditNet プリンテックご利用ガイドブック)

2010 年 3 月発行
発行者 EditNet プリンテック (EditNet 株式会社 印刷サービスグループ)
<http://www.EditNet-p.jp/> (会社案内等は <http://www.EditNet.co.jp/>)
〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 3-2-1 伊藤ビル
電話 03-5432-3913 (EditNet プリンテックお客さまセンタ)

【著作権】

この印刷物は弊社の著作物であり、日本国著作権法による保護を受けます。無断での複製、二次利用は、著作権の侵害とみなされることがあります。

著作権法により認められた場合を除き、弊社の事前の許諾を受けない複製などの二次利用はお断りいたします。

【商標】

本書で紹介した商品名、製品名、役務名などは、一般に各社の登録商標または商標です。本書では (R)、TM、SM などのマークを付していません。

【免責】

本書の内容に過誤があったために生じた損害について、弊社はその責任を負いません。なお、内容の過誤（サービスのご利用に大きな影響を与えるものに限り）が発見された場合は弊社の web ページ等で案内させていただきます。



an EditNet company